

Pioneer

# NAVIGATION & AUDIO BOOK

メモリーナビゲーション

AVIC-MRP099

AVIC-MRP088

AVIC-MRP077

AVIC-MRP066

はじめに

準備

ナビゲーション基本操作

検索

ルート

登録・編集操作

設定操作

渋滞情報・情報操作

ナビスタジオ

オーディオ基本操作

テレビ

SD

その他の操作

文字の入力

付録

## お客様登録のお願い

ご登録いただいた商品の安全に関する重要なお知らせをご案内する場合がありますので、下記の方法にてご登録手続きをお願いいたします。なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

### インターネット利用によるご登録

インターネットに接続して、パソコンから登録を行います。→「インターネットを利用して登録する」(P23)

## マップチャージについて

本機は、マップチャージ3年分付(2013年11月～2016年10月)です。この期間内であれば何度チャージしても更新料金はかかりません。2016年11月以降のバージョンアップは有償となります。

マップチャージの流れなど、詳しくはP109をご覧ください。



carrozzeria

# 安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 <b>危険</b>	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。
 <b>警告</b>	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 <b>注意</b>	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意(警告を含む)しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止(やってはいけないこと)の内容です。	

AN-001-002

## 内蔵電池に関するご注意

### 危険



#### 液体で濡らさない

組み込まれている保護回路が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオン電池が充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。

#### 火の中への投入や火気に近づけたり、加熱したりしない

絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構を損傷するだけでなく、漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因となります。

#### 強い衝撃を加えない

変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。

#### 指定以外の電池は使用しない

電池の破裂、液もれにより、ケガや周囲を汚染する原因となります。



#### 分解や改造をしない

電池パックを分解したり、改造しないでください。発熱、破裂、発火の原因となります。

分解禁止

### 警告



電池の液漏れが発生した場合は皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。目に入ったときは、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。

強制

## 接続・取り付け

### 警告



エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない  
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

禁止

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付け  
交通事故やケガの原因となります。

## 警告



禁止

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



強制

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする  
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品やmicroSDカードは、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

## 注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

## 注意



禁止

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない

落下などの原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない  
コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

分岐配線をしない

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

シガーライターのプラグを確実に挿入する

また、シガーライターソケットの中に異物が入っていないか確認してください。火災・感電の原因となることがあります。

## 使用方法

## 警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない  
前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だけを見ながらの後退運転はしない

バックカメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかる恐れがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

## 警告



禁止

画面が映らない、音が出ない、音声  
が割れる、歪むなどの異常・故障  
状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

**通気孔や端子部分などから本機内  
部に異物を入れない**

金属類や燃えやすいものを差し込んだり、  
落とし込んだりしないでください。発煙・  
発火・感電の原因となります。特にお子様  
のいるご家庭ではご注意ください。

**引火性ガス(プロパンガス、ガソリン  
など)の発生するような場所では、  
電源を切り、使用しない**

引火・爆発の原因となります。

**船舶、航空機、バイク、登山で使用  
しない**

位置誤差が生じたり、電池がなくなったりし  
て、地図が表示されず事故の原因となりま  
す。また、塩害などにより発熱、破裂、発火  
の原因となります。



接触禁止

**雷が鳴り出したら、アンテナコー  
ドや本機に触れない**

落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

**分解や改造をしない(廃棄時のリ  
チウムイオン電池を取り出す分解  
は除く)**

交通事故や火災、感電の原因となります。



禁止

**風呂場、シャワー室や調理台、加湿  
器のそばなど、油煙、湿気、ほこり  
の多い場所で使用しない**

火災、感電の原因となります。



強制

**実際の交通規制に従って走行する  
ナビゲーションによるルート案内のみに  
従って走行すると、実際の交通規制に反する  
場合があります、交通事故の原因となります。**

**運転者がテレビやビデオを見ると  
きは、必ず停車してパーキングブ  
レーキをかける**

テレビやビデオは、安全のため走行中は表示  
されません。

**ヒューズを交換するときは、必ず  
規定容量(アンペア)のヒューズを  
使用する**

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火  
災や故障の原因となります。

## 警告



強制

**自動車の電源を使用するときは、  
専用のシガーライタープラグを使  
用する**

専用のプラグ以外を使用すると、火災や感  
電、故障の原因となります。

## 注意



禁止

**運転中は、絶対にイヤホンやヘッ  
ドホンを使用しない**

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交  
通事故の原因となることがあります。

**キャッシュカードやフロッピー  
ディスクなどを本機に近づけない**  
磁気データが消去されることがあります。

**本機をダッシュボードなど直射日  
光の当たる場所に放置しない**

変形、電池の破裂、液もれの原因となることが  
あります。

**シガーライタープラグを濡らし  
たり汚したりしない**

火災・感電の原因となることがあります。  
濡れたり、汚れたりしたときは、きれいに拭  
き取ってください。



強制

**音量は、車外の音が聞こえる程度  
で使用する**

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交  
通事故の原因となることがあります。

**ワンセグ用ロッドアンテナには、  
顔や目を近づけない**

ワンセグ用ロッドアンテナを伸ばして使用  
するときは、人に向けたり、顔や目を近づけ  
ないでください。誤って目にささると失明  
などの原因となることがあります。

**電源ON時はボリュームに注意する**

電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害  
などの原因となることがあります。



注意

**温度の上昇に注意する**

本機は、環境や使用状況によって温度が上昇  
する場合があります。ケガや事故の原因と  
なることがありますので、ご注意ください。

## ACアダプター (別売)に関するご注意

### 危険



強制

必ず指定のACアダプターを使用する  
市販されているものには、異なる電圧のもの  
などがあり、故障や火災の原因となります。

### 警告



禁止

表示された電源電圧 (交流 100ボ  
ルト 50/60Hz) 以外の電圧で使  
用しない

発熱・火災・ケガ・感電・故障の原因とな  
ります。

船舶などの直流 (DC) 電源には接  
続しない

火災の原因となります。

ケーブルを傷つけたり、無理に曲  
げたり、ねじったり、加工したり、  
重いものをのせたり、加熱したり、  
引っ張ったりしない

ケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。

濡れた手で (電源) プラグを抜き差  
ししない

感電の原因となります。



強制

電源プラグはきれいにしておく

電源プラグの刃、および付近にほこりや金属物  
が付着している場合は、電源プラグを抜いてか  
ら、乾いた布で取り除いてください。そのまま  
使用すると火災、感電の原因となります。

プラグはコンセントに根元まで確  
実に差し込む

差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが  
付着して火災・ケガの原因となります。

### 注意



禁止

プラグを抜くときは、コードを  
引っ張らない

コードが破損し、発熱・火災・ケガ・感電の  
原因となることがあります。

ゆるみのあるコンセントに接続しない

発熱し、火災の原因となることがあります。



強制

使用しないときや、お手入れの  
とき、移動させる場合はプラグを抜く

発熱・火災・ケガの原因となることがあります。

## 異常時の問い合わせ

### 警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに  
使用を中止し、必ず販売店がサー  
ビス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感  
電の原因となります。

# 目次

## はじめに

安全上のご注意 .....	2
お読みください .....	10
本書の見かた .....	13
本書の表記のしかた .....	13

## 準備

各部の名称とはたらき .....	14
電源のON/OFF/ スタンバイモードについて .....	18
電源をONにする .....	18
スタンバイモードにする .....	18
車で使用する場合 .....	19
電源の接続のしかた .....	19
取り付けかた .....	20
取り外しかた .....	20

## 車から持ち出して使用する場合 ... 21

家で使用する場合 .....	21
屋外で使用する場合 .....	22

## お客様登録(無料)をしよう! .... 23

インターネットを利用して登録する ...	23
----------------------	----

## 通信機能を使うための準備 ..... 24

## SDカードの使いかた ..... 26

SDカードの入れかた .....	26
SDカードの取り出しかた .....	26

## エアジェスチャーの操作 ..... 28

お出かけランチャーの表示のしかた ...	28
手振り操作のしかた .....	29
エアジェスチャーのポイント .....	29
エアジェスチャーの手振り機能 設定を切り換える .....	29

## テレビを見るための準備 ..... 30

地上デジタルテレビ(12セグ)を 見るには .....	30
ワンセグを見るには .....	31

## ナビゲーション基本操作

ナビゲーションの基本操作 .....	32
メニューの表示 .....	32

リスト操作 .....	34
カスタム機能を使う .....	36
カスタム機能を設定する .....	36
カスタムキーで操作する .....	36
地図画面の見かた .....	37
現在地画面 .....	37
スクロール画面 .....	38
走行中表示される画面 .....	38
走行中の音声案内 .....	39
eスタート案内について .....	39
サイドマップ表示 .....	39
画面下部に表示される情報 .....	40
地図の操作 .....	41
現在地画面を表示させる .....	41
地図を動かす .....	41
地図のスケールを変える .....	41
地図画面の表示方法を変える .....	42
ハイウェイモードの情報を見る .....	44

## 検索

場所を探す .....	47
地図で探す .....	47
名称で探す .....	47
住所で探す .....	48
周辺施設を探す .....	48
電話番号で探す .....	50
登録地から探す .....	50
過去に検索した場所から探す .....	50
訪問回数が多い場所から探す .....	51
ジャンルで探す .....	51
詳細情報を見る .....	53

## ルート

目的地までのルートを探索させる ...	54
目的地までルート探索させる .....	54
自宅までルート探索させる .....	55
渋滞情報を考慮したルート探索 (渋滞考慮ルート探索) .....	55
スマートICを考慮したルート探索 ...	55
案内開始画面の見かた .....	56
ルートプロフィールでルートを 確認する .....	56

他のルートを選ぶ .....	57
ルート地図を表示する .....	57
詳細ルート設定をする .....	57
<b>ルートを編集する .....</b>	<b>61</b>
ルートプロフィールでルートを 確認する .....	61
条件を変えてルートを再探索させる ...	61
立寄地を先送りする .....	62
デモ走行でルート確認する .....	62
ルートを消去する .....	62
<b>ルート誘導・案内 .....</b>	<b>63</b>
ルート案内中の現在地画面 .....	63
エコステータスレベル案内について ...	65
音声による誘導・案内 .....	65
<b>ルート案内中の操作と機能 .....</b>	<b>67</b>
ルートから外れたときに自動的に ルートを再探索させる .....	67
状況に応じて新しいルートを 提案させる .....	67
ルート上の渋滞情報を案内させる ...	68
<b>ルート案内を中止する .....</b>	<b>69</b>

## 登録・編集操作

<b>地点の登録 .....</b>	<b>70</b>
自宅を登録する .....	70
探した場所を登録する .....	70
<b>登録地の編集 .....</b>	<b>72</b>
登録地の登録内容を変更する .....	72
登録地を消去する .....	73
<b>その他の編集 .....</b>	<b>74</b>
過去に検索した場所を消去する .....	74
走行軌跡を消去する .....	74
よく行くランキングの訪問回数を 消去する .....	75
オービスデータを消去する .....	75

## 設定操作

<b>マイセットアップ .....</b>	<b>76</b>
マイセットアップで設定できる機能 ...	76
マイセットアップを開始する .....	76
<b>エアージェスチャー設定 .....</b>	<b>79</b>
エアージェスチャーの内容を 設定する .....	79
<b>ロゴマーク表示設定 .....</b>	<b>81</b>

<b>機能設定 .....</b>	<b>82</b>
設定を変更する .....	82
設定内容の詳細 .....	83
<b>通信設定 .....</b>	<b>87</b>
通信モジュールの接続設定を行う ...	87
スマートループ渋滞情報の 利用設定を行う .....	87
<b>車両情報設定 .....</b>	<b>89</b>
<b>設定初期化 .....</b>	<b>90</b>
<b>調整 .....</b>	<b>91</b>
案内音量を調整する .....	91
画面の明るさを調整する .....	91
タッチ位置を調整する .....	92
自転車位置のずれを修正する .....	92
一般道路または有料道路へ自転車位置を 修正する .....	93

## 渋滞情報・情報操作

<b>渋滞情報 .....</b>	<b>94</b>
渋滞情報を取得する .....	96
受信した渋滞情報の提供時刻を 確認する .....	96
<b>FM-VICS 情報 .....</b>	<b>98</b>
VICS 情報とは .....	98
地図上で VICS 情報を見る .....	99
VICS の文字・図形情報を見る .....	100
放送局を選ぶ .....	101
<b>情報の表示 .....</b>	<b>102</b>
エコステータス情報を表示する ...	102
GPS 受信状態を表示する .....	102
デバイスナンバーと使用データの バージョン情報を表示する .....	103
接続状態を表示する .....	103
気象情報を取得する .....	104

## ナビスタジオ

<b>ナビスタジオを使う .....</b>	<b>106</b>
ナビスタジオの動作環境について ...	106
ナビスタジオ用 SD カードの登録 ...	107
ナビスタジオのダウンロード・ セットアップについて .....	107
ナビスタジオの初期設定を行う ...	107
ランチャーについて .....	108
マップチャージを行う .....	109
インフォチャージを行う .....	110

## オーディオ基本操作

オーディオの基本操作 .....	111
AVソース画面を表示する .....	111
AVソースを切り換える .....	111
AVソースをOFFにする .....	112
音量を調整する .....	112
オーディオのエアジェスチャーに ついて .....	112

## テレビ

テレビを見る(ワンセグ) .....	113
ワンセグ放送を見る .....	113
プリセットの種類を切り換える ...	114
受信可能な中継局を探す .....	114
チャンネルを手動で登録する .....	114
サービスを切り換える .....	114
番組表を表示する .....	114
番組内容を表示する .....	115
チャンネルを自動で登録する (チャンネルスキャン) .....	115
字幕を切り換える .....	115
音声を切り換える .....	115
視聴設定を消去する .....	116

テレビを見る(12セグ) (AVIC-MRP099/MRP088) ...	117
テレビを見る .....	117
モードを切り換える .....	118
受信可能な中継局を探す .....	118
チャンネルを切り換える .....	118
番組表を表示する .....	119
チャンネルを自動で登録する (チャンネルスキャン) .....	120
字幕を切り換える .....	120
音声を切り換える .....	120
ワンセグ放送に切り換える .....	120
各種設定や情報表示を行う .....	120
地上デジタルTVチューナーの 更新を行う .....	121

## SD

SDカードを使う .....	122
音楽ファイルを再生する .....	122
映像ファイルを再生する .....	123
音楽ファイルと映像ファイルを 切り換える .....	123
聴きたい曲や見たい映像を探す ...	123
ダイレクトサーチ .....	124

リピート再生 .....	124
ランダム再生 .....	124

## その他の操作

オーディオのシステムを設定する ...	125
VIDEOなどの映像を見る .....	127
バックカメラの映像を見る .....	128
バックカメラの表示方法 .....	128
駐車アシスト線を設定する .....	128

## 文字の入力

文字の入力操作 .....	130
文字入力の方法を切り換える .....	130
文字の入力操作の流れ .....	130
文字の種類を切り換える .....	130
全角・半角を切り換える .....	131
大文字・小文字を切り換える .....	131
濁点、半濁点、句読点や記号類を 追加する .....	131
文字を入力する .....	132
無変換、変換を行う .....	134
文字入力を完了する .....	134
かな漢字変換できる記号 .....	134

## 付 録

再生できる音楽ファイルおよび映像 ファイルについて .....	136
フォルダー・ファイルの表示と 再生順について .....	136
再生できる音楽ファイルについて ...	136
再生できる映像ファイルについて ...	137
ナビゲーションのしくみ .....	138
現在地がわかるしくみ .....	138
測位の精度を高めるためのしくみ ...	138
誤差について .....	139
取り扱い上のご注意 .....	141
液晶画面の正しい使いかた .....	141
内蔵バッテリーの正しい使いかた ...	141
SDカードの正しい使いかた .....	141
故障かな?と思ったら .....	143
電源 .....	143
ナビゲーション .....	143
オーディオ .....	144
その他 .....	145

<b>エラーメッセージと対処方法 ....</b>	<b>147</b>
共通項目 .....	147
ナビゲーション .....	147
渋滞情報 .....	148
通信 .....	148
オーディオ .....	148
<b>その他の情報 .....</b>	<b>149</b>
検索におけるデータベースに ついて .....	149
ルートに関する注意事項 .....	149
VICS 情報に関する注意事項 .....	150
シティマップ(詳細市街地図) 収録エリア .....	150
阪神高速道路株式会社からの ご連絡 .....	152
収録データベースについて .....	152
<b>VICS 情報有料放送サービス</b>	
契約約款 .....	155
<b>商標・著作権など .....</b>	<b>157</b>
<b>仕様 .....</b>	<b>165</b>
<b>保証書とアフターサービス .....</b>	<b>166</b>
<b>充電式電池リサイクルご協力の   お願い .....</b>	<b>167</b>
<b>索引 .....</b>	<b>169</b>
メニュー索引 .....	169
用語索引 .....	170
<b>記号・マーク一覧 .....</b>	<b>175</b>

# お読みください

は  
じ  
め  
に

## ■ 取扱上のお願ひ

- 長時間連続動作させた場合、本体の一部が温かくなります。長時間皮膚に接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 無理な力がかかると液晶画面や内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、持ち運びにはご注意ください。特にカバンの中で重い物の下になつたりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃を液晶画面や本体に与えないでください。傷の発生は破損の原因となります。特に液晶画面へのタッチ操作に対して、先のとがった鋭い棒などのご使用はおやめください。
- 極端な高温・低温・多湿になるような環境に放置しないでください。特に車内でこのようなことが想定される場合は、製品を車内に放置しないでください。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 動作中や充電中など温かくなることがありますが異常ではありません。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど、温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本体内部に水滴がつくことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は故障の原因となりますので、ご注意ください。
- ご使用にならないときは、シガーライター電源ケーブルやACアダプターのプラグをシガーライターソケットまたはコンセントから外してください。
- シガーライター電源ケーブルのコードをプラグやクレイドルなどに巻きつけないでください。感電・発火・火災の原因となります。
- 通信モジュールは、ダッシュボードの上に放置しないでください。故障の原因となります。
- 本機は二輪車での使用環境を想定しておりません。二輪車でのご使用はおやめください。

## ■ 安全走行のために

- 公共の場でテレビや音楽再生、デモ走行など音を発生させるような機能をご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 地図に使用している交通規制データは、普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車などの規制は含まれておりません。当該車両をご使用の際は、必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。
- 市販のヘッドフォンを使用するときは音量にご注意ください。長時間使用して難聴になったり突然大きな音が出て耳を傷める原因となります。また周囲の音が聞こえにくいと事故の原因となります。

## ■ 緊急施設の検索やルート案内について

病院、消防署、警察署など、緊急施設の検索やルート案内については、本機に依存せず、各施設に直接ご確認ください。

## ■ 電源投入直後の測位について

本機では、現在位置をGPS測位(→P138)により表示します。電源投入直後は、正確な現在位置を表示するまで(GPS測位が完了するまで)約5分程度時間がかかることがあります。

## ■ 車のバッテリー上がりを防ぐために

本機をクレイドルに接続してお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。本機をクレイドルに接続した状態で、エンジンをかけないで使用すると、車のバッテリーが消耗します。

## Advice

- ・ 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

## ■ SDカードについて

- 本書では、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードを、便宜上「SDカード」と表記する場合があります。
- 本機は、SDカードおよびSDHCカード（最大32 GB）に対応しています。
- 本機でSDXCカードを使用した場合の動作については、保証の対象外です。
- すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。
- SDカードへのアクセス中は、SDカードを抜かないでください。また、車のキースイッチ位置を変更しないでください。データが破損する恐れがあります。そのような行為において破損した場合、補償できません。
- SDカードは寿命があります。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。

お持ちのパソコンで認識しているSDカードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、SDカードの不具合によっては、専用のフォーマットツールでフォーマットする事により認識する場合があります。また、パソコンの標準機能でフォーマットをするとSD非準拠のフォーマットになるため、データの書き込み、あるいは読み出しが出来ないなどの不具合が発生することがありますので、専用フォーマットソフトでフォーマット作業を実行することが推奨されています。

ただし、フォーマットした場合は、SDカードに記録されたデータが全て消失します。フォーマットの際は、必ずSDカードデータのバックアップを作成してから行ってください。

SDカードのフォーマットソフトウェアは、SDアシエーションの以下ホームページより入手できます。

<https://www.sdcard.org/jp/>

- マップチャージおよびインフォチャージ(→P109, 110)のご利用には、16 GB以上のSDHCカードが必要です。また、お使いいただいているパソコンがSDHCカードに対応していない場合には、SDHCカードに対応したカードリーダー/ライターなどをご使用ください。

## ■ 地図データについて

地図データは、本機内蔵のメモリーに収録されています。

## ■ PCリンクソフトのご案内

PCリンクソフト「ナビスタジオ(楽ナビポータブルナビゲーション用)」(以降ナビスタジオ)をパソコンにインストールしてお使いいただく、最新の情報(地図データ・オービス(自動速度取締装置)ポイント情報・スマートループ渋滞情報・ウェザーライブデータ)がパソコン経由でSDカードへ保存されます。保存された情報は、SDカードを本機に挿入するだけで自動的に反映させることができます。(マップチャージ/インフォチャージ) ナビスタジオの利用に関して、詳しくは「ナビスタジオを使う」(→P106)をご覧ください。

## ■ お客様の登録されたデータについて

ナビゲーションに登録された機能設定・ID・パスワードなどの内容は、事故や故障・修理その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害及び逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ■ 著作権

本機に収録されたデータおよびプログラムの著作権は、弊社および弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータおよびプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

## ■ 通信機能について

- 通信機能をご使用になる際は、別売のデータ通信専用通信モジュール「ND-DC1」とデータ通信専用通信モジュールアダプター「AD-DC1」が必要です。
- データ通信専用通信モジュールのご購入代金には、最大約3年間分(ご使用開始日から当月末までの日数分+35ヶ月間分)の通信費および接続料金が含まれています。3年間経過後、継続して通信機能をご使用になる場合は、別途手続きが必要です。詳しくは弊社ホームページでご確認ください。

## ■ バージョンアップ(マップチャージ)について

- 本機は、パソコン利用によるマップチャージ3年分付(2013年11月～2016年10月)です。この期間内であれば何度チャージしても更新料金はかかりません。2016年11月以降のバージョンアップは有償となります。
- マップチャージには、全データ更新(アプリケーション、地図データ、道路データ、地点情報データなど含めたすべてのデータ)と、地点情報データのみ更新、道路データのみ更新の3種類があります。  
全データ更新は年2回、地点情報データの更新および道路データの更新は毎月を予定しています。(整備スケジュールの都合上、更新対象がない月もあります。)
- 通信モジュールをお使いのお客様は毎月の更新を通信で行えます。年2回の全データ更新はお客様でSDカードをご用意いただき、パソコンで更新していただく必要があります。
- マップチャージに必要な環境をご利用になれないお客様へは、年1回、SDカードによるバージョンアップソフトの販売を予定しています。詳細は弊社ホームページにてご案内する予定です。
- バージョンアップのお知らせについては、お客様登録時に「バージョンアップご案内の送付」に同意いただいた方のみ、Eメールにてご案内させていただきます。
- マップチャージについて、詳しくはP109をご覧ください。

## ■ アフターサービス

- 弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録(→P23)をしていただいたお客様にいたします。必ず登録をしていただきますようお願いいたします。
- 本製品のアフターサービスは、お買い上げの販売店を窓口として実施しておりますが、移動先や引っ越しなどにより、お買い上げ販売店に修理が依頼できない場合には、修理受付窓口へご相談ください。

## ■ その他

- 製品本体背面などにシールなどを貼らないでください。故障・破損の原因となります。
- 弊社は、本機がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、または、お取り換えのご要望には応じかねます。
- 取扱説明書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。

## ■ 内蔵センサーの学習について

- 本製品では測位の精度を高めるために、ジャイロセンサーと加速度センサーを内蔵しております。この機能を有効にするためには、これらのセンサーの学習が必要です。学習はGPSを受信し、走行開始してから5分～15分程度かかります。(走行条件によって異なります。)
- 学習が完了していないとトンネルなどでGPSが受信できない場合に、地図画面上の自転車位置マークが停止します。(GPSが受信可能になると自転車位置が更新されます。)
- クレイドルから取り外したときは、内蔵センサーは動作せず、GPS動作になります。また、クレイドルに取り付けた後、学習が必要となります。さらに学習が完了していても、地図画面上の自転車位置マークにずれが生じることがあります。

### Advice

- ・ 学習状況は、接続状態画面(→P103)で確認できます。
- ・ 以下の場合には、正しい自転車位置が表示されない場合がありますので、センサー学習を初期化してください。→「設定初期化」(P90)
  - タイヤ交換時
  - 取付角度の変更時
  - 本機を他の車に乗せ換えた場合

## ■ エアージェスチャー機能について

- 本機能をご使用になる際は、まわりの安全を十分に確認してください。
- 本機を取り付けた位置によっては、誤動作する可能性があります。その場合は、エアージェスチャー設定の使用設定を「使わない」にしてください(→P79)。

# 本書の見かた

## 本書の表記のしかた

表記	意味
<i>Caution</i>	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持する上で注意していただきたいことについて説明しています。
<i>Advice</i>	アドバイス 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
<b>戻る</b>	タッチキーを表します。 例： <b>戻る</b> にタッチする
	この項目の機能やサービスの利用には、通信機能が必要であることを表します。
<b>『現在地』ボタン</b>	ナビゲーション本体についているボタンまたはスイッチを表します。 例：『現在地』ボタンを押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→「場所を探す」(P47)
つづく→	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。
長く押す／ 長くタッチする	“ピッ”と音がするまで押す(タッチする)ことを示します。
押し続ける／ タッチし続ける	押ししている(タッチしている)間だけ動作していることを示します。

### *Advice*

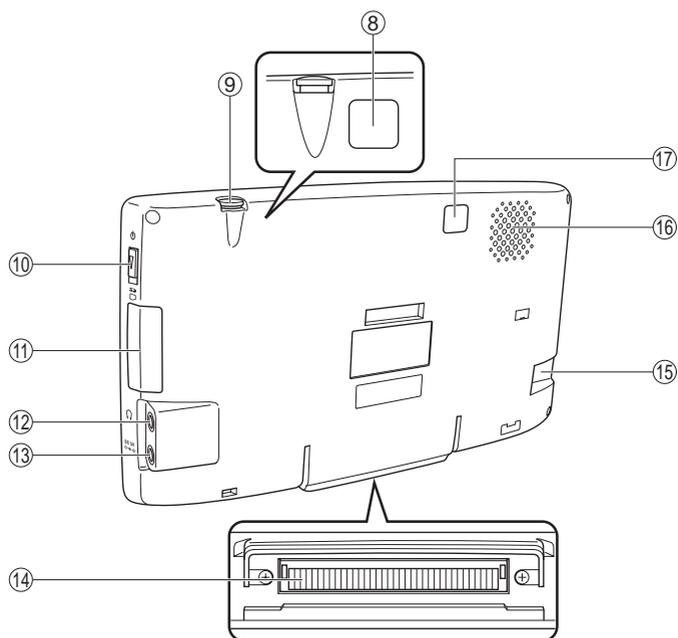
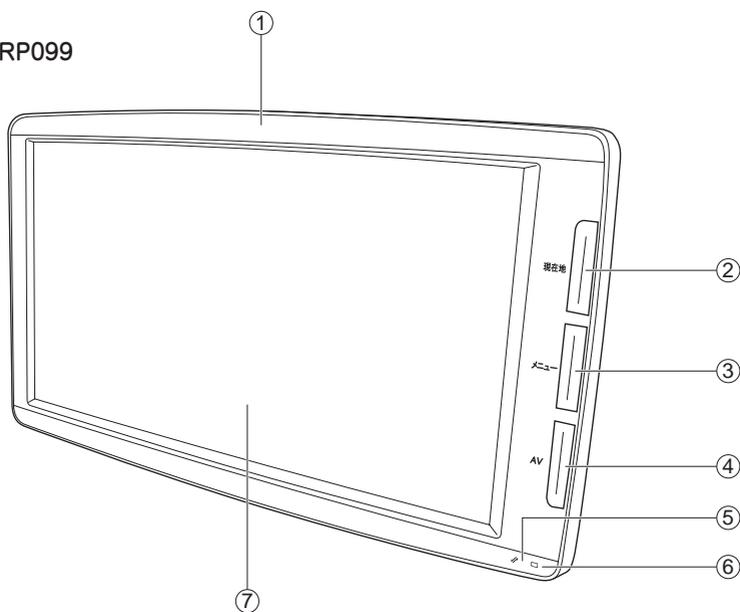
- ・ 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- ・ 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- ・ 本書に記載している製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。

# 各部の名称とはたらき

## ■本体

例) AVIC-MRP099

準備



- ① **GPSアンテナ(内蔵)**  
GPS衛星からの電波を受信します。
- ② **『現在地』ボタン**  
地図上に自分の車の位置を表示します。  
2秒以上押すと自車位置を一般道路または有料道路へ切り換えられます。
- ③ **『メニュー』ボタン**  
本機の色々な機能を使うためのセントラルメニューを表示します。
- ④ **『AV』ボタン**  
AVソース画面で操作した場合は、セントラルメニューを表示します。ナビゲーション画面で操作した場合は、AVソース画面を表示します。バックカメラ接続時は、2秒以上押すとバックカメラに切り換えられます。
- ⑤ **通信インジケータ**  
通信モジュールの通信状態を表示します。本機に通信モジュールを取り付け、本機が通信モジュールを認識すると青色で点灯します。サーバーとの通信中は青色が点滅します。
- ⑥ **充電インジケータ**  
内蔵バッテリーの充電中は赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。
- ⑦ **液晶画面**  
液晶画面に直接タッチして操作できます。
- ⑧ **ワンセグ用外部アンテナ端子**  
ワンセグ用外部アンテナを接続できます。(AVIC-MRP077/MRP066)
- ⑨ **ワンセグ用アンテナ**  
ワンセグ放送をご覧になるときに伸ばします。

- ⑩ **電源スイッチ**  
本機の電源をON/OFFします。  
スイッチを下方へスライドし、そのまま2秒以上保持すると電源をON/OFFします。  
電源ONの状態ですwitchを下方へスライドし、すぐに離すとスタンバイモードになります。
- ⑪ **SDカードスロット**  
市販のSDカードを挿入します。
- ⑫ **ヘッドフォンコネクタ(φ3.5 mm)**  
市販のステレオヘッドフォンを接続します。
- ⑬ **DC IN 5Vコネクタ**  
別売のACアダプター「RD-T150」が接続できます。
- ⑭ **クレイドル接続端子**  
クレイドルを接続します。

### Caution

- ・クレイドル接続端子には触らないでください。
- ・濡れた手や金属部などで触れたりしないでください。故障の原因になります。

- ⑮ **通信モジュールアダプター接続端子**  
別売のデータ通信専用 通信モジュールアダプター「AD-DC1」が接続できます。

### Caution

- ・パソコン、USBメモリーなどは接続できません。

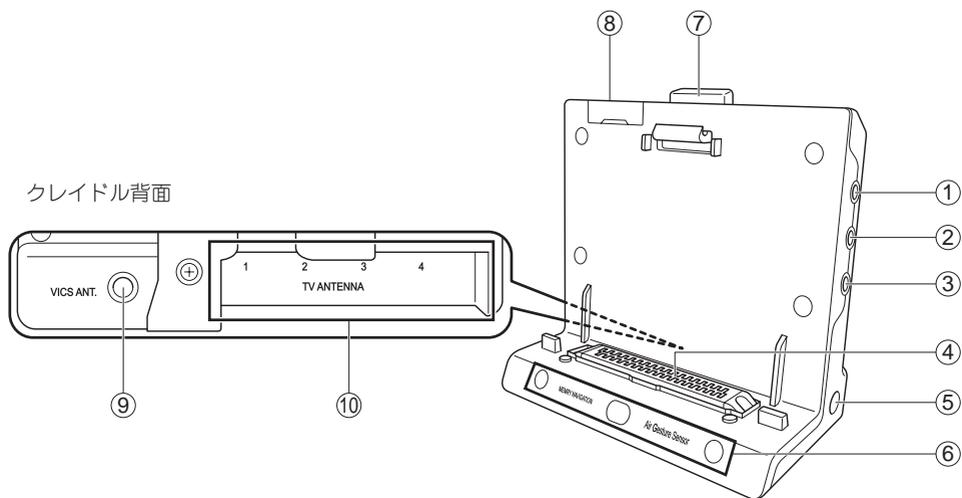
- ⑯ **内蔵スピーカー**  
ナビの音声案内、操作音、AVソースの音声などが出力されます。
- ⑰ **GPSアンテナ接続端子**  
別売のGPSアンテナ「AN-G031」が接続できます。

# ■クレイドル

AVIC-MRP099/MRP088

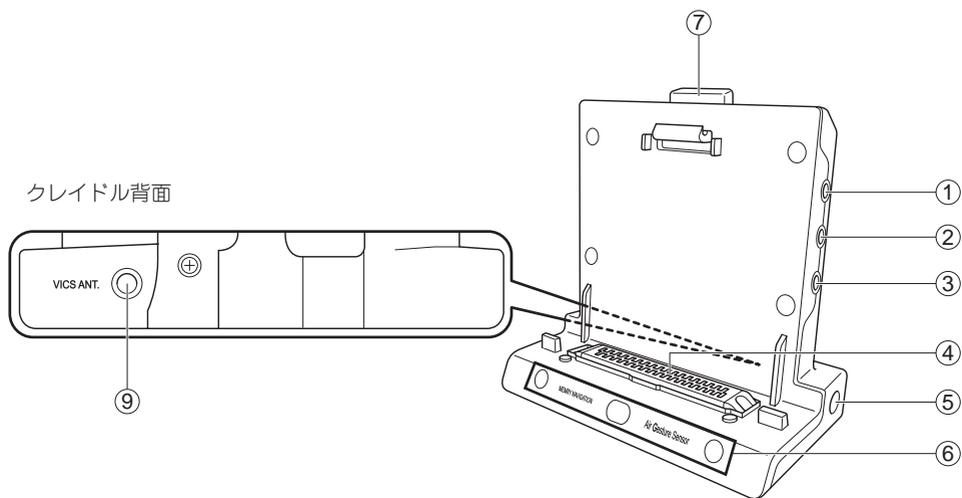
準備

クレイドル背面



AVIC-MRP077/MRP066

クレイドル背面



- ① **音声出力端子**  
別売のミニジャックケーブル「CD-150M」を使用して、別売のメインユニットのAUX入力端子(φ 3.5 mm ミニジャック)に接続できます。
- ② **映像入力端子**  
別売の映像入力用変換ケーブル「CD-VRM150」を使用して、別売のDVD-VIDEO対応メインユニット(DVH-P530/P520を除く)やバックカメラの映像を入力できます。  
※本機はインターレース信号のみ対応しています。
- ③ **車速信号入力端子**  
別売の電源ケーブル「RD-032」付属の車速信号入力ケーブルが接続できます。
- ④ **本体接続端子**  
本体のクレイドル端子と接続します。  
※本体接続端子は手で触れないでください。
- ⑤ **車載用DC IN 5Vコネクタ**  
付属のシガーライター電源ケーブルを接続します。
- ⑥ **エアージェスチャーセンサー**  
手の動きを検知します。エアージェスチャーを行うときに使用します。
- ⑦ **アンロックボタン**  
クレイドルから本体を取り外すときに押します。
- ⑧ **miniB-CASカードスロット**  
カバーを開け、付属のminiB-CASカードを挿入します。
- ⑨ **VICSアンテナ接続端子**  
付属のVICS用アンテナを接続します。
- ⑩ **TVアンテナ接続端子**  
テレビ放送をご覧になるときに、TVアンテナを接続します。(AVIC-MRP099/MRP088)

## Advice

- ・別の車に載せ変えて使用する場合は、別売の載換キット「AD-CR001」または「AD-CR002」または「AD-CR003」をご使用ください。

# 電源のON/OFF/スタンバイモードについて

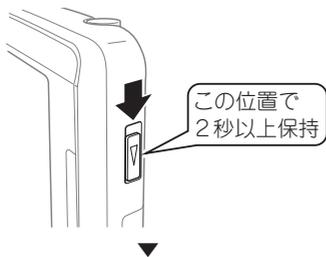
本機の電源スイッチを下方へスライドすることで、電源のON/OFFやスタンバイモードの操作が行えます。

準備

## 電源をONにする

はじめて使用するときは、電源がOFFになっています。次の操作で電源をONにしてください。

### ① 『電源』スイッチを下方へスライドし、そのまま2秒以上保持する



しばらくすると、オープニング画面が表示されます。

### Caution

- 初めて使用する場合や長期間使用していなかった場合などは、内蔵バッテリーが十分に充電されていないため、電源が入らない場合があります。その場合は、付属のシガーライター電源ケーブル(→P19)や別売のACアダプター(→P21)を使用して、充電してください。

### Advice

- はじめて電源をONにした場合は、マイセットアップ画面が表示されます。詳しくは、「マイセットアップ」(→P76)をご覧ください。
- もう一度『電源』スイッチを下方へスライドし、2秒以上保持すると電源がOFFになります。
- 異常時など、2秒以上保持しても電源がOFFにならない場合は『電源』スイッチを下方へスライドし、10秒以上保持すると強制的に電源がOFFになります。

- 普段本機を使用しないときは、電源OFFではなく、スタンバイモードにしてください。電源をOFFにすると、直近の走行軌跡(最大6.4 km)が消えたり、立ち上がりに時間がかかります。
- 本機では、現在位置をGPS測位(→P138)により表示します。電源投入直後は、現在位置と異なる場所が表示される場合があります。詳しくは、「地図画面の見たか」(→P37)をご覧ください。

## スタンバイモードにする

本機を使用しないときは、スタンバイモードにします。

### ① 『電源』スイッチを下方へスライドし、すぐに離す

スタンバイモードになります。

### Advice

- スタンバイモードから電源をONにするには、再度手順①の操作をします。
- クレイドル装着時は、車のキーポジションの「ON」⇔「OFF」に連動して、本機の電源が「ON」⇔「スタンバイモード」に自動的に切り換わります。
- スタンバイモードの保持日数は、満充電時でおおよそ15日間です(周囲の温度やバッテリーの状態異なります)。バッテリーの残量が少なくなると、自動的に電源がOFFになります。

# 車で使用する場合

車内でお使いになる場合は、付属のクレイドルとシガーライター電源ケーブルを使います。

## Advice

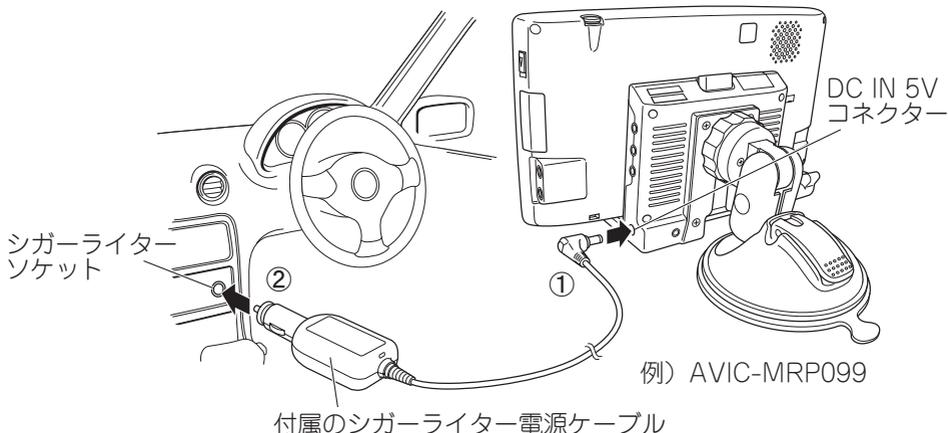
- ・クレイドル装着時は、車のキーポジションの「ON」⇄「OFF」に連動して、本機の電源が「ON」⇄「スタンバイモード」に切り換わります。
- ※初めて使用する場合や長期間使用していなかった場合などは、内蔵バッテリーが十分に充電されていないため、車のキーポジションの「ON」に連動して本機の電源が「ON」にならない場合があります。その場合は、エンジンをかけたまま数分間初期充電をしてからエンジンをかけ直してください。
- ・充電インジケータは、充電中は赤色に点灯します。満充電時は緑色に点灯します。
- ・内蔵バッテリーの充電には約160分程度かかります。

準備

## Caution

- ・付属のシガーライター電源ケーブルは、この製品のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。
- ・車のキーポジションをOFFにしても、本機の電源がOFFにならない車種でご使用の場合、本機を使用しないときは必ずシガーライター電源ケーブルをシガーライターソケットから抜いてください。抜き忘れると車のバッテリーが上がる原因になります。なお、上記のような車種でお使いの場合は、別売の電源ケーブル「RD-032」を使用して、車のACC電源に接続することをお勧めします。
- ・エンジンがかかっている状態で本機の電源がONにならない場合は、ヒューズが切れている場合があります。シガーライター電源ケーブル本体内部のヒューズを確認してください。切れているときは指定サイズと容量の新しいヒューズ(5 A/250 V)に交換してください。→「取付説明書」
- ・シガーライター電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部を持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷する恐れがあります。
- ・異臭などがした場合は直ちに充電をやめ、弊社修理窓口にご相談ください。そのまま使い続けると、内蔵バッテリーの液もれにより火災やケガの原因となることがあります。
- ・車内でのご使用時は、必ず落下防止ストラップを使用してください。

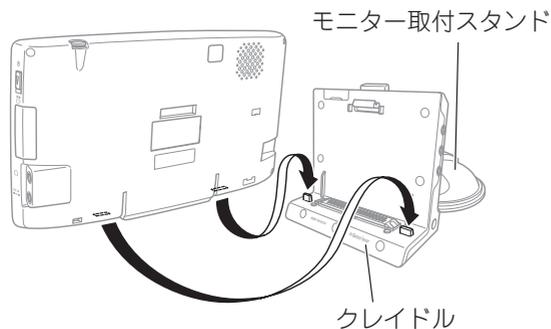
## 電源の接続のしかた



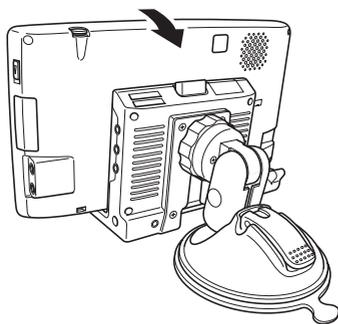
## 取り付けかた

- 1 本機底面の凹みとクレイドル下部の凸を合わせる

準備



- 2 本機を“カチッ”と音がするまでクレイドルに押し込む



### Advice

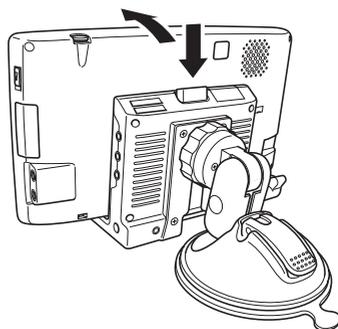
- ・モニター取付スタンドの取付方法については、『取付説明書』をご覧ください。

### Caution

- ・ご使用後は必ずモニター取付スタンドを取り外してください。

## 取り外しかた

- 1 クレイドル上部のボタンを押して本機を手前に引く



取り外したあとは、液晶画面などに傷をつけないようにご注意ください。

### Advice

- ・取り外しの際は、必ず本機に両手を添えるなどして、本機を落としたりしないよう十分注意してください。
- ・クレイドルから取り外すと、受信したFM-VICSの情報は非表示になります。

# 車から持ち出して使用する場合

本機は、車から持ち出して使用できます。

## Advice

- ・本機をクレイドルから取り外して使用する場合は、以下の機能が制限されます。
  - 受信したFM-VICS情報は非表示になります。
  - FM-VICS情報の受信はできません。
  - 走行軌跡は記録されません。
  - エコステータスの燃費計算は、行われません。
  - エアージェスチャーは動作しません。
  - 地上デジタルテレビ(12セグ)放送は視聴できません(AVIC-MRP099/MRP088)。
  - VIDEOの映像は表示されません。
  - バックカメラ映像は表示されません。

準備

## 家で使用する場合

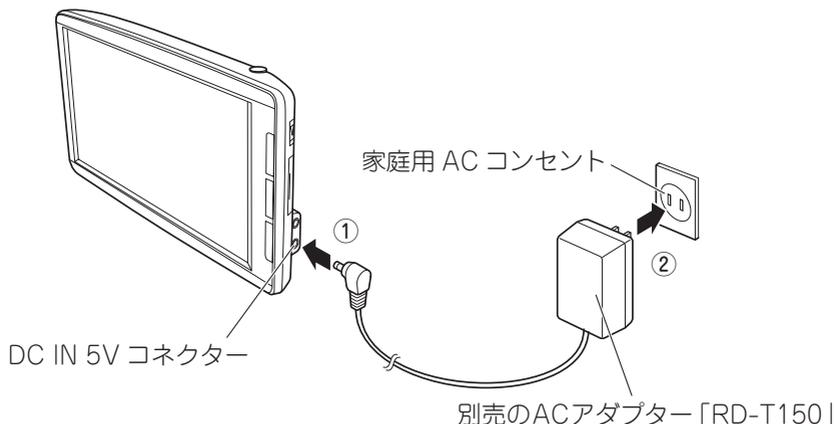
本機をご自宅など家庭用ACコンセントのある場所でご使用になる場合は、別売のACアダプター「RD-T150」を使用します。

## Advice

- ・ACアダプターから電気が給電されているときは、充電インジケーターが緑色または赤色に点灯します。内蔵バッテリーの充電中は赤色に点灯します。充電が完了すると緑色に点灯します。
- ・内蔵バッテリーの充電には約160分程度かかります。

## Caution

- ・ACアダプターは、濡れた手で触らないでください。感電の恐れがあります。
- ・本製品には別売のACアダプター「RD-T150」以外は絶対に使用しないでください。火災や感電および製品の故障の原因になります。また、性能を満足できない恐れがあります。
- ・ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプターを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷する恐れがあります。
- ・長期間使用しない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。
- ・異臭などがした場合は直ちに充電をやめ、弊社修理窓口にご相談ください。そのまま使い続けると、内蔵バッテリーの液もれにより火災やケガの原因となることがあります。



## 屋外で使用する場合

屋外で使用する場合は、内蔵バッテリーで動作します。あらかじめ付属のシガーライター電源ケーブルまたは別売のACアダプターで充電を行ってください。

準備

### Caution

- ・本機を持ち歩きながら使用する際は、周囲の安全や状況に十分配慮してください。

### Advice

- ・スタンバイモード(→P18)で使用していた場合は、内蔵バッテリーの残量が少なくなっている場合がありますので、充電を行ってからお使いください。
- ・内蔵バッテリー動作中のボタン照明は、電源ON後およびボタン操作後、数秒間のみ点灯します。
- ・内蔵バッテリーの残量が少なくなり、動作できなくなったときは、以下のメッセージが表示されます。このような場合は、すぐに充電を行ってください。  
-「電池残量がありません。データ保護のため電源OFFします。」
- ・内蔵バッテリーは消耗品です。充電を繰り返すと、少しずつ使用時間が短くなります。使用時間が短いと感じた場合は、弊社修理窓口にご相談ください。
- ・画面の明るさや内蔵スピーカーの音量によって、使用時間が変わります。特に内蔵バッテリーだけで使用している場合、画面を明るくしたときは、使用時間が短くなります。内蔵バッテリー利用時は画面の明るさのレベルを「3」以下に設定することをお勧めします。→「画面の明るさを調整する」(P91)
- ・本製品は、内蔵バッテリーだけで長時間使用することはできません。長時間使用するときは、付属のシガーライター電源ケーブルや別売のACアダプターを使用してください。

# お客様登録（無料）をしよう！

本機の通信機能や無料バージョンアップなど、本機をより便利で快適にお使いいただくためには、あらかじめお客様登録をしていただくことをお勧めします。

## Advice

- ・マイセットアップ(→P76)で「スマートループお試し登録」を行った場合は、お客様登録（無料）およびスマートループの初期登録をしなくても、スマートループ渋滞情報を期間限定で体験できます。体験期間終了後も引き続きスマートループ渋滞情報を利用する場合や、本機の全機能を使う場合は、お客様登録（無料）を行ってください。

準備

## インターネットを利用して登録する

インターネットを利用して、自宅のパソコンなどからお客様登録およびスマートループ利用登録ができます。

### 1 下記 URL にアクセスして、お客様登録とスマートループ利用登録を行う

<http://pioneer.jp/support/members/>



お客様登録とスマートループ利用登録ができました。

## Advice

- ・ナビスタジオのランチャー画面(→P108)から、お客様登録ページを表示させることもできます。
- ・スマートループ渋滞情報を利用するには、スマートループ利用登録およびスマートループ設定(→P87)が必要です。
- ・譲渡、転売でご使用を終了する時は、必ずスマートループお客様登録をご退会ください。

# 通信機能を使うための準備

通信機能をお使いいただくには、別売のデータ通信専用 通信モジュールアダプター「AD-DC1」を使って別売のデータ通信専用通信モジュール「ND-DC1」(→P11)を本機に取り付けてください。

準備

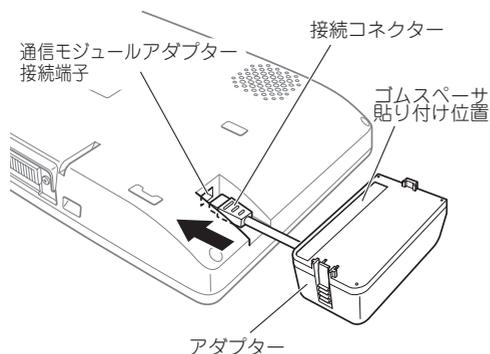
## Advice

- ・ナビゲーション本体を車に取り付けている場合は、必ず外してから装着してください。
- ・通信モジュールの取り付け作業は、安全のため、必ず平らな台(机など)の上で行ってください。
- ・通信機能をお使いいただくには、お客様登録およびスマートループ利用登録(→P23)が必要です。

## 1 本機の電源をOFFにする (→P18)



## 2 アダプターから出ている接続コネクタを本機の通信モジュールアダプター接続端子に差し込む

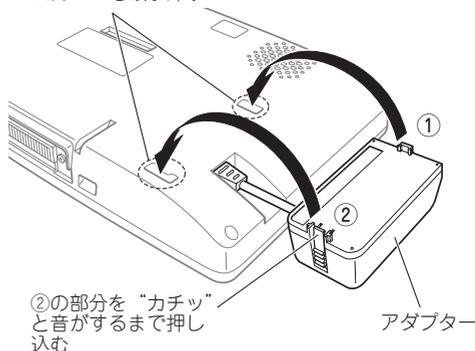


## Advice

- ・接続コネクタは、奥まで確実に差し込んでください。

## 3 取り付け部のゴムカバーを取り外し、アダプターを本機に取り付ける

ゴムカバーを取り外す

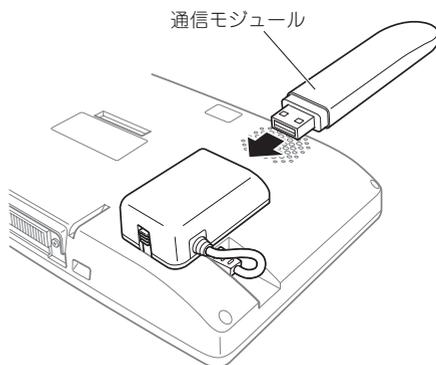


②の部分を“カチツ”と音がするまで押し込む

## Caution

- ・アダプターをAVIC-MRP099/MRP077に取り付ける際は、アダプターに付属しているゴムスペーサを、アダプターの裏面に貼ってください。

## 4 通信モジュールをアダプターに差し込む



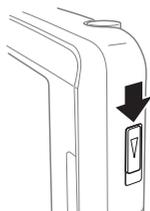
## Advice

- ・ UIMカードが取り付けられていることを確認してください。
- ・ 通信モジュールは、確実に奥まで差し込んでください。

## Caution

- ・ 通信モジュールの挿入口に、通信モジュール以外を挿入しないでください。故障・発火・発熱の原因となります。

## 5 本機の電源をONにする (→P18)



# SD カードの使いかた

本機は、SDカードの再生に対応しています。対応フォーマットなど、詳しくは「SDカードを使う」(→P122)をご覧ください。

準備

## Advice

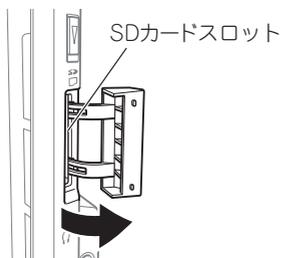
- ・本機はすべてのSDカードの動作を保証するものではありません。
- ・本機をご購入後はじめてSDカードを挿入すると、SDカード登録確認メッセージが表示されます。パソコンリンクソフト用としてお使いになるSDカードの場合は**はい**にタッチしてください。それ以外の用途(例えば知人から一時的に借りた場合など)でお使いになるSDカードの場合は**いいえ**にタッチしてください。詳しくは、「ナビスタジオを使う」(→P106)をご覧ください。

## Caution

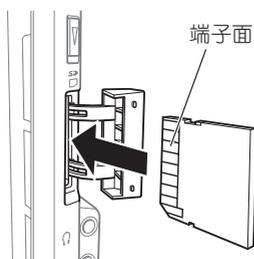
- ・SDカードを無理に入れると、本機やSDカードが破損する恐れがあります。ご注意ください。
- ・SDカードの挿入口には、SDカード以外のものを挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。

## SDカードの入れかた

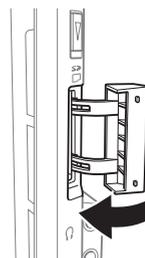
### 1 SDカードスロットのカバーを開く



### 2 SDカードを“カチッ”と音がするまで差し込む



### 3 SDカードスロットのカバーを閉じる



## SDカードの取り出しかた

### 1 設定メニュー(→P32)を表示して、**取り外し**にタッチする



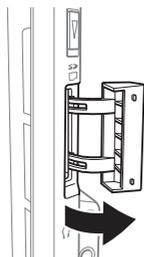
## Caution

- ・ SDカードの取り出しは、必ず設定メニューの**取り外し**にタッチしてから行ってください。SDカードに保存したデータが損傷することがあります。

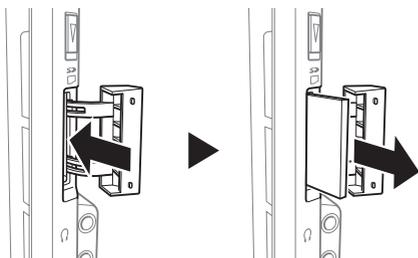
## Advice

- ・ 取り出したSDカードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が飲み込むなどのことが無いように、保管場所にもご配慮ください。

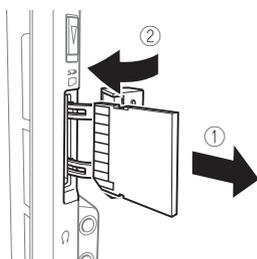
### 2 SDカードスロットのカバーを開く



### 3 “カチッ”と音がするまで押し込んでゆっくり離す



### 4 SDカードをまっすぐ引き抜いてカバーを閉める



## Caution

- ・ 本製品はSDカードが飛び出しにくい構造となっており、SDカードが取り出しにくい場合があります。SDカードが取り出しにくい場合は、クレイドルから製品本体を取り外しSDカードを抜いてください。

# エアージェスチャーの操作

本機はエアージェスチャーに対応しています。

エアージェスチャーとは、エアージェスチャーセンサーに手を近づける、またはエアージェスチャーセンサーの前で手を左右に振る（手振り操作）ことで、直接画面やボタンに触れずに本機を操作できる機能です。

準備

工場出荷時は、エアージェスチャーセンサーに手を近づけるとお出かけランチャーを表示し、手振り操作で地図のスケール変更ができるように設定されています。

## Advice

- ・エアージェスチャーは、本機をクレイドルに装着している場合のみ有効です。
- ・エアージェスチャーを使う・使わないや、エアージェスチャーセンサーの感度設定、手振り操作の方向と動作する機能、お出かけランチャーの表示時間、エアージェスチャーの操作音は、エアージェスチャー設定でお好みに応じて設定できます(→P79)。

## お出かけランチャーの表示のしかた

1 エアージェスチャーマークが表示されている画面で、エアージェスチャーセンサーの前に手を近づける



エアージェスチャーマーク

音が鳴り、お出かけランチャーが表示されます。

お出かけランチャーにタッチすると、選んだ機能が実行されます。



お出かけランチャー

100m	スケール変更(→P41)
ビュー	ビューメニュー(→P42)
よく行く	よく行くランキング検索(→P51)
周辺	周辺検索(→P48)
渋滞	渋滞チェック(→P96)
自宅	自宅の登録/自宅までのルート探索と誘導(→P55, 70)
カスタム	カスタム機能の実行(→P36)

## Advice

・本機の状態によって、エアージェスチャーマークは変化します。

1 : エアージェスチャーの手振り機能設定(→P29)が「設定1」に切り換えられている状態です。

2 : エアージェスチャーの手振り機能設定(→P29)が「設定2」に切り換えられている状態です。

: エアージェスチャーセンサーに太陽光が直接当たっている場合に表示されます。エアージェスチャーが正しく動作しない原因になりますので、エアージェスチャーセンサーに当たる光を避けてください。

: 本機に何らかの問題が発生した場合に表示されます。販売店にご相談ください。

・表示している画面によっては、エアージェスチャーマークが表示されていなくてもエアージェスチャーが可能な場合があります。

## 手振り操作のしかた

- 1 エアージェスチャーマークが表示されている画面で、エアージェスチャーセンサーの前を通るように手を左右に振る

左右に振るごとに、地図のスケールが変わります。



## エアージェスチャーのポイント

エアージェスチャーを認識しやすくするため、以下の点に気を付けてください。

- 手の平をエアージェスチャーセンサーに向ける
- 指は閉じる
- 10 cm ~ 20 cm の範囲を目安にして、エアージェスチャーセンサーに手を近づけたり、手振り操作をする
- 本機の端から端へ、エアージェスチャーセンサーの前をさっと通すように振る

### Advice

- 安全性を考慮し、本機では連続で手振り操作はできません。

## エアージェスチャーの手振り機能設定を切り換える

エアージェスチャー機能設定切り換えキーにタッチすると、エアージェスチャーの手振り機能を「設定1」または「設定2」に切り換えることができます。

工場出荷時は、設定1に「地図スケールを変える」が、設定2に「全画面に時計を表示する」が設定されています。

- 1 エアージェスチャーマークが表示されている画面で、エアージェスチャーセンサーの前に手を近づける(→P28)
- 2 エアージェスチャー機能設定切り換えキーにタッチする

エアージェスチャー機能設定切り換えキー



タッチするごとに「設定1」と「設定2」が切り換わります。

### Advice

- エアージェスチャー手振り機能設定は、「エアージェスチャーの内容を設定する」(→P79)で変更できます。
- 現在の選択状態は、画面右下のエアージェスチャーマーク(→P28)で確認できます。
- カスタム設定で「エアージェスチャー手振り機能設定を切り換える」に設定すると、カスタムキーで切り換えることもできます。

# テレビを見るための準備

本機では、地上デジタルテレビ(12セグ・ワンセグ)放送が視聴できます。はじめてテレビをご覧になるときは、miniB-CASカードの装着や初期チャンネルスキャン(受信可能なチャンネルを探して本機に登録する作業)が必要です。

準備

## Caution

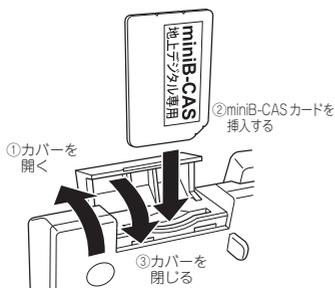
・AVIC-MRP077/MRP066で地上デジタルテレビ(12セグ)放送を視聴する場合は、別売の載換キット「AD-CR001」または「AD-CR003」をご使用ください。

## 地上デジタルテレビ(12セグ)を見るには

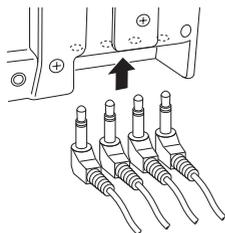
地上デジタルテレビ(12セグ)放送を見るときは、クレイドルにminiB-CASカードとテレビ用アンテナを装着し、本機をクレイドルに取り付けます。また、はじめて地上デジタルテレビを見るときは、初期チャンネルスキャンを実行してください。

### ■ miniB-CASカードとアンテナの取り付け

#### 1 クレイドルのminiB-CASカードスロットに、miniB-CASカードを挿入する



#### 2 テレビ用アンテナを取り付ける



## Caution

・アンテナは必ず同じ番号どうしを接続し、4本とも接続してください。正しく接続しないと、本来の性能が得られません。詳しくは、「取付説明書」をご覧ください。

#### 3 本機をクレイドルに取り付ける(→P20)

### ■ 初期チャンネルスキャン

#### 1 『メニュー』ボタンを押す

NAVI メニューまたはAV メニューが表示されます。

#### 2 NAVI メニューの場合は、**←AV** にタッチする

AVメニュー画面が表示されます。



#### 3 **DTV** にタッチする

ホーム初期スキャン画面が表示されます。テレビの映像は表示されません。



#### 4 エアージェスチャーセンサーに手を近づけ、操作タッチキーが表示されたら**次ページ**に2回タッチする



操作タッチキーの3ページ目が表示されます。



#### 5 **決定**にタッチする

初期チャンネルスキャンが実行されます。チャンネルスキャンが終了すると、テレビの映像が表示されます。

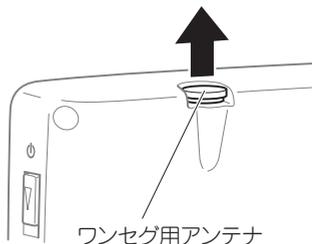
#### Advice

・地上デジタルテレビ(12セグ)の操作について詳しくは、「テレビを見る(12セグ)」(→P117)をご覧ください。

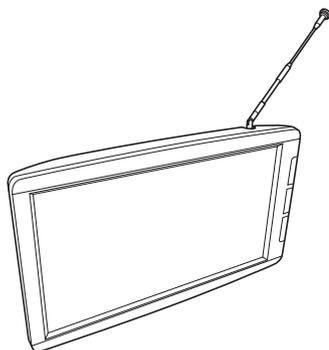
## ワンセグを見るには

ワンセグを見るときは、ワンセグ用アンテナを伸ばします。

### 1 ワンセグ用アンテナを伸ばす



### 2 受信状態の良い方向に向ける



#### Caution

・本機のアンテナは、垂直/45度/水平状態でのみ固定されます。最後まで引き出してご使用ください。

#### Advice

・ワンセグについて詳しくは、「テレビを見る(ワンセグ)」(→P113)をご覧ください。  
・初めて使用する場合は、チャンネルスキャン(→P115)を行ってください。

# ナビゲーションの基本操作

本機は、タッチパネルや本体のボタンで操作します。  
タッチパネルで操作するときには、画面上のタッチキー（マークや項目など）にタッチします。

## メニューの表示

### ■セントラルメニューを表示させる

各種メニュー画面を表示するには、はじめにセントラルメニューを表示させます。

#### 1 『メニュー』ボタンを押す

セントラルメニューが表示されます。



- 名称 (→ P47)
- 住所 (→ P48)
- 周辺施設 (→ P48)
- 電話番号 (→ P50)
- 登録地 (→ P50)
- 検索履歴 (→ P50)
- ジャンル (→ P51)
- 自宅 (→ P55, 70)
- よく行くランキング (→ P51)
- AV OFF (→ P112)
- ビュー (→ P42)
- 設定 (→ P32)
- ルート消去 (→ P62)

### Advice

- →AV と ←NAVI にタッチすると、ナビとAVソースのセントラルメニューが切り換わります。

### ■設定メニューを表示させる

地図や情報の表示などナビの機能設定や通信設定、データの編集、音量や画面表示などの調整・補正ができます。

#### 1 『メニュー』ボタンを押す

## 2 設定にタッチする

設定メニューが表示されます。



- 情報 (→ P32)
- 設定 (→ P32)
- 編集 (→ P33)
- 調整 (→ P33)
- マイセットアップ (→ P76)
- 取り外し (→ P26)

### 情報トップメニュー



- エコステータス (→ P102)
- GPS 情報 (→ P102)
- データバージョン表示 (→ P103)
- 接続状態 (→ P103)
- 渋滞情報 (→ P96)
- ウェザーライブ (→ P104)

### 設定トップメニュー



- エアージェスチャー設定 (→ P79)
- カスタム設定 (→ P36)
- ロゴマーク表示設定 (→ P81)
- 機能設定 (→ P82)
- スマートループ設定 (→ P87)
- その他設定
  - AV 設定 (→ P125)
  - 車両情報設定 (→ P89)
  - 通信モジュール設定 (→ P87)
  - 地上デジタル TV チューナー更新 (→ P121)

## 編集トップメニュー



- ルート編集 (→ P61)
- 登録地編集 (→ P72)
- よく行くランキング消去 (→ P75)
- 検索履歴消去 (→ P74)
- 走行軌跡消去 (→ P74)
- オービスデータ消去 (→ P75)

## 調整トップメニュー



- 案内音量調整 (→ P91)
- 明るさ調整 (→ P91)
- タッチパネル調整 (→ P92)
- 自車位置修正 (→ P92)
- 別道路切換 (→ P93)

## ショートカットメニューを表示させる

スクロール画面や場所を探したあとに操作するメニューです。ルート探索や地点登録、詳細情報の表示などができます。

## スクロール画面のとき

### 1 スクロール画面 (→ P38) でショートカットにタッチする



ショートカットメニューが表示されます。



- 周辺施設を探す (→ P48)
- ここを登録する (→ P70)
- ここへ行く (→ P54)

## Advice

- **閉じる** にタッチすると、ショートカットメニューを閉じます。

## 検索結果画面のとき

### 1 場所を探す (→ P47)

ショートカットメニューが表示されます。



- 詳細情報を見る (→ P53)
- 周辺施設を探す (→ P48)
- ここを登録する (→ P70)
- ここへ行く (→ P54)

## Advice

- ・ 検索した施設に駐車場データが複数収録されている場合は、**P入口**が表示され、タッチするごとに、選択する駐車場を切り換えられます。
- ・ **閉じる**にタッチすると、ショートカットメニューを閉じます。

## リスト操作

メニュー操作中に表示されるリスト画面の共通操作について説明します。

### ■基本的なリストの操作



#### ページ送り

一画面ずつ移動します。

☰☷にタッチする  
(タッチし続けると、  
連続で移動します。)

### ■50音タブの操作



#### 行送り

リストを行送りできます。  
(例:あ→か→さ→た→な)

タブ(あ~わ)にタッチする

#### 音送り

リストを音送りできます。  
(例:あ→い→う→え→お)

タブ(例:あ)に繰り返しタッチする

#### ページ送り

サイドマップ画面(→P35)では、リストを次ページまたは前ページに送ります。  
(例:あかきたな⇄はまやらわ)

☰☷または☰☷にタッチする

### ■サイドメニューの操作



サイドメニュー

◀◀が表示されているときは、サイドメニューを表示できます。サイドメニューに表示される項目は、リストによって異なります。

## Advice

- ・ サイドメニューを閉じるには、▶にタッチします。

### ■ポップアップメニューの操作



ポップアップメニュー

選んだ項目に選択肢がある場合に表示されます。

**閉じる** ポップアップメニューを閉じます。

## ■ チェックリストの操作

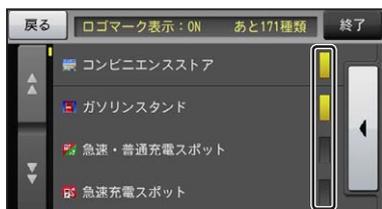


チェックリストでは、項目にタッチするとサイドマップに該当する地図が表示されます。チェックボックスにタッチすると✓(チェックマーク)が表示され、選択中であることを示します。もう一度タッチすると、✓が消え、選択が解除されます。

**P 入口** 選択中の施設に駐車場データが複数収録されている場合に表示され、タッチすると、ショートカットメニュー(→P33)で選択する駐車場を切り換えられます。

**100 m** 地図のスケールを変更します。

## ■ インジケータ付きリストの操作



インジケータ付きリストでは、項目を選ぶとリスト右側のインジケータが点灯し、選択中であることを示します。もう一度項目を選ぶとインジケータが消灯し、選択が解除されます。

## ■ サイドマップ画面の操作



サイドマップ付きリスト画面では、リスト項目にタッチすると、サイドマップにその位置を表示します。

**決定** 選んだ項目を決定します。リストによっては、選んだ項目の地図を全画面で表示します。

# カスタム機能を使う

よく使う機能をカスタム機能に設定しておくで、カスタムキーにタッチするだけですばやく実行できます。

## カスタム機能を設定する

カスタムキーを押して操作できる機能を設定できます。

工場出荷時は「地点を登録する」に設定されています。

① 『メニュー』 ボタンを押し、**設定**—**設定**にタッチする

② **カスタム設定**にタッチする



③ 設定したい機能にタッチする



▼  
選んだ機能がカスタム機能に設定されます。

## カスタム機能に設定できる機能

- バックカメラを表示する
- 名称で探す
- ジャンルで探す
- 住所で探す
- 電話番号で探す
- 周辺施設を探す

- よく行くランキングから探す
- 登録地から探す
- 検索履歴から探す
- 自宅へ帰る
- 地点を登録する
- 周辺検索マークを ON/OFF する
- 案内表示を ON/OFF する
- ルート情報
- ログマークを ON/OFF する
- 音量設定
- エアージェスチャー使用設定を切り換える
- エアージェスチャー手振り機能設定を切り換える
- 100 m スケール一方通行表示を ON/OFF する
- 地図方位を切り換える
- 到着予想時刻表示を切り換える
- 目的地の地図を見る
- 自転車位置を別道路に修正する
- リクエスト案内
- ミュートを ON/OFF する
- 全画面に時計を表示する
- 設定なし

### Advice

・ 本機の状態や設定によっては、設定されている機能が実行されないことがあります。

## カスタムキーで操作する

① 設定した機能を実行したい場で、エアージェスチャーセンサーに手を近づけ、**カスタム**にタッチする

▼  
設定されている機能が実行されます。

# 地図画面の見かた

ナビゲーションの地図表示には、自分の車(自車)の現在地を表示する「現在地画面」と見たい場所を表示する「スクロール画面」があります。

## 現在地画面

### ノーマルビュー

#### 方位マーク

方位マークの赤い三角が北を示します。

#### 自車マーク



走行軌跡

現在地情報表示

スケール表示(→P41)

渋滞情報提供時刻表示(→P96, 99)

現在の時刻

### Advice

- ・本機では、現在位置をGPS測位(→P138)により表示します。電源投入直後は、現在位置と異なる場所が表示される場合があります。正確な現在位置を表示するまで(GPS測位が完了するまで)約5分程度時間がかかることがあります。
- ・本機は、GPSの受信感度が高く、室内でも受信することがありますが、GPS衛星が不安定な状態で測位すると自車位置が大きくずれる場合があります。
- ・現在位置と異なる場所が表示されたままの場合は、GPSを正常に受信できる場所に移動してください。GPS受信状況確認方法は「GPS受信状態を表示する」(→P102)をご覧ください。
- ・本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。画面表示の設定は変更できます。→「設定を変更する」(P82)
- ・自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- ・方位マークの色は、GPSの測位状態により以下のように変化します。
  - － 赤：3次元測位
  - － 黄：2次元測位
  - － 灰：未測位
- ・走行軌跡は、車載時(クレイドル装着時)にのみ記録され、過去最大約250 km分の走行軌跡が表示できます。通常は白、車の速度が5 km/h未満のときは赤、5 km/h以上20 km/h未満のときは橙の点で表示されます。

# スクロール画面

## ノーマルビュー



スクロール画面は、地図を移動させたときに表示されます。→「地図を動かす」(P41)

# 走行中に表示される画面

## 交差点に近づく

一般道を走行中に交差点に近づく、交差点名やレーン情報、方面案内が表示されます。



方面案内

### <ルート案内中>



## Advice

- ・ 方面案内は、機能設定の「方面案内表示」でON/OFFできます。→「設定を変更する」(P82)
- ・ ルート案内中は、誘導レーンと誘導道路、誘導方面が緑色で塗られて表示されます。また、案内地手前約1km以内では、交差点名は表示しません。

## 有料道路を走行すると

自動的にハイウェイモードに切り換わります(オートハイウェイモード)。



## Advice

- ・ オートハイウェイモードの設定は変更できます。→「設定を変更する」(P82)

## 有料道路の料金所に近づく

有料道路を走行中に、ETCレーンがある本線上の料金所、または出口料金所に近づく、ETCレーン案内が表示されます。



## Advice

- ETCレーン案内表示は、実際の看板と異なる場合があります。
- ETCレーン案内表示は、車にETC車載器を取り付けていない場合でも表示されます。
- ETCレーン案内表示はON/OFFできます。→「設定を変更する」(P82)
- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

## 走行中の音声案内

運転の状況に応じて音声で案内を行います(セーフティインフォメーション)。

有料道注意地点	ここからおよそ5キロ先までは、十分運転に注意してください。 この先、左からの合流があります(右からの合流があります)(合流があります)、ご注意ください。
有料道路県境案内	〇〇県に入ります。
踏切案内	この先踏切です。ご注意ください。
リフレッシュ案内	そろそろ2時間になります。休憩しませんか?
ライト点灯案内	まもなく日が暮れます。ライトを確認してください。
e スタート案内	急発進です。安全運転を心がけましょう。

## Advice

- 有料道注意地点は、有料道路を走行中のみ行われます。
- 踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内されることがあります。また、全ての踏切で案内されるわけではありません。
- それぞれの案内についてはON/OFFできます。→「設定を変更する」(P82)

## eスタート案内について

発進開始から約5秒後までに速度が41 km/h以上を検知すると、急発進の警告メッセージと音声で案内されます。



## Advice

- e スタート案内はON/OFFできます。→「設定を変更する」(P82)

## サイドマップ表示

場所を探すリスト画面、情報画面などを表示している場合は、画面右側に地図画面が表示されます(サイドマップ)。

## Advice

- リストの基本的な操作については、「基本的なリストの操作」(→P34)をご覧ください。
- サイドマップ画面の操作については、「サイドマップ画面の操作」(→P35)をご覧ください。
- サイドマップのスケールは変更できます。→「地図のスケールを変える」(P41)

## リスト画面

場所を探す場合などのリスト画面では、選択されている施設の周辺の地図がサイドマップに表示されます。サイドマップには、現在地や選んだ場所からの距離が表示されます。



## 情報画面

行き先や登録地、過去に検索した場所などの情報画面では、選んだ地点がサイドマップに表示されます。



## Advice

・ 現在地情報表示は、地図スケール表示が50 m以下のときは市区町村名、100 m～1 kmのときは都道府県名と市区町村名が表示されます。場所によっては表示されないところもあります。

## 画面下部に表示される情報

本機をお使いの状況に応じて、画面下部に各種情報が表示されます。

	現在の時刻が表示されます。
	本機にSDカードが挿入されている場合に表示されます。
	マップ情報、プローブ情報、天気情報の更新中に表示されます。
	ナビゲーションに蓄積されたマップ情報、プローブ情報、天気情報をSDカードに保存中の場合に表示されます。
	ウェザーライブによって取得した現在地またはスクロール先の天気予報が表示されます。また、取得した天気予報の予報時刻を表示します。
	渋滞情報の最新提供時刻が表示されず、受信してから5分以内の場合はオレンジ色、30分以内の場合は青色、30分以上の場合は灰色で表示されます。また、FM-VICS情報の場合は先頭に「F」、スマートループ渋滞情報の場合は先頭に「S」、オンデマンドVICS情報の場合は先頭に「O」が表示されます。
	現在地の情報が表示されます。

# 地図の操作

基本的な地図の操作方法を説明します。

## 現在地画面を表示させる

### 1 『現在地』 ボタンを押す

現在地の地図が表示されます。

地図には、自分の車の現在地と進行方向を示す自車マークが表示されます。登録スケール以外で現在地画面を表示しているときに『現在地』ボタンを押すと登録スケールで表示します。



### Advice

- 登録スケール(→P42)をした場合は、登録したスケールの現在地画面が表示されます。

## 地図を動かす

地図上の見たい場所に地図を動かします(スクロール)。

### 1 地図上の見たい方向にタッチする

タッチした場所が中心となるように地図が動きます。



### Advice

- 画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。
- 画面にタッチしたまま指を動かし、スクロールすることもできます。ただし、走行中はタッチした場所までしかスクロールできません。またシティマップで走行中は、スクロールできません。

### 2 位置を微調整したい場合は、微調整にタッチしてから、微調整したい方向の矢印(8方向)にタッチする



矢印にタッチするごとに、地図が少しずつ動きます。

もう一度微調整にタッチすると、8方向の矢印が消えます。

### Advice

- 微調整の操作は、停車中のみ行えます。

## 地図のスケールを変える

10 m ~ 500 kmの範囲で地図のスケールを変更できます。

### 1 エアージェスチャーセンサーに手を近づける

## 2 スケール表示タッチキーにタッチする



## 3 広域または詳細にタッチする



<b>広域</b>	より広域な地図が表示され、広い範囲を確認できます。
<b>詳細</b>	より詳細な地図が表示され、詳しく確認できます。
<b>閉じる</b>	<b>広域</b> <b>詳細</b> を消します。

### Advice

- ・ **広域** または **詳細** にタッチするごとに、10 m、25 m、50 m、100 m、200 m、500 m、1 km、2 km、5 km、10 km、20 km、50 km、100 km、200 km、500 km とスケール表示が変わります。
- ・ **広域** または **詳細** にタッチし続けると、上記スケール順に表示が切り換わり、離れたときのスケールで地図が表示されます。

## 地図画面の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変更できます。

## 1 エアージェスチャーセンサーに手を近づける

## 2 ビューにタッチする



## 3 表示方法を選んでタッチする



### Advice

- ・ ハイウェイモード ON/OFF は、有料道路走行中のみ操作できます。
- ・ **ビュー** に2秒以上タッチすると、現在の表示スケールを登録できます(登録スケール)。

## 表示方法の種類

### ノースアップ

北が常に上になるように表示されます。



### ヘディングアップ

進行方向が常に上になるように地図が自動的に回転します。



## ノーマルビュー

通常の地図(2D)で表示されます。



シティマップ(詳細市街地図)収録エリア(→P150)では、10m~50mスケールのときに詳細な市街地図が表示されます(シティマップ)。



## Advice

- ・シティマップ表示はON/OFFできます。→「設定を変更する」(P82)
- ・シティマップの境界線付近では、自動的に通常地図に表示が切り換わります。シティマップの境界を表示させることもできます。その場合、境界付近ではシティマップのみ表示され、境界の外側は何も表示されません。

## スカイビュー

上空から見ているような地図(3D)で表示されます。



## Advice

- ・天気情報を取得すると空色が変わります。
- ・スカイビューでは、ヘディングアップに固定されます。
- ・地図のスケールを200m以内に設定している場合、立体ランドマーク(3Dマーク)が表示されます。立体ランドマークの表示はON/OFFできます。→「設定を変更する」(P82)

## ハイウェイモード

有料道路走行時の専用画面です。タッチするごとに、ON/OFFに切り換わります。ハイウェイモードについては、「ハイウェイモードの情報を見る」(→P44)をご覧ください。工場出荷時は「ON」に設定されています。

例：ノーマルビュー(ヘディングアップ)



## 100mスケール一方通行表示

シティマップで表示される一方通行表示を、100mスケールでも表示できます。タッチするごとに、ON/OFFに切り換わります。工場出荷時は「OFF」に設定されています。



## Advice

- ・地図のスケールを100m以外に設定している場合、自動的に100mスケールに切り換わります。

## 文字拡大モード

地図画面上に表示される地名や施設名の文字を拡大表示できます。タッチするごとに、ON/OFFに切り換わります。工場出荷時は「OFF」に設定されています。



# ハイウェイモードの情報を 見る

## ■有料道路の施設情報を見る

ハイウェイモードでは、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。また、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り換わります。本線上や分岐先の施設情報も、確認できます。

### Advice

- ・都市間高速または都市高速を走行すると、自動でハイウェイモードに切り換わります（オートハイウェイモード）。
- ・一部表示対象外の有料道路もあります。
- ・手動でハイウェイモードに切り換えるには、「地図画面の表示方法を変える」(→P42)で「ハイウェイモードON/OFF」をONにしてください。ハイウェイモードの地図画面は前に表示していたビューを引き継ぎます。
- ・オートハイウェイモードの設定は、変更できます。→「設定を変更する」(P82)

## ■ハイウェイモードの現在地画面



その次の施設 次の施設

### Advice

- ・ハイウェイモードでは、それぞれの施設の種類の(IC/PA/SA/JCT/ランプ/料金所/スマートIC)と施設名および現在地からの距離と到着(通過)予想時間が画面右側に表示され、画面左側には引き続き現在地が表示されます。
- ・画面左側の地図画面にタッチすると、スクロール画面(→P38)を表示できます。「現在地」ボタンを押すと、ハイウェイモード画面に戻ります。
- ・次の施設には、施設のサービス情報(→P45)と料金(IC/PA/SA/JCT/料金所/スマートICの場合)が表示されます。

- ・次の施設にタッチすると、次の施設周辺の地図を表示できます。
- ・ルート案内中は、有料道路出口のおよそ1 km手前になると有料道路出口の案内が表示され、出口を通過すると自動的にハイウェイモードは解除されます。
- ・渋滞情報を取得している場合は、渋滞情報(→P46)が表示されます。
- ・有料道路施設が近接しているときは、施設表示の自動切り換えが間に合わないことがあります。

## ■料金表示について

- ・有料道路上でルート設定をした場合は、料金が表示されない場合があります。
- ・料金表示が可能なのは、都市高速、都市間高速、一部の有料道路です。→「有料道路料金データについて」(P154)
- ・料金表示は、車両設定により中型車、普通車、軽自動車に切り換えられます。→「車両情報設定」(P89)
- ・各種ETC割引料金については、対応していません。

## ■先の施設情報を見る

ハイウェイモード表示中は、施設を先送りさせて先の施設情報を確認できます。

### 1 ▲、▼にタッチして、表示させたい施設を選ぶ



選択中の施設

### Advice

- ・先の施設にタッチして、その施設を選択することもできます。
- ・左画面には選択中の施設周辺の地図が表示されます。
- ・ルート案内中は、ルートに沿って施設が表示されます。
- ・選択中の施設にタッチすると、選択中の施設周辺の地図を表示できます。
- ・100施設先まで確認できます。
- ・▲にタッチすると、インターチェンジやサービスエリアなどを順に送れます。

- ・ 選んだ施設にジャンクションとSA/PAが併設されている場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。
- ・ 終了にタッチする「現在地」ボタンを押すと、ハイウェイモードの現在地画面が表示されます。

## ■ ジャンクションの分岐先の情報を見るには

ルートが設定されていない場合は、走行中の路線に沿った施設情報を確認できます。

ルートの有無に関係なく途中にジャンクションがある場合は、分岐先を選んで先の情報を確認できます。

### 1 ジャンクションを選んで施設名にタッチする



### 2 見たい分岐先にタッチする



### Advice

- ・ 地図表示にタッチすると、ジャンクションがある地点の地図を表示します。確認後、戻るにタッチすると分岐先を選ぶメニュー画面に戻ります。

分岐先の路線が表示されます。



## ■ サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

	店舗情報
	身障者用トイレ
	レストラン
	ショッピングコーナー
	ハイウェイオアシス
	ドッグラン
	仮眠休憩所
	スナックコーナー
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	風呂
	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス
	トイレ

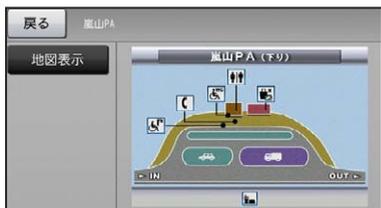
### Advice

- ・ 店舗情報は、施設への到着予想時刻と営業時間が考慮され、利用できる施設(例：)と利用できない施設(例：)が区別されて表示されます。(営業時間考慮表示)
- ・ 同時に表示される情報は8個までです。9個以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、9個目以降は表示されません。

## ■ 施設のイラスト表示について

SAやPAなどの施設にタッチした時に、施設のイラスト情報が収録されている場合に表示されます。





## Advice

- ・ **地図表示** にタッチすると、SAやPAがある地点の地図を表示します。

## ■ 渋滞情報表示について

渋滞情報を取得している場合は、自車位置に最も近い混雑状況（渋滞または混雑）および規制情報がそれぞれ1つずつ画面表示されます。



## Advice

- ・ 施設間で交通規制がある場合は、渋滞情報のVICSマーク(→P175)が表示されます。

## ■ ETCレーン表示について

ETCレーンがある本線上の料金所、または出口料金所に近づくと、ETCレーン案内が表示されます。(→P38)

# 場所を探す

場所を探して目的地を設定したり、探した場所の詳細情報を見たりできます。

## Advice

- ・ 検索した場所によっては、表示された地図が目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージが表示され、代表地点の地図が表示されます。
- ・ 施設を検索した場合、検索後はそのままスクロールせずに目的地に設定してください。例えば高速道路上の施設を検索後にスクロールさせて目的地に設定すると、一般道上が目的地になる場合があります。
- ・ 自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所では、地図をスクロールして近くの道路上に目的地を設定してください。周囲の道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。
- ・ 場所（施設など）を検索したときに、十字カーソルから少し離れた場所に旗のマークが表示されることがあります。そのような場合は、スクロールせずにそのまま目的地に設定すると、表示されている旗のマークの場所が目的地に設定されます。（駐車場ポイントリンク）

検索

## 地図で探す

地図上で探せます。

1 地図をスクロールさせて、目的の場所に十字カーソルを合わせる

2 ショートカットにタッチする



以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P33)を参照してください。

## 名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探せます。

1 『メニュー』ボタンを押し、**名称**にタッチする

2 施設の名称をひらがなで入力(→P130)し、**候補表示**にタッチする



<b>ジャンル</b>	ジャンルによる絞り込みができます。
<b>エリア</b>	都道府県による絞り込みができます。

## Advice

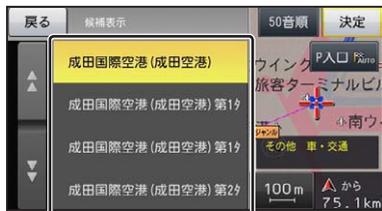
- ・ 名称はひらがな以外の入力できません。カタカナ、漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、全てひらがなで入力します。
- ・ ひらがなは10文字まで入力できます。
- ・ 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することもできます(キーワード検索)。
- ・ 濁音(゜)や半濁音(゜)の入力は省略できます。また、促音(よ)などは(よ)などで代用できます。
- ・ 目的の施設をうまく探せない場合は、以下の例を参考にしてください。  
例)
  - 検索する施設の名称をできるだけ正確に入力し、**候補表示**にタッチする。

- 目的の施設がある都道府県や市区町村、またはジャンルがわかっている場合は、**エリア**、**ジャンル** にタッチして絞り込み、**候補表示** にタッチする。

・入力された内容や絞り込み条件によっては、検索の結果、該当するデータが無い旨のメッセージが表示される場合があります。

### 3 目的の施設にタッチする

選んだ施設の地図がサイドマップに表示されます。



<b>50音順</b>	入力された名称を含む施設を50音順で再検索します。
<b>P入口</b>	選択中の施設に駐車場データが複数収録されている場合に表示され、タッチすると、ショートカットメニュー(→P33)で選択する駐車場を切り換えられます。

### 4 決定にタッチする

施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P33)を参照してください。

## 住所で探す

住所や地名で探せます。

### 1 『メニュー』ボタンを押し、**住所**にタッチする

### 2 都道府県にタッチする



### 3 市区町村名、地名の順にタッチする



#### Advice

- ・**主要部**にタッチすると、選んだ地域の代表地点の地図が表示されます。

### 4 番地、号を入力し、**入力完了**にタッチする



#### Advice

- ・番地を入力しないで**入力完了**にタッチすると、丁目または住所名の代表地点が検索されます。
- ・住所に大字・小字を含む場合は、それぞれを入力します。

入力した住所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P33)を参照してください。

## 周辺施設を探す

ガソリンスタンド、駐車場、その他の各ジャンルなど、現在地やルート周辺、スクロール先の周辺の施設を、最大100件まで探せます。

#### Advice

- ・ショートカットメニュー(→P33)の**周辺施設を探す**にタッチする、または『メニュー』ボタンを押し、**周辺施設**にタッチして操作することもできます。

# 1 エアージェスチャーセンサーに手を近づけ、**周辺**にタッチする

# 2 やりたいことから探す または **ジャンル**から探す にタッチする

# 3 目的またはジャンルにタッチする



## Advice

- ・選んだジャンルによっては、自動的に近い順にリストを表示します。手順5に進みます。
- ・追加データは、マップチャージ(→P109)で新規ジャンルの追加があれば表示されます。

# 4 詳細ジャンルがある場合は、ジャンルを絞り込む

# 5 目的の施設にタッチする



<b>自車周辺</b>	自車周辺の施設を探します。
<b>ルート周辺</b> (ルート案内中のみ)	案内中のルート周辺の施設を探します。

選んだ施設のマークがサイドマップに表示されます。

# 6 決定 にタッチする

選んだ施設を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P33)を参照してください。

## Advice

- ・スクロール画面で検索した場合は、**自車周辺**、**ルート周辺**は操作できません。
- ・駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファストフードを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設(例: )と利用できない施設(例: )が区別されて表示されます。(営業時間考慮検索)
- ・隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- ・コンビニでは、酒(酒)・タバコ(外口)・ATM(ATM)を取り扱う店がわかるように表示されます。
- ・ファストフードでは、ドライブスルー()対応の店がわかるように表示されます。
- ・カスタム設定を「周辺検索マークをON/OFFする」に設定している場合、**カスタム**にタッチすると施設のマークの表示 / 非表示が切り換わります。
- ・駐車場は、「車両情報設定」(→P89)の「駐車制限」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は()と表示されます。(実際の車両設定と異なる場合があります。)
- ・酒、外口、は一部表示されない施設もあります。
- ・ルート案内中で自車がルート上にあるときは、ルート周辺を優先して検索します。自車の周辺で探す場合は**自車周辺**にタッチします。
- ・ルート案内中に検索したときは、前方両側約200 m以内、前方約30 km以内の範囲から検索されます。ルート案内中でないとき、またはスクロール位置で検索したときは、自車位置または十字カーソル位置の半径約10 kmまたは約30 kmの範囲から検索されます。

検索

## ■ ログマークの表示を解除するには

検索後はログマークが表示されます。ログマークの表示を解除するには、以下のように操作します。

# 1 P48「周辺施設を探す」の手順 3 または 4 で **結果消去** にタッチする



ロゴマークが消去されます。

### Advice

- ・本機の電源をOFFにしても、ロゴマークを消去できません。

## 電話番号で探す

行き先の電話番号を入力して探せます。

### 1 『メニュー』ボタンを押し、**電話番号**にタッチする

### 2 電話番号を入力する



電話番号を入力すると、自動的に検索を始めます。自動的に検索を開始しない場合は、**入力完了**にタッチします。

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P33)を参照してください。

### Advice

- ・市外局番と市内局番は必ず入力してください。
- ・10桁まで入力できます(090、080、070、050で始まる電話番号は11桁まで入力できます)。
- ・ダイヤルQ2(0990-〇〇)、携帯電話、短縮ダイヤルは、対象外です。ただし、該当する電話番号が登録地に登録されている場合は検索できます。
- ・該当する電話番号が2件以上ある場合は、手順2の操作後、リストが表示されます。

## 登録地から探す

すでに登録されている場所から探せます。

### 1 『メニュー』ボタンを押し、**登録地**にタッチする

### 2 目的の場所にタッチする

選んだ場所の地図がサイドマップに表示されます。



◀にタッチするとサイドメニューが表示されます。

<b>呼出日時順</b>	リストを呼出日時順に並べ替えます。
<b>自車位置から近い順</b>	リストを自車位置から近い順に並べ替えます。
<b>2Dマーク順</b>	リストを2Dマーク順に並べ替えます。リスト表示されるマークの並び順は、2Dマーク選択リストの左上からの順番となります。

### 3 **決定**にタッチする

選んだ場所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P33)を参照してください。

## 過去に検索した場所から探す

過去に検索した場所や行き先とした場所から探せます。

### 1 『メニュー』ボタンを押し、**検索履歴**にタッチする

## 2 目的の場所にタッチする

選んだ場所の地図がサイドマップに表示されます。



## 3 決定 にタッチする

選んだ場所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P33)を参照してください。

## 訪問回数の多い場所から探す

訪問回数の多い上位10件の場所から探せます。

### 1 エアージェスチャーセンサーに手を近づけ、よく行く にタッチする

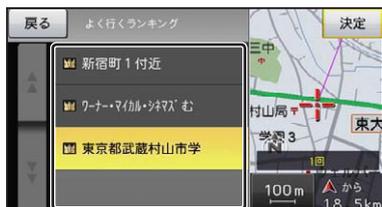
訪問回数の多い順に場所がリスト表示されます。

#### Advice

『メニュー』ボタンを押し、よく行くランキングにタッチしても操作できます。

## 2 目的の場所にタッチする

選んだ場所の地図と訪問回数がサイドマップに表示されます。



## 3 決定 にタッチする

選んだ場所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P33)を参照してください。

#### Advice

- ・ 自宅はランキングの対象となりません。
- ・ 以下の場合は訪問回数としてカウントされません。
  - デモ走行の場合
  - 目的地に到着する前にルートを消去した場合
  - 乗降IC指定によって指定したインターチェンジの場合

検索

## ジャンルで探す

ジャンルリストから各種施設を探せます。

検索できるジャンル

- ・ 車・交通
- ・ 遊ぶ・泊まる
- ・ 買う
- ・ 食べる
- ・ 生活
- ・ 新規スポット

#### Advice

- ・ ジャンル検索では、必ず「ジャンル」→「都道府県・市区町村（または路線）」の順に指定しますが、選んだジャンルと都道府県・市区町村（または路線）の組み合わせによっては、検索の結果、該当するデータが無い旨のメッセージが表示される場合があります。
- ・ 新規スポット内の追加データは、マップチャージ(→P109)で追加になったスポットがあれば表示されます。

### 1 『メニュー』ボタンを押し、ジャンル にタッチする

## 2 探している施設のジャンルを絞り込む



検索

### Advice

- ・選んだジャンル内すべての施設を検索したい場合は、詳細ジャンルの先頭に表示される **〇〇〇すべて** にタッチします。

## 3 都道府県、市区町村の順にタッチする



### Advice

- ・車・交通機関のジャンルから「駅」または「高速道路施設」を選んだ場合は、路線別を選ぶリストが表示されます。
- ・選んだ都道府県内すべての施設を検索したい場合は、都道府県リストの先頭に表示される **〇〇県すべて** にタッチします。

## 4 目的の施設にタッチする

選んだ施設の地図がサイドマップに表示されます。



## 5 決定にタッチする

施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P33)を参照してください。

# 詳細情報を見る

検索した場所の詳細情報を確認できます。

- 1 ショートカットメニュー (→ P33) の **詳細情報を見る** にタッチする

## Advice

・施設によっては、詳細情報が無いものもあります。

- 2 情報を確認する



**地図表示** 地図が全画面で表示されます。

**次ページ** 情報が複数ページある場合に、ページを切り換えます。

## Advice

・登録地や検索履歴などで場所を探して詳細情報を表示した場合は、**消去**が表示されます。**消去**にタッチすると、場所データを消去できます。

# 目的地までのルートを探索させる

検索した場所や自宅を目的地として設定すると、現在地から目的地までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

## 目的地までルート探索させる

1 場所を探して(→P47) 目的地を決める

2 **ここへ行く** にタッチする



現在地から目的地までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

### Advice

- ・ 検索した施設に駐車場データが複数収録されている場合は、**P入口**が表示され、タッチすることにより、選択する駐車場を切り換えられます。
- ・ 自動的に自転車位置が出発地となります。また、出発地を指定してルートを探索することもできます。(→P59)
- ・ 目的地の近くに有料道路があるときは、[一般道路]が[有料道路]を確認する画面が表示される場合があります。その場合は設定地点が面している道路の種類を選んでください。
- ・ 通常のルート探索では、渋滞予測情報を考慮して複数のルートを探索します(渋滞考慮ルート探索)。渋滞考慮ルート探索は、考慮するデータを選択できます。→「設定を変更する」(P82)
- ・ すでにルートが設定されている場合は、探した場所を目的地にするか立寄地にするかのポップアップ画面が表示されます。**目的地**にタッチすると、現在の目的地を消去し、新しい目的地を先としてルートを探索します。**立寄地**にタッチすると、目的地はそのまま、探した場所に立ち寄るルートを探索します。

## 3 ルートを確認する



<b>案内開始</b>	現在選ばれているルートで案内を開始します。(→手順4)
<b>ルートプロフィール</b>	出発地から目的地までの間に通る道路名や区間距離、有料道路の料金(有料道路を使用する場合)や通過予想時刻などの情報を確認できます。(→P56)
<b>他のルート</b>	現在選ばれているルートとは異なる探索条件のルートを選べます。(→P57)
<b>ルート地図</b>	立寄地などを指定して、探索されたルートが1本の場合、ルート全体が1画面に収まるように表示されます。(→P57)
<b>詳細ルート設定</b>	立寄地指定(→P57)、乗降IC指定(→P58)、出発地指定(→P59)ができます。

### Advice

- ・ 最初に表示されるルートは、「ルート探索基準」、「有料道路使用条件」、「フェリー航路使用条件」の探索条件(→P83, 84)に従ったルートになります。
- ・ 立寄地や乗降ICを指定した場合は、探索されるルートが1本となり、**他のルート**は**ルート地図**になります。

#### 4 案内開始 にタッチするか、走行を開始する



走行を開始すると状況に応じて画面と音声でルート案内が行われます。目的地に近づくともルート案内は終了します。

#### Advice

- ・ルート案内を中止するには、ルートを消去します。(→P62, 69)

### 自宅までルート探索させる

現在いる場所から登録してある自宅(→P70)までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

#### Advice

- ・この機能を使うには、自宅が登録されている必要があります。→「自宅を登録する」(P70)

#### 1 エアージェスチャーセンサーに手を近づけ、自宅にタッチする



自宅までのルートが1本だけ探索され、案内を開始します。

#### Advice

- ・『メニュー』ボタンを押し、**自宅**にタッチしても操作できます。
- ・すでに案内中のルートがある場合は、自宅へのルート案内に変更するかどうかのメッセージが表示されます。**はい**または**いいえ**にタッチしてください。
- ・**自宅**にタッチした場合、他のルートを選ぶ(→P57)ことはできません。自宅へのルート探索で他のルートを選びたい場合は、登録地(→P50)または検索履歴(→P50)から**自宅**を選択してください。

### 渋滞情報を考慮したルート探索(渋滞考慮ルート探索)

渋滞情報・渋滞予測データを基に渋滞や交通規制を考慮してルート探索を行います。

#### Advice

- ・渋滞情報が取得できないときは、渋滞予測データを基にルート探索を行います。
- ・必ずしも渋滞を避けるルートになるとは限りません。
- ・渋滞考慮ルート探索は、考慮するデータを選択できます。→「設定を変更する」(P82)
- ・本機をクレイドルに装着して、FM-VICS情報のみを受信している場合は、規制情報(入口閉鎖・通行止め)のみを考慮してルート探索を行います。

### スマートICを考慮したルート探索

スマートICとは、ETC専用の簡易インターチェンジのことをいいます。スマートIC考慮探索が「ON」に設定されている場合は、スマートICを乗降ICの対象としてルート探索を行います。

#### Advice

- ・スマートIC考慮ルート探索では、スマートICの営業時間は考慮されないため、実際のスマートICが営業時間外であっても乗降ICの対象となる場合があります。その場合は、実際のスマートICの状況に従ってください。
- ・スマートIC考慮ルート探索は、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(P82)
- ・すでに案内中のルートがある場合は、設定変更できません。

# 案内開始画面の見かた

## ルート表示

現在選ばれているルートの概略が表示されます。

## 探索条件

現在選ばれているルートの探索条件が表示されます。



## メニュー表示

## IC (インターチェンジ) 表示

利用する有料道路の入口ICと出口ICが表示されます。それぞれのIC名にタッチすると、乗降ICを変更できます。(→P58)

## 距離：

選ばれているルートの総距離が表示されます。

## 所要時間：

機能設定(→P82)で設定した到着予想時刻速度と渋滞予測データを基に計算した所要時間が表示されます。

## 料金：

利用する有料道路の料金が表示されます。

## Advice

- ・案内開始画面は、ノースアップ(→P42)となります。
- ・料金表示は、「車両情報設定」(→P89)により設定された「有料道路料金区分」の料金で表示されます。
- ・各種ETC割引料金については対応していません。
- ・料金非対応路線を含むルートの場合、「〇〇円以上」と表示されたり、「不明」と表示されることがあります。
- ・サービスエリアなどの有料道路施設を行き先とした場合、料金が表示されないことがあります。

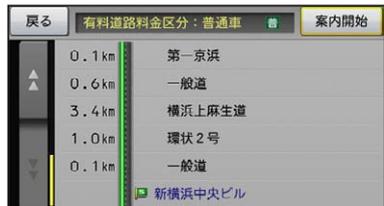
## ルートプロフィールでルートを確認する

自車位置から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路の料金(有料道路を使用する場合)や通過予想時刻などの情報を確認できます。

### 1 案内開始画面(→P56)で、**ルートプロフィール**にタッチする



ルートプロフィール画面が表示されます。



## Advice

- ・ルート編集メニュー(→P61)からの操作では、案内開始ではなく、終了が表示されます。

## 他のルートを選ぶ

- 案内開始画面(→P56)で、**他のルート**にタッチする



- 1~6の番号でルートを選び**決定**にタッチする



**地図スクロール** スクロール確認画面でスケール変更と地図のスクロールができます。

### Advice

- 最大6本の候補ルートの中から選べます。(候補ルートが同じになる場合もあります。)
- 現在選ばれているルートの候補条件が、画面に表示されます。
- 推奨ルートは必ずしも最短時間になるルートとは限りません。

## スクロール確認画面の操作

スクロール確認画面では、地図のスクロール(→P41)とスケール変更(→P41)ができます。また、**候補切換**にタッチすることにより、ルートが切り換わり、**決定**にタッチすると選んだルートに設定します。



## ルート地図を表示する

### Advice

- ルート地図**は、立寄地などを指定して、探索されたルートが1本の場合に表示されます。

- 案内開始画面(→P56)で、**ルート地図**にタッチする



- 決定**または**戻る**にタッチする



ルート地図画面では、地図のスクロール(→P41)とスケール変更(→P41)ができます。

## 詳細ルート設定をする

立寄地や乗降IC、出発地の指定を行い、ルートを詳細に設定できます。また、探索条件の指定を行うこともできます。

## 立寄地を追加する

ルート上に立寄地を追加(最大5件まで)して、立寄地を経由するルートを案内できます。

### Advice

- ショートカットメニュー(→P33)の**ここへ行く<-立寄地**にタッチして操作することもできます。その場合は、その場所へ最初に立ち寄るルートとなります。
- 立寄地の追加を行うと、その時点で通過済みの立寄地はすべて自動的に削除されます。

## 1 案内開始画面(→P56)で、**詳細ルート設定**にタッチする



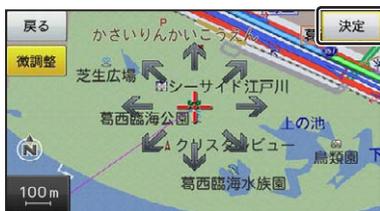
## 2 立寄地指定にタッチする



## 3 追加にタッチする



## 4 場所を探して(→P47) 立寄地を決め、**決定**にタッチする



### Advice

- ・立ち寄る順番に指定します。
- ・あとから順番を並べ替えることもできます。

## 5 探索開始にタッチする



<b>追加</b>	さらに立寄地を追加します。
<b>削除</b>	立寄地を削除します。
<b>並べ替え</b>	前の立寄地から近い順に並べ替えます。
<b>オート</b>	
<b>並べ替え</b>	立ち寄る順番を指定して並べ替えます。
<b>マニュアル</b>	

### Advice

- ・さらに立寄地を追加するときは、手順**3**～**4**の操作を繰り返します。

指定した立寄地に立ち寄るルートが探索され、案内開始画面(→P56)が表示されますので、案内開始にタッチします。

## 乗降IC(インターチェンジ)を指定する

有料道路を使うルートを設定した場合は、入口と出口のインターチェンジを指定できます。

### Advice

- ・指定されたインターチェンジは、通常の立寄地として追加されます。
- ・指定できるインターチェンジは、最初に探索されたルートの最初の入口、最後の出口、またその入口/出口の前後3施設の計7施設から選択できます。複数の有料道路を使用するルートの場合、途中のインターチェンジは、変更できません。
- ・スマートIC考慮ルート探索が機能している場合は、スマートICを乗降ICとして指定することもできます。→「スマートICを考慮したルート探索」(P55)

- 案内開始画面(→P56)で、  
入口IC名または出口IC名にタッチする



- 入口または出口となるインターチェンジを決め、**決定**にタッチする



指定したインターチェンジを通るルートが探索されます。

### Advice

- 案内開始画面で、**詳細ルート設定** - **乗降IC指定**と操作しても、乗降ICを指定できます。
- ジャンクション (JCT) を選ぶと、分岐先の有料道路のインターチェンジリストが表示されます。

乗降IC指定を解除するには

- 「乗降IC (インターチェンジ) を指定する」の手順②で**指定解除**にタッチする



- はい**にタッチする

乗降IC指定を解除して、ルートが探索されます。

### Advice

- 案内開始画面で、**詳細ルート設定** - **乗降IC指定** - **指定解除**と操作しても、乗降ICを解除できます。

## ■ 出発地を指定する

指定した出発地からルートを探索できます。

- 案内開始画面(→P56)で、**詳細ルート設定**にタッチする



- 出発地指定**にタッチする



### ③ 場所を探して(→P47) 出発地を決め、**決定**にタッチする



指定した場所を出発地としたルートが探索されます。

出発地を解除するには

### ① 「出発地を指定する」の手順 ② で**出発地指定解除**にタッチする



### ② **はい**にタッチする

出発地指定を解除して、ルートが探索されます。

# ルートを編集する

設定したルートを確認したり、立寄地や出発地、乗降ICなどを指定したり、ルートを編集できます。

## 1 『メニュー』ボタンを押し、設定 - 編集 - ルート編集 にタッチする



ルート編集メニュー画面が表示されます。



<b>ルートプロフィール</b>	設定したルートを確認できます。(→P61)
<b>詳細ルート設定</b>	立寄地の追加など、ルートの詳細に設定できます。(→P61)
<b>立寄地送り</b>	登録された立寄地に立ち寄る必要がなくなった場合などは、立寄地を通過済みとして、ルートを再探索します。(→P62)
<b>デモ走行</b>	出発地から行き先までのルートを擬似走行させて、ルートを確認できます。(→P62)
<b>ルート消去</b>	案内中のルートを消去できます。(→P62)

## ルートプロフィールでルートを確認する

操作方法は、「目的地までのルートを探させる」の「ルートプロフィールでルートを確認する」(→P56)と同様です。

## 条件を変えてルートを再探索させる

案内中のルートの探索条件を一時的に変えて、再探索できます。ただし、通過済みの立寄地は、ルートを再探索しても考慮されません。

「立寄地指定」、「乗降IC指定」、「出発地指定」の操作方法は、「目的地までのルートを探させる」の「詳細ルート設定をする」(→P57)と同様です。

## 1 ルート編集メニュー (P61) で、詳細ルート設定 - 有料回避で再探索または有料標準で再探索にタッチする



### Advice

・上記探索条件の変更は一時的なもので、機能設定の「ルート探索基準」(→P83)には反映されません。

## 立寄地を先送りする

登録された立寄地に立ち寄る必要が無くなった場合などは、立寄地を通過済みとして、ルートを再探索します。

### 1 ルート編集メニュー（P61）で、**立寄地送り**にタッチする



次の立寄地を通過済みにして、ルートが探索されます。

## デモ走行でルート確認する

出発地から行き先までのルートを擬似走行させて、ルートを確認できます。

### 1 ルート編集メニュー（P61）で、**デモ走行**にタッチする



デモ走行が開始されます。



## Advice

- ・デモ走行中は、画面左側に**デモ中**が表示されます。タッチすると、デモ走行終了の確認メッセージが表示されます。終了する場合は**はい**にタッチします。
- ・デモ走行中は、ルート編集メニュー（→P61）に**デモ走行終了**が表示されます。タッチするとデモ走行を終了します。
- ・デモ走行は、終了させるまで繰り返行われます。

## ルートを消去する

### 1 ルート編集メニュー（P61）で、**ルート消去**にタッチする

### 2 **はい**にタッチする



ルートが消去されます。

## Advice

- ・消去したルートを元に戻すことはできません。

# ルート誘導・案内

ルート案内中の表示や音声案内について説明します。

## ルート案内中の現在地画面



### <案内地付近>



### Advice

- 案内中のルートは、一般道が緑色で有料道路は青色で道塗り表示されます。また、出発地付近、立寄り地付近、行き先付近は細街路まで探索され、細街路はピンク色で表示されます。場所によっては道塗りがされない場合もあります。
- 到着予想時刻には、「設定を変更する」(→P82)で設定した到着予想時刻速度と走行中の平均速度、渋滞予測データの内容がそれぞれ反映されます。またVICS情報も考慮されます。表示される時刻はあくまでも推測時刻で実際の到着時刻とは異なります。
- 目的地への到着予想時刻の表示は、「設定を変更する」(→P82)の「到着予想時刻表示」を「立寄り地」とすることで、立寄り地への到着予想時刻の表示に変更できます。
- ルートインフォメーションには、次の案内地までの距離と曲がる方向および案内地名(交差点名)が表示されます。交差点によっては、案内地名が“案内地”と表示される場合があります。
- 案内地に近づく(一般道:約700m、有料道:約2km)と、次の案内地のレーン情報、方面案内(一般道走行中)が表示されます。情報の無い交差点では表示されません。
- 通過交差点名は、案内地1km以内では表示されません。
- レーン情報表示は、誘導中のレーンが緑色で表示されます。通行が推奨される誘導レーンは緑色に黒の矢印で表示されます。有料道路走行中のレーン情報表示は青色で表示されます。

## 案内地に近づく

案内地の手前約 500 m に近づく、交差点案内表示の画面に切り換わり、曲がる方向や目印となる施設が表示されます。



## 立体交差イラスト



## 都市高速道路の入口に近づく

ルート上の都市高速道路入口の手前約 300 m に近づく、イラストが表示されます。



### Advice

- ・交差点案内表示中にエアージェスチャーセンサーに手を近づけて [ ] にタッチすると、案内表示を一時的に OFF にできます。再度案内表示を ON にしたいときは、[ ] にタッチします。また、カスタム機能 (→P36) やエアージェスチャーの手振り機能 (→P79) でも設定により操作できます。
- ・進行方向に立体交差になる側道がある場合、交差点案内図の代わりに立体的に描画されたイラストが表示される場合があります。
- ・交差点案内図の表示は、ON/OFF できます。→「設定を変更する」(P82)

### Advice

- ・一部の都市高速入口において、イラストが表示されないことがあります。
- ・都市高速入口の直前に案内地点がある場合には、イラストが表示されないことがあります。

## 案内地のイラスト表示

進行方向に立体交差になる側道がある場合や、交差点イラストのデータが収録されている場合は、交差点案内図の代わりに立体的に描画されたイラストが表示されます。

### 交差点イラスト



## 有料道路の分岐に近づく

ルート上の有料道路分岐の手前約 2 km に近づく、ルートの進行方向の方面名称を表示します。また都市高速・都市間高速では分岐の手前約 1 km に近づく、イラストが表示されます。



### Advice

- ・地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

## ■ 有料道路の出口や料金所を通過すると

ルート上の有料道路の出口や料金所を通過後に分岐情報がある場合は、進行方向を示すイラストが表示されます。



### Advice

- ・地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

## ■ エコステータスレベル案内について

目的地に到着して案内が終了すると、ルート案内中の運転操作から、前回の運転と今回の運転の燃費情報を基にした「エコ指数」(→P102)をポイント化して、エコ運転の評価結果(ステータスレベル)を効果音とメッセージで表示できます。

### Advice

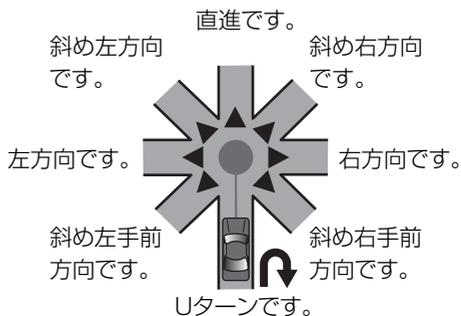
- ・表示されたメッセージを消すときは、**確認**にタッチしてください。
- ・エコステータスレベル案内は、ON/OFFできます。  
→「設定を変更する」(P82)
- ・エコステータス情報については、「エコステータス情報を表示する」(→P102)をご覧ください。

## ■ 音声による誘導・案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声案内が行われます。

### ■ 進行方向案内

進行方向(8方向)は、音声で以下のように案内されます。



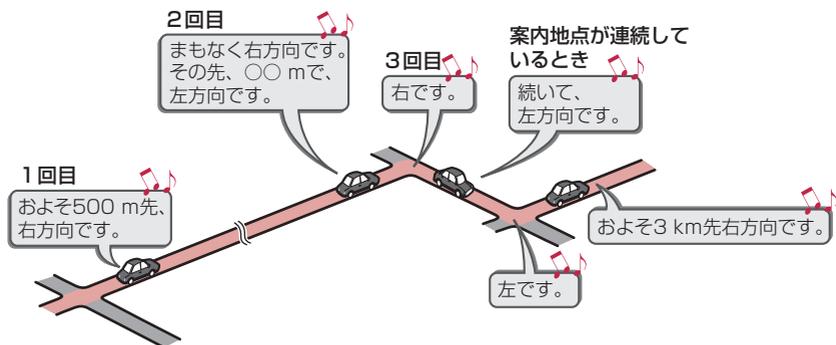
種類	案内例
側道案内	およそ〇〇 m 先、側道を左方向です。
レーン案内	およそ〇〇 m 先、右方向です。右側2レーンをお進みください。
方向案内	およそ〇〇 m 先、左方向です。

### Advice

- ・右方向や左方向などの案内だけではうまく案内できない地点においては、走行すべきレーンなども案内します。
- ・誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。

## ■一般道路走行時の案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大3回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内(→P64)が表示されます。

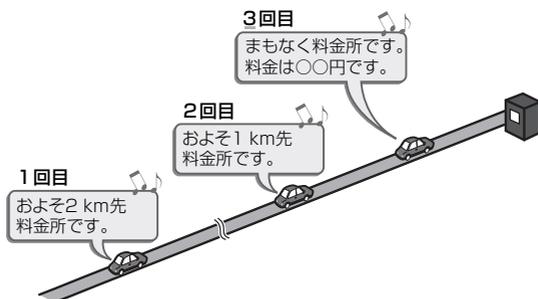


### 立寄地が近づいたら

立寄地の約300 m手前に近づく、「まもなく立寄地点です。」と音声案内が流れます。また、立寄地の約10 m手前に近づく、「立寄地に到着しました。」と音声案内が流れます。

## ■有料道路走行時の案内

車の走行に合わせ、分岐や出口、料金所の手前で最大3回、音声案内が流れます。また、そのタイミングで方面名称や分岐イラスト(→P64)などが表示されます。



### Advice

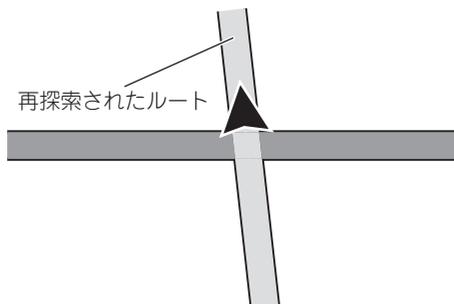
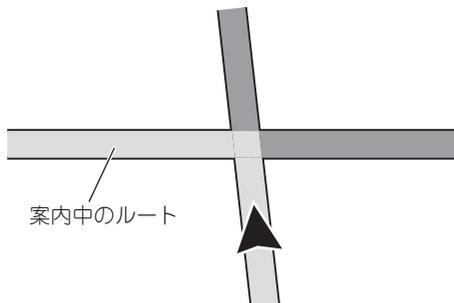
- ・料金案内では、有料道路に入る前にルートを設定した入口から出口までの料金が案内されます。有料道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。

# ルート案内中の操作と機能

ルート案内中にできる操作と、いろいろな機能を説明します。

## ルートから外れたときに自動的にルートを再探索させる

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します(オートリルート)。



## 状況に応じて新しいルートを提案させる

新しいルートが見つかったと、“渋滞考慮オートリルートを行いました”と音声案内が流れ、新しいルートを表示します。(渋滞考慮オートリルート)



元ルート	元ルートで案内します。
新ルート	新ルートで案内します。

選択されたルートで案内を開始します。

### Advice

- ・画面右には、分岐までの距離(「○ km先分岐」)や、新ルートを選んだ場合の時間や距離、料金の増減を「↑増」「↓減」で表示します。
- ・FM多重放送による渋滞情報や規制情報が更新された場合に提案されます。(渋滞考慮)
- ・「渋滞考慮オートリルート」はON/OFFできます。→「設定を変更する」(P82)
- ・渋滞考慮オートリルートの案内が行われてから、一定区間を走行する間に新ルートまたは元ルートの選択がされなかった場合は、機能設定の「渋滞考慮オートリルート自動決定ルート」の設定に従い自動的に決定されます。渋滞考慮オートリルート自動決定ルートの設定は変更できます。→「設定を変更する」(P82)
- ・スマートループ渋滞情報(→ P94)を取得している場合は、渋滞情報が考慮されます。スマートループ渋滞情報を取得していないときは、FM多重放送による規制情報のみが考慮されます。

- ・案内地付近や案内地が連続している場合は、渋滞考慮オートリルートが働かないことがあります。
- ・新しい候補ルートは、元のルートより所要時間、または距離が増加するルートが提示されることがあります。
- ・渋滞情報や規制情報の更新による渋滞考慮オートリルートが行われた場合、必ずしも提案されたルートが実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。

## ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生したVICSの渋滞・規制情報を地図や音声で案内します。

### Advice

- ・「渋滞情報取得開始設定」を「オート」に設定し、「渋滞情報連続取得設定」を「ON」に設定している場合、ルート案内中は、一定間隔で渋滞情報を取得します。(→P88)
- ・VICS情報が取得できていないときなどは、働かないことがあります。
- ・音声では、例：“およそ3 km先、1 kmの渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”と案内されます。

## 自動で案内させる

ルート上に発生したVICSの渋滞情報を、自動的に音声で案内します。(渋滞オートガイド)

### Advice

- ・渋滞オートガイドは、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(P82)
- ・案内中のルートが無い場合は、案内されません。

## 手動で案内させる

ルート上に発生している渋滞情報を、地図と音声で案内します。(渋滞チェック)

### 1 ルート案内中に**渋滞**にタッチする

渋滞情報がある場所の地図が表示され、渋滞情報が音声で案内されます。



### Advice

- ・手順①の操作を繰り返すごとに、最大5ヶ所先の情報まで、順に案内できます。
- ・案内中のルートが無い場合は、自転車周辺の規制情報のみを表示・案内します。

## ルート上に通行止めが発生した場合

ルート上に通行止めが発生した場合は、“ルート上に通行止めが発生したため、新ルートで案内します”と音声案内と画面表示され、新ルートのみ案内となります。**確認**にタッチしてください。(通行止め考慮オートリルート)

### Advice

- ・設定されたルートや通行止めの発生したタイミング、情報取得のタイミングによっては、新ルート案内しない場合があります。

# ルート案内を中止する

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去します。

## 1 『メニュー』ボタンを押し、**ルート消去**にタッチする



## 2 **はい** にタッチする



▼  
ルートが消去されます。

### *Advice*

- ・消去したルートを元に戻すことはできません。
- ・ルート編集メニューから消去することもできます。  
(→P62)

# 地点の登録

自宅や友人宅などの覚えておきたい場所を登録しておく、ルート設定などの操作がかんたんになります。

## Advice

- ・自宅を含め1001地点まで登録できます。
- ・登録地の名称やマークは変更できます。→「登録地の編集」(P72)

## 自宅を登録する

自宅を登録しておく、かんたんに自宅へのルートが探索できます。

### 1 自宅に車を止め、エアージェスチャーセンサーに手を近づけ、**自宅** - **はい** にタッチする



自宅が登録されます。

## Advice

- ・自宅を新規に登録すると、「自宅」という名前と、自宅マークが自動的に入力されます。
- ・自宅以外の場所に停車しているときは、「場所を探す」(→P47)を参照して自宅の場所を探してください。
- ・場所を探して登録するときに、自宅として登録することもできます。→「探した場所を登録する」(P70)
- ・自宅登録後に**自宅**にタッチすると、自宅までのルート探索が始まります。(→P55)
- ・自宅の位置は変更できます。→「登録地の登録内容を変更する」(P72)
- ・自宅を登録し直す場合は、登録済みの自宅を消去してから行ってください。→「登録地を消去する」(P73)
- ・「メニュー」ボタンを押し、**自宅**にタッチしても操作できます。

## 探した場所を登録する

探した場所を登録しておく、次回そこへ行くときにかんたんにルートを探索できます。また、登録地に近づくと自動的に音を鳴らすこともできます。

### 1 場所を探す(→P47)

探した場所の地図上にショートカットメニューが表示されます。

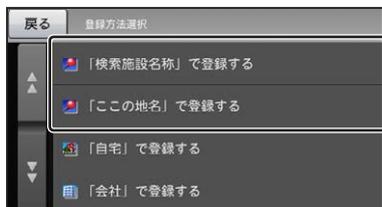
## Advice

- ・地図をスクロールして場所を探したときは、ショートカットメニュー(→P33)を表示させてください。
- ・現在地を登録したいときは、**カスタム**にタッチしてください。ただし、カスタム機能が「地点を登録する」以外に設定されている場合は、登録できません。

### 2 **ここを登録する** にタッチする



### 3 「検索施設名称」で登録する または「この地名」で登録する にタッチする



#### Advice

・あらかじめ用意されている名称で登録することもできます。→「用意されている名称で登録する」(P71)

### 4 入力完了 にタッチする



#### Advice

・ジャンル検索などで呼び出した施設などを登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。  
・登録する名称を変えることもできます。→「文字の入力操作」(P130)

### ■ 用意されている名称で登録する

場所を登録する際、その場所の地名ではなく「実家」「おばあちゃんの家」「彼女の家」といった、すでに用意されている名前から選択して登録できます。登録時に選択した名称とそれに応じたマークが付きます。

### 1 P70 「探した場所を登録する」の 手順3で以下の項目を選ぶ

次の名称で登録できます。

項目	登録名称
「自宅」で登録する	自宅
「会社」で登録する	会社
「実家」で登録する	実家
「友達の家」で登録する	友達の家
「おじいちゃんの家」で登録する	おじいちゃんの家
「おばあちゃんの家」で登録する	おばあちゃんの家
「おじさんの家」で登録する	おじさんの家
「おばさんの家」で登録する	おばさんの家
「田舎」で登録する	田舎
「ふるさと」で登録する	ふるさと
「彼女の家」で登録する	彼女の家
「彼氏の家」で登録する	彼氏の家
名前をつけて登録する	お好みの名前を入力できます。

### 2 入力完了 にタッチする

選んだ名称で登録されます。

#### Advice

・用意されている名称で登録するときは、名称を選択したあと、いったん文字入力画面が表示されますので、文字を追加したり、任意で名称を変更することもできます。

# 登録地の編集

登録地に関するデータ(名称、電話番号、マーク、効果音、位置)を変更したり、登録地を消去したりできます。

## 登録地の登録内容を変更する

登録時に設定された内容を変更できます。

1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** - **編集** にタッチする

2 **登録地編集** - **編集** にタッチする



3 登録内容を変更したい地点にタッチし、**決定** にタッチする



### Advice

・◀ にタッチするとサイドメニューが表示され、リストの並べ替えができます。

呼出日時順	登録または呼び出しの日時順に並べ替えます。
自車位置から近い順	自車位置から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	マークごとに並べ替えます。

4 変更したい項目にタッチする



名称	変更したい名称を全角で20文字(半角で40文字)まで入力できます。
電話番号	電話番号を入力します。電話番号を設定しておく、電話番号からその場所を検索できるようになります。
2Dマーク	地図上に表示される登録地の2Dマークを変更します。
効果音	登録地に近づいたときに鳴らす効果音を設定できます。
位置修正	登録地の位置を修正します。

5 終了にタッチする

地図画面に戻ります。

## 登録地の名称を地図上に表示させる

2Dマークリスト上の ■ マークを選ぶと、マークに加え登録地の名称も地図上に表示されます(プライベートマッピング)。



## 効果音の鳴りかた

- 効果音の設定された登録地が自転車から500 m以内に近づくと、効果音が鳴ります。
- 自転車から500 m以内に登録地が複数ある場合は、近いものから効果音が鳴ります。
- 登録地の効果音よりも、ルート案内やスマートループ渋滞情報の音声案内が優先されます。
- いったん効果音が鳴ると、30分経過するか、本機の電源を入れ直さないと同じ場所の効果音は鳴りません。
- あいさつ**にタッチすると、時刻によって効果音が変わります。

## Advice

- ◀にタッチするとサイドメニューが表示され、リストの選択や並び替えができます。

<b>全選択</b>	すべての登録地が選択されます。
<b>全解除</b>	選択されている登録地すべてを解除します。
<b>呼出日時順</b>	リストを呼び出し日時順に並び替えます。
<b>自転車位置から近い順</b>	リストを自転車位置から近い順に並び替えます。
<b>2Dマーク順</b>	リストを2Dマークごとに並び替えます。リストに表示されるマークの並び順は、2Dマークリストの左上からの順番となります。

## 登録地を消去する

不要になった登録地を消去します。

1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** - **編集**にタッチする

2 **登録地編集** - **消去**にタッチする



3 消去したい地点にタッチする

4 サイドマップで地点を確認し、チェックボックスにタッチする



選んだ登録地には、✓(チェックマーク)が付き、引き続き選べます。

5 **消去**にタッチする



確認メッセージが表示されます。

6 **はい**にタッチする

登録地が消去されます。

## Advice

- 詳細情報から消去することもできます。→「詳細情報を見る」(P53)

# その他の編集

## 過去に検索した場所を消去する

目的地を探すと、探した地点が自動的に「検索履歴」に保存されます。

次の手順で検索履歴を消去できます。

### 1 『メニュー』ボタンを押し、設定 - 編集にタッチする

### 2 検索履歴消去にタッチする



### 3 消去したい地点にタッチする

### 4 サイドマップで地点を確認し、チェックボックスにタッチする



選んだ登録地には、✓(チェックマーク)が付き、引き続き選べます。

### Advice

・にタッチするとサイドメニューが表示され、リストの一括選択や一括解除ができます。

全選択	すべての登録地が選択されます。
全解除	すべての登録地の選択を解除します。

### 5 消去にタッチする



確認メッセージが表示されます。

### 6 はいにタッチする

選んだ地点が消去されます。

### Advice

・検索履歴を削除すると、よく行くランキングの表示内容が変更する場合があります。

## 走行軌跡を消去する

地図画面に表示されている走行軌跡を消去できます。

### Advice

・走行軌跡を自動的に消去させることもできます。→設定を変更する(P82)

### 1 『メニュー』ボタンを押し、設定 - 編集にタッチする

### 2 走行軌跡消去にタッチする



確認メッセージが表示されます。

### 3 はいにタッチする

走行軌跡が消去されます。

## よく行くランキングの訪問回数を消去する

よく行くランキングに表示されている場所の訪問回数を消去します。

1 『メニュー』 ボタンを押し、**設定** - **編集** にタッチする

2 **よく行くランキング消去** にタッチする



3 訪問回数を消去したい地点の**チェックボックス**にタッチする



選んだ場所には、 (チェックマーク) が付き、引き続き選べます。

### Advice

・  にタッチするとサイドメニューが表示され、リストの一括選択や一括解除、表示されている場所の全消去ができます。

<b>全選択</b>	すべての場所が選択されます。
<b>全解除</b>	すべての場所の選択を解除します。
<b>ランキング全消去</b>	よく行くランキングに表示されているすべての場所を消去します。

4 **消去** にタッチする

確認メッセージが表示されます。

5 **はい** にタッチする



選んだ場所の訪問回数が消去されます。

## オービスデータを消去する

ナビスタジオを使ってダウンロードし、SDカード経由で読み込ませたオービスライブデータを消去します。

1 『メニュー』 ボタンを押し、**設定** - **編集** にタッチする

2 **オービスデータ消去** にタッチする



### Advice

・ **オービスデータ消去** は、オービスデータが読み込まれている場合のみ表示されます。

3 **はい** にタッチする

オービスライブデータが消去されます。

# マイセットアップ

本機の基本的な設定を、画面の指示に従ってかんたんに行えます。

## マイセットアップで設定できる機能

マイセットアップで設定できる機能と設定順序は、以下のとおりです。

案内音量調整	案内音量と操作音を設定できます。
エアージェスチャー練習モード	音声ガイダンスやイメージ映像に従って、エアージェスチャーの練習ができます。
エアージェスチャー設定	エアージェスチャーに関する各種設定ができます。
自宅設定	自宅の登録や変更ができます。
車両情報設定	車の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さを設定できます。
ETC取付状態設定	ETC車載器またはDSRCユニットが車に取り付けられているかどうかを設定します。
プローブ情報送信設定	プローブ情報を送信するかどうかを設定します。
スマートループお試し登録	スマートループのお試し登録ができます。

設定操作

## マイセットアップを開始する

### Advice

- ・ルート案内中は、マイセットアップはできません。

- 1 『メニュー』 ボタンを押し、**設定**にタッチする
- 2 **マイセットアップ**にタッチする
- 3 **マイセットアップをはじめる**にタッチする

### Advice

- ・マイセットアップ設定中は、**次へ**にタッチすると次の設定へ、**前へ**にタッチすると前の設定に移ります。
- ・**終了**にタッチすると、その時点までの設定を保存してマイセットアップ終了画面に移ります。
- ・「ETC取付状態設定」以外の設定項目は、それぞれ設定メニューから個別に設定できます。

## ■ 音量の調整

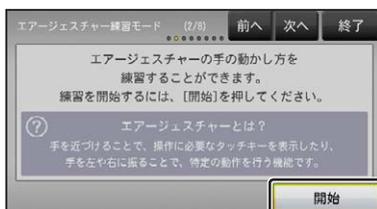
- 1 それぞれの項目で**+**または**-**、**ON**または**OFF**にタッチして調整する



<b>案内音量</b>	案内音量を調整します。
<b>操作音</b>	操作音のON/OFFを設定します。

## ■ エアージェスチャーの練習

- 1 **開始**にタッチする



## 2 画面に従ってエアージェスチャーを練習する

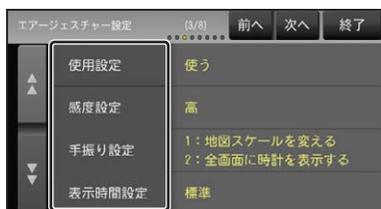


前へ または 次へ にタッチすると、練習する内容を切り換えます。もう一度説明を聞く にタッチすると、操作方法の説明が聞けます。

## 3 練習モードを終了する にタッチする

### ■エアージェスチャーの設定

#### 1 それぞれの項目を設定し、戻る にタッチする



<b>使用設定</b>	エアージェスチャーを使うかどうかを設定します。
<b>感度設定</b>	エアージェスチャーセンサーの感度(高/低)を設定します。
<b>手振り設定</b>	手振り操作の方向と、動作内容を「設定1」、「設定2」それぞれに設定します。
<b>表示時間設定</b>	お出かけランチャーの表示時間(長い/標準/短い)を設定します。
<b>音設定</b>	エアージェスチャーセンサーが反応した時に鳴らす音を設定します。

### ■自宅の設定

#### 1 自宅登録 にタッチする



すでに自宅が登録済みの場合は、登録変更が表示され、タッチすると場所を探すための検索画面が表示されます。

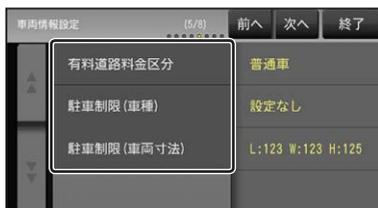
#### 2 場所を探して、決定 にタッチする



設定操作

### ■車両情報の設定

#### 1 それぞれの項目を設定し、戻る または 閉じる にタッチする



## ■ ETC 取付状態の設定

### 1 車に取り付けているまたは車に取り付けていないにタッチする



「車に取り付けている」に設定すると、機能設定の「スマートIC考慮ルート探索」が自動的にONになります。また、どちらの設定にした場合でも、機能設定の「ETCレーン案内表示」はONに変更されます。

ループ渋滞情報を体験できます。スマートループお試し登録は、当社指定のアドレスに空メールを送信し、返送されてくる確認メールに記載のURLにアクセスすると完了します。

## ■ マイセットアップを終了する

### 1 マイセットアップを終了するにタッチする



## ■ プローブ情報の送信設定

### 1 ON または OFF にタッチする



## ■ スマートループお試し登録

### 1 QRコードを携帯電話やスマートフォンで読み取り、専用ページにアクセスしてお試し登録をする



スマートループお試し登録を行うと、お客様登録およびスマートループ設定の初期登録をしなくても、期間限定でスマート

# エアージェスチャー設定

エアージェスチャーに関する各種設定ができます。

## エアージェスチャーの内容を設定する

エアージェスチャーを使う・使わないや、エアージェスチャーセンサーの感度設定、手振り操作の方向と動作する機能、お出かけランチャーの表示時間、エアージェスチャーの操作音が設定できます。

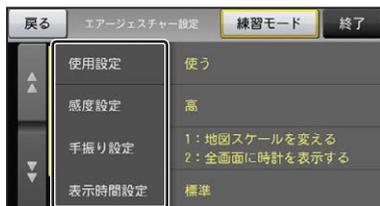
### 1 『メニュー』 ボタンを押し、設定 - 設定にタッチする

### 2 エアージェスチャー設定 にタッチする



### 3 各項目を選んで内容を設定する

各項目にタッチすると各設定画面が表示されます。設定を終えたあとは「戻る」にタッチしてください。



## Advice

・練習モード にタッチすると、エアージェスチャーの練習ができます。練習モードはマイセットアップ (→P76) から行えます。

## 使用設定

エアージェスチャーを使うかどうかを設定します。工場出荷時は「使う」に設定されています。

使う	エアージェスチャー機能が動作します。
使わない	エアージェスチャー機能は動作しません。

## 感度設定

エアージェスチャーセンサーの感度 (高 / 低) を設定します。工場出荷時は「高」に設定されています。

高	エアージェスチャーを認識する感度を高くします。エアージェスチャーセンサーから手が離れていても反応しやすくなります。
低	エアージェスチャーを認識する感度を低くします。エアージェスチャーセンサーに手を近付けないと反応しません。

## 手振り設定

手振り操作の動作内容と方向を「設定1」、「設定2」それぞれに設定します。

それぞれに設定した機能は、エアージェスチャー機能切り換えキー (→P29) で切り換えて使用できます。

工場出荷時は下記に設定されています。

手振り設定1：地図スケールを変える：左右両方向

手振り設定2：全画面に時計を表示する：左右両方向

## 手を振ったときの動作

ナビ画面とAV画面を切り換える	ナビ画面と AV 画面を切り換えます。
全画面に時計を表示する	全画面に時計を表示します。
バックカメラを表示する	バックカメラの映像を表示します。

<b>トラックアップ/ダウン</b>	トラックのアップ/ダウンを行います。ソースによっては曲の頭出しとなります。
<b>トラックアップ</b>	トラックのアップを行います。
<b>AVソースの音量アップ/ダウン</b>	AVソースの音量アップ/ダウンを行います。
<b>案内表示をON/OFFする</b>	案内表示のON/OFFを切り換えます。
<b>地図スケールを変える</b>	地図のスケールを変更します。
<b>500mスケールと登録したスケールを切り換える</b>	500mスケールに切り換えます。500mスケールのときは、登録したスケールに切り換えます。
<b>25mスケールと登録したスケールを切り換える</b>	25mスケールに切り換えます。25mスケールのときは、登録したスケールに切り換えます。
<b>ロゴマークをON/OFFする</b>	ロゴマークの表示/非表示を切り換えます。
<b>100mスケール一方通行表示をON/OFFする</b>	100mスケール一方通行表示の表示/非表示を切り換えます。
<b>地図方位を切り換える</b>	「2D(ノーマルビュー) 地図方位」の「ヘディングアップ/ノースアップ」を切り換えます。
<b>ミュートをON/OFFする</b>	音を消す/消さないを切り換えます。
<b>使わない</b>	手振り操作は使いません。

## 手振り方向

<b>左右両方向</b>	左右どちらから手を振ってもエアージェスチャーが可能です。
<b>左方向のみ</b>	右から左に手を振ったときのみにエアージェスチャーが可能です。
<b>右方向のみ</b>	左から右に手を振ったときのみにエアージェスチャーが可能です。

## Advice

- ・項目によっては、手振り方向が限定されます。
- ・次の項目はAVソース画面では機能しません。
  - 案内表示をON/OFFする
  - 地図スケールを変える
  - 500mスケールと登録したスケールを切り換える
  - 25mスケールと登録したスケールを切り換える
  - ロゴマークをON/OFFする
  - 100mスケール一方通行表示をON/OFFする
  - 地図方位を切り換える

## 表示時間設定

お出かけランチャーの表示時間を設定します。工場出荷時は「標準」に設定されています。

<b>短い</b>	約2秒間
<b>標準</b>	約4秒間
<b>長い</b>	約6秒間

## 音設定

エアージェスチャー操作(手を近づける/手振り(左方向)/手振り(右方向))をしたときの効果音をそれぞれ8種類の中から設定できます。

<b>手を近づける</b>	手を近づけたときや手を離れた後の音を設定します。
<b>手振り(左方向)</b>	左方向に手振り操作したときの音を設定します。
<b>手振り(右方向)</b>	右方向に手振り操作したときの音を設定します



<b>設定</b>	選択した音に設定します。
<b>確認</b>	選択した音を確認できます。

## Advice

- ・「設定無し」を選択したときは音無し(操作音除く)に設定され、上記の画面は表示されません。

# ロゴマーク表示設定

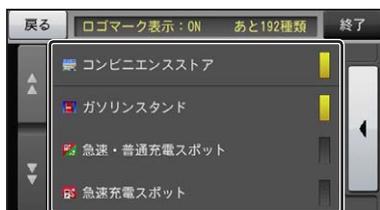
さまざまな施設のロゴマークを地図上に表示できます。

## 1 『メニュー』 ボタンを押し、設定 —設定—toタッチする

## 2 ロゴマーク表示設定 にタッチ する



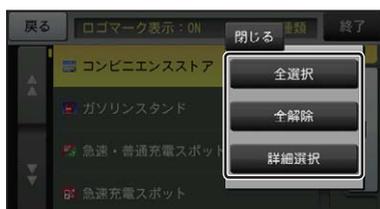
## 3 ロゴマークを表示させたい施設の ジャンルにタッチする



### Advice

- ・選ばれたジャンルは、右側のインジケーターが点灯します。インジケーターは、**詳細選択** で1つ以上選択した場合も点灯します。
- ・追加データは、マップチャージ(→P109)で新規ジャンルの追加があれば地図上に表示されます。

## 4 選択方法にタッチする



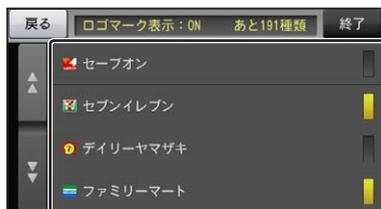
**全選択** すべての関連施設を表示します。

**全解除** 選択した施設をすべて解除します。  
**詳細選択** 施設をさらに分類表示します。

### Advice

- ・**詳細選択** にタッチしたときは、さらに分類表示されたリストが表示されます。
- ・最大200種類まで選択できます。

## 5 ロゴマークを表示させたい施設 にタッチする



選ばれた施設のインジケーターが点灯し、引き続き選べます。

### Advice

- ・再度施設にタッチすると、インジケーターが消灯し、選択が解除されます。
- ・他の施設を選ぶには、**戻る** にタッチして手順**3**の画面に戻り、手順**3**～**5**を繰り返してください。

## 6 終了にタッチする

地図画面に戻り、選択した施設のロゴマークが表示されます。

## ■ ロゴマークを非表示にする

手順**3**で**非表示**にタッチすると、ロゴマークを非表示にできます。

# 機能設定

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくなります。

ナビゲーションの設定項目は、機能ごとに次の4つのメニューに分類されています。

- ・地図表示 (→P83)
- ・渋滞情報 (→P85)
- ・ルート・案内 (→P83)
- ・その他 (→P85)

## 設定を変更する

ナビゲーションの機能設定を変更するには、以下のようにします。

**1** 『メニュー』ボタンを押し、**設定** - **設定**にタッチする

**2** **機能設定** にタッチする



**3** 設定を変更したい項目にタッチする



### Advice

- ・分類タブにタッチすると、機能の先頭からリストを表示します。

**4** 設定内容にタッチする



設定内容が変更されます。引き続き設定項目を選んで変更できます。

**5** 設定を終了する場合は、**終了**にタッチする

# 設定内容の詳細

## 地図表示

\* は工場出荷時の設定です。

### 2D(ノーマルビュー) 地図方位

「ヘディングアップ」\* 進行方向が常に上になるように、地図が回転します。  
「ノースアップ」 常に上が北になるように、地図が表示されます。

### オートハイウェイモード

「ON」\* 有料道路でハイウェイモードにします。  
「OFF」 ハイウェイモードにしません。現状の地図表示モードを維持します。

### シティマップ

「ON」\* 市街地図が表示されます。  
「OFF」 通常の地図が表示されます。

### シティマップ境界表示(シティマップON時に選択可)

「ON」 シティマップの境界線を表示します。  
「OFF」\* シティマップの境界線を表示せず、通常画面に切り換えます。

### 地図色切換

「時刻連動」\* 日没/日出時刻連動で画面の配色が切り換わります。  
「昼色固定」 常に昼画面のままです。  
「夜色固定」 常に夜画面のままです。

### 走行軌跡自動消去

「自宅付近」 自宅に登録した場所から100 m以内の地点で本機の電源を切ったり、スタンバイモード(→P18)から復帰したりすると、走行軌跡が自動的に消去されます。  
「電源オフ時」 本機の電源を切ったり、スタンバイモードから復帰したりすると走行軌跡が自動的に消去されます。  
「OFF」\* 走行軌跡は自動消去しません。

### 走行軌跡表示

「ON」\* 走行軌跡が表示されます。  
「OFF」 走行軌跡は表示されません。

### 立体ランドマーク表示

「ON」\* 3Dランドマークを表示します。  
「OFF」 3Dランドマークを表示しません。

### 2D(ノーマルビュー) 固定スクロール

「ON」 スクロール中、画面をノーマルビューに固定します。  
「OFF」\* スクロール中、画面をノーマルビューに固定しません。

### 方面案内表示

「ON」\* 交差点に近づいたときに、方面案内を表示します。  
「OFF」 方面案内は表示しません。

## ルート・案内

\* は工場出荷時の設定です。

### ルート探索基準

- 「推奨」\*** 信号機の数少なく、右左折の量が適度な通りやすいルートが探索されます。
- 「距離優先」 距離を優先してルートが探索されます。
- 「幹線優先」 幹線道路を優先してルートが探索されます。

### 有料道路使用条件

- 「標準」\*** 有料道路が標準的な基準でルート探索されます。
- 「回避」 有料道路を回避したルートが探索されます。

### フェリー航路使用条件

- 「標準」\*** フェリー航路が標準的な基準でルート探索されます。
- 「優先」 フェリー航路を優先的にルート探索されます。
- 「回避」 フェリー航路を回避したルートが探索されます。

### 渋滞考慮ルート探索

- 「渋滞情報・渋滞予測」\*** 渋滞情報と渋滞予測データを考慮してルートが探索されます。
- 「渋滞情報のみ」 渋滞情報のみを考慮してルートが探索されます。
- 「考慮しない」 各情報を考慮しないでルートが探索されます。

### スマートIC考慮ルート探索<sup>※1</sup>

- 「ON」 スマートICを利用するルートが探索されます。
- 「OFF」\* スマートICを利用しないルートが探索されます。

### 渋滞考慮オートリルート<sup>※2</sup>

- 「ON」\* 渋滞情報を考慮してオートリルートします。
- 「OFF」 渋滞情報を考慮したオートリルートが働きません。

### 渋滞考慮オートリルート自動決定ルート

- 「元ルート」\* 元ルートを選択します。
- 「新ルート」 新ルートを選択します。

### 到着予想時刻表示

- 「目的地」\*** 目的地への到着予想時刻が表示され、方位線は自車マークと目的地を結びます。
- 「立寄地」 次の立寄地への到着予想時刻が表示され、方位線は自車マークと立寄地を結びます。

### 到着予想時刻速度(一般道)

- 「20 km/h」 平均速度 20 km/h として到着予想時刻が計算されます。
- 「**30 km/h**」\* 平均速度 30 km/h として到着予想時刻が計算されます。
- 「40 km/h」 平均速度 40 km/h として到着予想時刻が計算されます。
- 「50 km/h」 平均速度 50 km/h として到着予想時刻が計算されます。

### 到着予想時刻速度(有料道)

- 「60 km/h」 平均速度 60 km/h として到着予想時刻が計算されます。
- 「**80 km/h**」\* 平均速度 80 km/h として到着予想時刻が計算されます。
- 「100 km/h」 平均速度 100 km/h として到着予想時刻が計算されます。

### 交差点案内表示

- 「ON」\* 交差点案内図を表示します。
- 「OFF」 交差点案内図は表示されません。

## ETCレーン案内表示

- 「ON」\* 有料道路の料金所付近でETCレーン案内が表示されます。  
「OFF」 ETCレーン案内は表示されません。

※1 ルート案内中でないときのみ設定できる機能です。

※2 「ON」にする場合は、「渋滞考慮ルート探索」を「渋滞情報・渋滞予測」または「渋滞情報のみ」に設定する必要があります。

## 渋滞情報

\* は工場出荷時の設定です。

### 渋滞情報表示対象道路

- 「有料道・一般道」\* 有料道・一般道の渋滞情報が表示されます。  
「有料道のみ」 有料道路の渋滞情報のみが表示されます。  
「一般道のみ」 一般道路の渋滞情報のみが表示されます。  
「表示しない」 渋滞情報は表示されません。

### 渋滞情報表示※1

- 「ON」\* 道塗り表示されます。  
「OFF」 道塗り表示されません。

### 順調表示※2

- 「ON」 渋滞情報をもとに、交通が順調な道路が道塗り表示されます。  
「OFF」\* 順調表示はされません。

### 規制表示※1

- 「ON」\* 交通規制の渋滞情報マークと規制区間が表示されます。  
「OFF」 交通規制の渋滞情報マークと規制区間は表示されません。

### 駐車場情報マーク表示※1

- 「ON」\* 駐車場の渋滞情報マークが表示されます。  
「OFF」 駐車場の渋滞情報マークは表示されません。

### 渋滞オートガイド

- 「ON」\* ルート上の渋滞情報が自動で音声案内されます。  
「OFF」 ルート上の渋滞情報は自動では音声案内されません。

※1 「渋滞情報表示対象道路」が「表示しない」以外のときに設定できる機能です。

※2 「渋滞情報表示対象道路」が「表示しない」以外のとき、かつ「渋滞情報表示」が「ON」のときに設定できる機能です。

## その他

\* は工場出荷時の設定です。

### 現在地情報の表示

- 「市区町村名」\* 現在地が市区町村名で表示されます。  
「走行道路名」 現在地が走行道路名で表示されます。(道路名が表示されない場合や、市区町村名が表示される場合もあります。)  
「緯度経度」 現在地が緯度経度で表示されます。  
「OFF」 表示しません。

### 有料道注意地点・県境案内

- 「ON」\* 案内されます。  
「OFF」 案内されません。

### 踏切案内

- 「ON」\* 案内されます。  
「OFF」 案内されません。

**リフレッシュ案内**

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

**ライト点灯案内**

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

**エコステータス レベル案内**

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

**eスタート案内**

「ON」*	案内されます。
「OFF」	案内されません。

**SDカード登録確認メッセージ表示<sup>※1</sup>**

「ON」*	SDカード登録確認メッセージが表示されます。
「OFF」	SDカード登録確認メッセージは表示されません。

**地図更新メッセージ表示**

「ON」*	地図更新メッセージが表示されます。
「OFF」	地図更新メッセージは表示されません。

**店頭展示モード**

「ON」	店頭展示時に使用します。設定しないでください。
「OFF」*	通常使用時に設定します。

**オービスポイント<sup>※2</sup>**

「全ポイント」*	すべての道路でオービスポイントが案内されます。
「有料道のみ」	有料道走行中のみオービスポイントが案内されます。
「一般道のみ」	一般道走行中のみオービスポイントが案内されます。
「OFF」	オービスポイントは案内されません。

※1 本機とSDカードの初期登録が行われると、自動的に「OFF」になります。

※2 オービスデータが読み込まれている場合のみ表示されます。

# 通信設定

## 通信モジュールの接続設定を行う

通信モジュールを使用して通信を行うときの接続先を設定します。通常は、別売のデータ通信専用通信モジュール「ND-DC1」を接続し、本機が認識すると自動的に設定されます。プロバイダ設定を手動で変更する必要がある場合などは、本操作を行ってください。

### 1 『メニュー』ボタンを押し、設定 - 設定 にタッチする

### 2 その他設定 にタッチする



### 3 通信モジュール設定 にタッチする



### 4 設定したい接続先にタッチする



****	選択したプロバイダを接続先サービスに設定します。
マニュアル設定	接続先のプロバイダを手動で設定します。

## ■ マニュアル設定の設定項目

接続先のプロバイダを手動で設定する場合の設定項目は以下のとおりです。

接続先名称	プロバイダの名称を入力します。
接続先電話番号	アクセスポイントの電話番号を入力します。
ID	プロバイダへの入会時に発行された接続IDを入力します。
パスワード	プロバイダへの入会時に発行された接続パスワードを入力します。
プライマリDNS	プライマリDNSのIPアドレスを入力します。
セカンダリDNS	セカンダリDNSのIPアドレスを入力します。
Proxy サーバー	Proxyサーバーを使うか使わないか（使う / 使わない）を設定します。
Proxy サーバー名	Proxyサーバーを「使う」に設定した場合に、Proxyサーバーの名称を入力します。
ポート番号	Proxyサーバーを「使う」に設定した場合に、Proxyサーバーのポート番号を入力します。

設定操作

## スマートループ渋滞情報の利用設定を行う

スマートループとは、プローブ情報を多くのスマートループ参加ユーザーと共有するシステムです。

スマートループでは、渋滞情報の受信時にお客様からのプローブ情報のご提供（送信）をいただいております。

### Advice

・「プローブ情報」とは、通信モジュールを使って、専用サーバーへ送信される現在の走行履歴データ（リアルタイムプローブ）のことです。

### 1 『メニュー』ボタンを押し、設定 - 設定 にタッチする

## 2 スマートループ設定にタッチする



## 3 設定したい項目にタッチする



**プローブ情報送信設定** スマートループ渋滞情報を利用するかしないか (ON/OFF) を設定します。(→ P88)

**渋滞情報取得開始設定** 渋滞情報を自動で取得するか手動で取得するか (オート / マニュアル) を設定します。(→ P88)

**渋滞情報連続取得設定** 渋滞情報の連続取得をするかしないか (ON/OFF) を設定します。(→ P88)

**渋滞情報取得間隔設定** 渋滞情報を連続取得するときの、取得間隔を設定します。(→ P88)

## ■ プローブ情報送信設定

工場出荷時は「OFF」に設定されています。

<b>ON</b>	プローブ情報の送信を行い、スマートループ渋滞情報を受信します。
<b>OFF</b>	プローブ情報の送信を行いません。(スマートループ渋滞情報は利用できません。)

## ■ 渋滞情報取得開始設定

工場出荷時は「マニュアル」に設定されています。

<b>オート</b>	渋滞情報を自動的に取得します。(→ P96)
<b>マニュアル</b>	手動取得操作 (→ P96) を行ったとき、渋滞情報を取得します。

## ■ 渋滞情報連続取得設定

工場出荷時は「OFF」に設定されています。

<b>ON</b>	情報の取得を一定間隔で行います。
<b>OFF</b>	連続取得を行いません。

### Advice

- ・ 渋滞情報連続取得設定は、セントラルメニュー (→ P32) から **設定** - **情報** - **渋滞情報** - **連続取得** でも設定できます。ただし、OFFからONに切り換えたときは、**情報取得** にタッチして最初の情報を取得してください。

## ■ 渋滞情報取得間隔設定

工場出荷時は「10分」に設定されています。

<b>5分</b>	5分間隔でプローブ情報を受信します。
<b>10分</b>	10分間隔でプローブ情報を受信します。
<b>15分</b>	15分間隔でプローブ情報を受信します。
<b>20分</b>	20分間隔でプローブ情報を受信します。

### Advice

- ・ 専用サーバーの状態によっては、設定した取得時間通りに動作しない場合があります。
- ・ 取得時刻に、通信エラーなどで情報が取得できなかった場合は、設定した間隔後に受信を行います。

## ■ 取得開始のタイミングと連続取得の取得動作について

取得開始のタイミングと連続取得の関係は、以下の表のようになります。

		渋滞情報取得開始設定	
		オート	マニュアル
渋滞情報連続取得設定	ON	通信モジュールが通信可能になった時点で自動取得し、以降一定間隔で連続取得します。	手動取得操作を行った時点で取得し、以降一定間隔で連続取得します。 <sup>*1</sup>
	OFF	通信モジュールが通信可能になった時点で自動取得し、以降は手動取得操作を行った時点で取得します。	手動取得操作を行った時点のみ取得します。

\*1 本機をスタンバイモード (→ P18) から電源ONにした場合は、一定間隔で連続取得し続けます。本機の電源をOFFにした場合は、再度手動取得操作を行ってください。

# 車両情報設定

車両の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さを設定します。  
ここで設定された内容が駐車場、有料道路の料金案内に反映されます。

## 1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** —**設定**にタッチする

## 2 **その他設定**にタッチする



### Advice

- ・ 駐車制限(車両寸法)の長さ(L) 幅(W) 高さ(H)にタッチすると、数値入力画面が表示されますので、車検証などを参考に各寸法を入力(→P130)して**入力完了**にタッチしてください。
- ・ ルート案内中やハイウェイモードの場合は、有料道路料金区分の設定はできません。

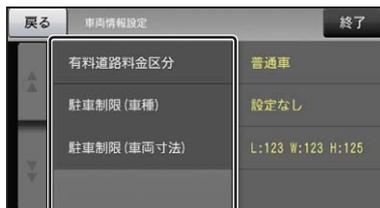
## 5 **終了**にタッチする

## 3 **車両情報設定**にタッチする



## 4 各項目を選んで内容を設定する

各項目にタッチすると各設定画面が表示されます。設定を終えたあとは**戻る**または**閉じる**にタッチしてください。



<b>有料道路料金区分</b>	「中型車」「普通車」 「軽自動車」
<b>駐車制限(車種)</b>	「3ナンバー」「RV」 「ミニバン・1BOX」
<b>駐車制限(車両寸法)</b>	「長さ(L)」「幅(W)」 「高さ(H)」

# 設定初期化

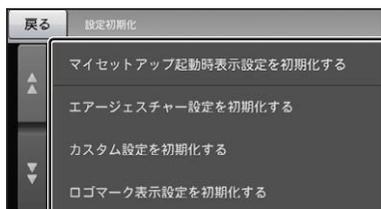
設定した機能を工場出荷時の状態に戻したり、ユーザー設定を初期化できます。

## 1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** —**設定**にタッチする

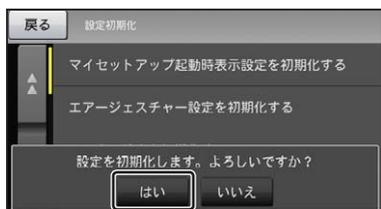
## 2 **設定初期化** にタッチする



## 3 初期化したい項目にタッチする



## 4 **はい** にタッチする



▼  
選んだ項目が初期化されます。

## 設定初期化項目

### マイセットアップ起動時表示設定を初期化する

本機の電源ON時にマイセットアップが起動するようにします。

### エアージェスチャー設定を初期化する

エアージェスチャー設定(→P79)を初期化します。

### カスタム設定を初期化する

カスタム設定(→P36)を初期化します。

### ロゴマーク表示設定を初期化する

設定されているロゴマーク表示設定(→P81)を初期化します。

### 機能設定を初期化する

機能設定(→P82)で変更した設定内容を初期化します。

### 通信モジュール設定を初期化する

通信モジュール設定(→P87)を初期化します。

### スマートループ設定を初期化する

スマートループ設定(→P87)を初期化します。

### 車両情報設定を初期化する

車両情報設定(→P89)で設定した車両の情報を初期化します。

### エコステータスを初期化する

エコ指数(→P102)、エコステータスレベル案内(→P65)を初期化します。

### 名称検索学習を初期化する

名称検索(→P47)にてユーザーが選択した地点を優先的に表示するために学習したデータを初期化します。

### センサー学習をクリアする

センサー学習状態(→P104)を初期化します。

### ユーザー設定項目を初期化する

機能設定、ロゴマーク表示設定、音量調整などのユーザー設定を全て初期化します。

### 個人データを消去する

案内中のルート、登録地(→P70)、検索履歴(→P50)、走行軌跡(→P37)が消去されます。

### 工場出荷状態に戻す

工場出荷時の状態に戻します。  
本操作でテレビ(DTV)の設定を工場出荷時の状態に戻すことはできません。テレビ(DTV)の設定より設定初期化の操作を行ってください。(→P121)

# 調整

## 案内音量を調整する

案内音量の調整および操作音のON/OFFを設定できます。

1 『メニュー』ボタンを押し、**設定**  
—**調整**にタッチする

2 **案内音量調整**にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



### 案内音量

+	案内音量が大きくなります。
-	案内音量が小さくなります。

### 操作音

ON	操作音が鳴ります。
OFF	操作音が鳴りません。

### Advice

・案内音量を0にすると、操作音も鳴らなくなります。

4 **終了**にタッチする

## 画面の明るさを調整する

本機をお使いになる時間が昼の場合と夜の場合、また内蔵バッテリーのみでのお使いの場合それぞれで画面の明るさを調整して記憶できます。内蔵バッテリーだけでのご使用は、画面の明るさや内蔵スピーカーの音量によって、使用時間が短くなります。内蔵バッテリーだけでの使用時は、画面の明るさレベルを「3」以下に設定することをお勧めします。

### Advice

- ・液晶画面は、構造上きれに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、液晶画面の明るさをお好みに応じて調整してください。
- ・本製品で使用している液晶画面は、非常に高度な技術で作られています。一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

1 『メニュー』ボタンを押し、**設定**  
—**調整**にタッチする

2 **明るさ調整**にタッチする



3 設定したい項目にタッチする

## 4 + または - にタッチする



## 5 終了 にタッチする

### Advice

- ・昼画面、夜画面は、本機に表示される時間をもとに自動的に切り換わります。
- ・ (内蔵バッテリー) は、昼画面、夜画面共に同じ調整値となります。
- ・+ または - にタッチし続けると、連続して明るさを変更できます。

## タッチ位置を調整する

タッチパネルのタッチ位置を調整できます。

### Advice

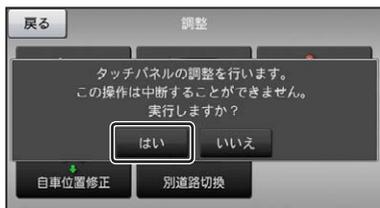
- ・本機は、画面位置を調整してから出荷されていますので、正しくタッチできないときのみ、画面位置の調整を行ってください。
- ・調整は、綿棒などの先のとがっていない物で行ってください。

## 1 『メニュー』ボタンを押し、設定 - 調整 にタッチする

## 2 タッチパネル調整 にタッチする



## 3 はい にタッチする



以降は、画面に表示される指示に従って、綿棒などの先端で十字マークの中心をタッチし、調整してください。

## 自車位置のずれを修正する

自車位置がずれた場合は、修正できます。

### Advice

- ・自車位置修正は必ず停車した状態で行ってください。

## 1 『メニュー』ボタンを押し、設定 - 調整 にタッチする

## 2 自車位置修正 にタッチする



## 3 8方向矢印キーで十字カーソルを現在地に合わせる



## Advice

- ・ **微調整** にタッチすると、8方向矢印キーの表示/非表示を切り換えます。

## 4 **決定** にタッチする

## 5 左右の回転矢印にタッチして自車の向きを調整する



## 6 **決定** にタッチする

自車位置が修正されます。

## Advice

- ・ GPSを測位している場合やセンサー学習状態が未学習の場合は、自車位置が変わらない場合があります。

## 一般道路または有料道路へ自車位置を修正する

一般道路と有料道路が並行している場所を走行中、自車位置が実際と異なる種別の道路に乗ってしまった場合に、自車位置を一般道路または有料道路へ切り換えます。

## 1 『メニュー』 ボタンを押し、**設定** **—調整** にタッチする

## 2 **別道路切換** にタッチする



異なる種別の道路へ自車位置が修正されます。

## Advice

- ・ 『現在地』 ボタンを長く押ししても、操作できません。
- ・ 自車位置が修正できない場合もあります。
- ・ ルート案内中は、自車位置を修正後ルートを探索し直します。

# 渋滞情報

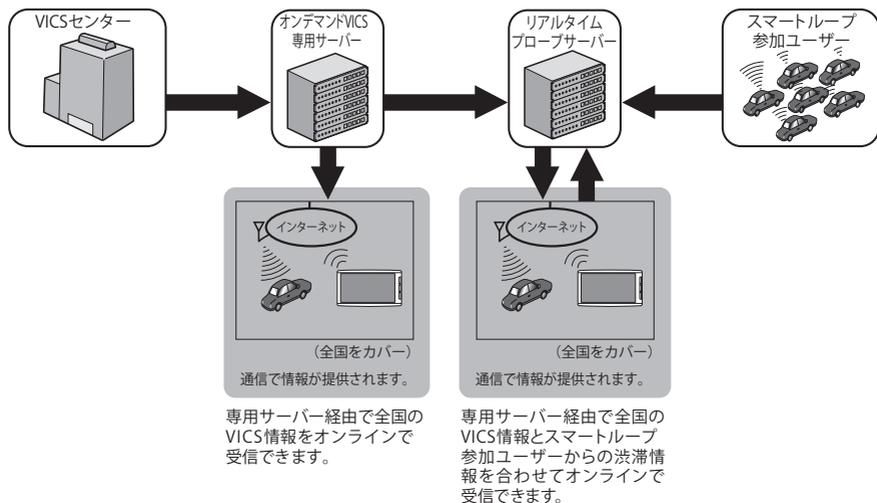
本機では別売の通信モジュール(→P24)を利用して、通信で渋滞情報を取得できます。取得できる渋滞情報には、オンデマンドVICS情報(オンデマンドVICS専用サーバーより提供)と、スマートループ渋滞情報(リアルタイムプローブサーバーより提供)があります。

## ■オンデマンドVICSについて

オンデマンドVICSとは、オンデマンドVICS専用サーバーに接続し、VICSセンターからの自転車位置付近またはスクロール先のVICS情報(事象・規制情報、渋滞旅行時間リンク情報、SA・PA情報、駐車場情報)を取得する機能です。取得した情報を地図に表示したり、ルート探索、到着予想時刻などに反映できます。

## ■スマートループ渋滞情報について

スマートループ渋滞情報とは、ご利用登録いただいたお客様から提供される情報(プローブ情報)を、リアルタイムプローブサーバーで蓄積管理し、走行履歴データを考慮して作成された最新の渋滞情報を、VICS情報とあわせてお客様にご提供するシステムです。取得できる情報は、VICSの情報(渋滞、規制、駐車場、SA/PA情報)と、リアルタイムプローブサーバーからのプローブ渋滞情報(現況渋滞情報・過去3ヶ月の走行履歴から生成した渋滞情報)で、ルート探索、到着予想時刻などに反映できます。



## Advice

- ・スマートループ渋滞情報を利用するには、弊社ホームページでお客様登録を行ってください。
- ・「マイセットアップ」(→P76)でお試し登録を行うと、スマートループ渋滞情報を期間限定で取得できます。お試し期間終了後も引き続きスマートループ渋滞情報をご利用になる場合や、本機的全機能をお使いになる場合は、お客様登録(無料)を行ってください。(→P23)

- ・スマートループのお試し登録を行っていないときに渋滞情報の取得操作(→P96)をすると、スマートループの初期登録に関するメッセージが表示されます。スマートループ渋滞情報を取得したい場合は、**初期登録**または**お試し登録**にタッチして初期登録またはお試し登録を行ってください。なお、初期登録には、お客様登録時に使用したニックネームとパスワードが必要です。
- ・「プローブ情報送信設定」(→P88)を「ON」に設定しないと、スマートループ渋滞情報は利用できません。「プローブ情報送信設定」(→P88)を「OFF」に設定している場合は、オンデマンドVICS情報を取得します。
- ・渋滞情報はFM-VICS(→P98)で取得することもできます。
- ・オンデマンドVICSの情報は、インクリメントP株式会社から提供されます。
- ・道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されています。また、データ作成には、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

## ■ 渋滞情報の地図表示について

スマートループ渋滞情報の地図表示は、以下のように表示されます。

### 一般道路への表示

	プローブ渋滞情報	VICS 情報
渋滞	赤色の点線(白い縁取り)	赤色(白い縁取り)
混雑	橙色の点線(白い縁取り)	橙色(白い縁取り)
順調	空色の点線(白い縁取り)	明るい青(白い縁取り)
規制区間表示	-	黄色(黒い縁取り)
通行止め	-	黒

### 有料道路への表示

	プローブ渋滞情報	VICS 情報
渋滞	赤色の点線(青い縁取り)	赤色(青い縁取り)
混雑	橙色の点線(青い縁取り)	橙色(青い縁取り)
順調	空色の点線(青い縁取り)	明るい青(青い縁取り)
規制区間表示	-	黄色(黒い縁取り)
入口閉鎖・通行止め	-	黒



### スマートループ渋滞情報提供時刻表示

S	スマートループ渋滞情報による渋滞情報提供時刻
O	オンデマンドVICS情報による渋滞情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青色	情報を受信してから5分以上30分未満の状態
---	VICS情報を受信していない、また受信後30分以上経過した状態（受信開始時、または情報が受信できなくなって30分以上経過した場合、VICS情報は消去されます。）

## ■ VICS情報について

VICS (Vehicle Information & Communication System : 道路交通情報通信システム) とは、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。

VICS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報を、スマートループ渋滞情報に加味して受信し、ナビゲーションの地図上に表示できます。

## VICSマークの種類

VICS情報により、次のようなマークが地図上に表示されます。

	大型通行止め		故障車
	作業		路上障害
	チェーン規制		凍結
	進入禁止		入口制限
	通行止め・閉鎖		事故
	工事中		入口閉鎖
	片側交互通行		対面通行
	車線規制		徐行
	速度規制(数字は制限速度)		
	気象		行事
	災害		火災
	駐車場閉		原因なし
	駐車場(空き:青、混雑:橙色、満車:赤、不明:黒)		

## 渋滞情報を取得する

次の操作で、最新の渋滞情報を通信で取得できます。

### ■ 手動で取得する

現在地付近以外の情報を取得したい場合は、情報を取得したい場所の地図を表示させてから、以下の操作を行います。

### 1 エアージェスチャーセンサーに手を近づけ、**渋滞**に2秒以上タッチする

専用サーバー(リアルタイムプローブサーバー)に接続し、情報を取得します。



## Advice

- ・ セントラルメニュー(→P32)から**設定** - **情報** - **渋滞情報** - **情報取得**でも操作できます。
- ・ スマートループ渋滞情報と、FM-VICS情報の両方を取得した場合は、提供時刻が新しい情報を優先して画面表示します。

## ■ 自動で取得する

「スマートループ渋滞情報の利用設定を行う」(→P87)で、「渋滞情報取得開始設定」を「オート」に設定しておく、通信モジュールが通信可能になった時点で、自動的に情報を取得し、ルート案内に反映できます。

「渋滞情報連続取得設定」を「ON」に設定しておく、通信可能な状態のときは一定間隔(「渋滞情報取得間隔設定」(→P88)の設定間隔)で情報を受信します。

## Advice

- ・ ご利用登録を行うと、渋滞情報受信の際に、走行履歴などのお客様の情報が、リアルタイムプローブサーバーに送信されます。
- ・ 連続取得設定がONの場合、サーバーからの情報の更新間隔でプローブ情報の送信および受信を行います。

## 受信した渋滞情報の提供時刻を確認する

受信したオンデマンドVICS情報およびスマートループ渋滞情報の提供時刻と、渋滞情報連続取得の状態を確認できます。

### 1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** - **情報**にタッチする

### 2 **渋滞情報**にタッチする





渋滞情報の提供時刻、受信時刻、渋滞情報連続取得の状態が確認できます。

# FM-VICS 情報

本機をクレイドルに接続してご使用の場合は、専用アンテナでFM-VICS 情報 (VICSセンターから提供) を受信し、渋滞情報や規制情報などを確認できます。

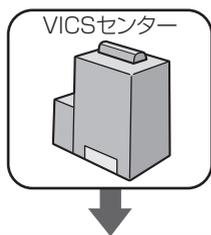
## Advice

・通信を必要とする渋滞情報に関しては、「渋滞情報」(→P94)をご覧ください。

## VICS 情報とは

VICS (Vehicle Information & Communication System: 道路交通情報通信システム) とは、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。VICS 情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、かんたんな地図イラストや文字で見することもできます。

渋滞情報・情報操作



本機に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

## VICS 情報の表示形態

VICS 情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。ドライバーはVICSセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

- 渋滞情報 (順調情報も含む)
- 旅行時間情報
- 交通障害情報
- 交通規制情報
- 駐車場情報

## レベル 3 : 地図

ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。



## レベル 2 : 簡易図形

かんたんな地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。



## レベル 1 : 文字

文字で道路交通情報が表示されます。



## Advice

・情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

# 地図上でVICS情報を見る

レベル3(地図)の表示形態では、VICSセンターから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りやVICS情報マークで地図上に表示されます。

## 一般道路への表示

渋滞	赤色に白い縁取り
混雑	橙色に白い縁取り
順調	明るい青に白い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
通行止め	黒

## 有料道路への表示

渋滞	赤色に青い縁取り
混雑	橙色に青い縁取り
順調	明るい青に青い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
入口閉鎖・通行止め	黒

## VICSレベル3情報提供時刻表示

F	FM 多重放送による VICS 情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青色	情報を受信してから5分以上30分未満経過した状態
---	情報を受信していない、または受信後30分以上経過した状態(受信開始時、または情報が受信できなくなって30分以上経過した場合、受信後にスタンバイモードになった場合、VICS情報は消去されます。)



## Advice

- ・ 本機の電源をON(エンジンをON)にしてから受信したVICS情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- ・ 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り換えてください。→「放送局を選ぶ」(P101)
- ・ VICS情報提供時刻表示は、最新のデータが提供された時刻です。
- ・ 渋滞にタッチすると、ルート案内中はルート上前方の渋滞や規制の情報を、ルート案内中でない場合は自車周辺の規制情報を地図表示と文字情報および音声案内でお知らせします。(→P68)
- ・ 順調表示は、工場出荷時は「OFF」に設定されています。→「設定を変更する」(P82)

## VICSマークの種類

VICS情報により、次のようなマークが地図上に表示されます。

	大型通行止め		故障車
	作業		路上障害
	チェーン規制		凍結
	進入禁止		入口制限
	通行止め・閉鎖		事故
	工事中		入口閉鎖
	片側交互通行		対面通行
	車線規制		徐行
	速度規制（数字は制限速度）		
	気象		行事
	災害		火災
	駐車場閉		原因なし
	駐車場（空き：青、混雑：橙色、満車：赤、不明：黒）		

## 「VICSレベル3情報提供時刻表示」の内容

FM多重放送によるVICS情報提供時刻が表示されます。

## 提供時刻の表示に時間がかかるときは

受信中の放送局の受信感度を確認してください。→「放送局を選ぶ」(P101)

## 2つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

本機は、現在地周辺のVICS情報（道塗り情報）と別のエリア（隣接する都道府県など）のVICS情報を同時に表示できます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を確認できます。

## 緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。

## VICSの文字・図形情報を見る

文字や図形のVICS情報を表示できます。

### 1 『メニュー』ボタンを押し、設定－情報にタッチする

### 2 渋滞情報にタッチする



### 3 表示させたい情報にタッチする



<b>図形情報</b>	レベル2(簡易図形)の広域情報を表示します。
<b>文字情報</b>	レベル1(文字)の広域情報を表示します。
<b>センター情報</b>	VICSセンターからの情報を表示します。

### 4 見たい情報の番号にタッチする

メニューに表示されている情報番号と同じ番号を選びます。渋滞や交通規制などに関する情報が表示されます。





## Advice

- ・全情報画面が複数のページにおよぶときは、**◀**、**▶** にタッチすると、ページを送ります。**先頭** / **最終** にタッチすると、先頭ページ / 最終ページが表示されます。
- ・すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- ・**目次** にタッチすると、VICSメニューに戻ります。
- ・**選局** にタッチすると、FM多重放送の放送局を選びます。→「放送局を選ぶ」(P101)

## 放送局を選ぶ

VICS情報をFM多重放送から受信するときは、最も受信感度の良い放送局を選びます。

### 1 『メニュー』 ボタンを押し、**設定** - **情報** にタッチする

### 2 **渋滞情報** にタッチする



### 3 **放送局選択** にタッチする



### 4 **放送局を探す方法** にタッチする



<b>オート</b>	自車位置に応じてVICS放送局が自動的に選択されます。
<b>リスト</b>	放送局リストから選びます。
<b>シーク</b>	<b>+</b> 、 <b>-</b> にタッチして、周波数の自動チューニングを行います。受信可能な放送局を受信したところで止まります。

## 放送局の受信状態の確認について

渋滞情報画面では、受信中の放送局名、周波数、受信状態などが表示されます。

受信状態表示



選局方法  
(オート/リスト/シーク)

受信状態表示は、受信可能な状態にある場合「High」、受信できない状態にある場合は「Low」と表示されます。「Low」と表示されている場合でもデータを受信し、表示できる場合があります。

# 情報の表示

情報メニュー画面から、エコステータス、GPS情報、データバージョン表示、接続状態を確認できます。

## エコステータス情報を表示する

エコステータスの情報を確認できます。

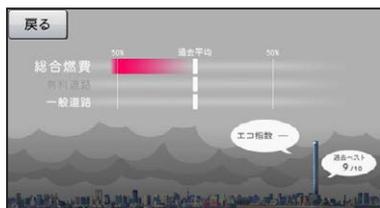
### Advice

- ・本機を車に取り付けてからの走行距離が10 km未滿またはエコステータスを初期化(→P90)してからの走行距離が10 km未滿の場合は、燃費計算が行われません。10 km以上走行すると、燃費計算を行います。

- 1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** - **情報**にタッチする
- 2 **エコステータス**にタッチする



エコステータス画面が表示されます。



### 総合燃費

エンジンをかけてから現在までの平均燃費を過去の積算平均燃費を中心に相対表示します。パーのメモリが右に増えるほど、良い燃費であることを示します。

### 有料道路

有料道路を走行したときの平均燃費が表示されます。パーのメモリが右に増えるほど、良い燃費であることを示します。

### 一般道路

一般道を走行したときの平均燃費が表示されます。パーのメモリが右に増えるほど、良い燃費であることを示します。

### エコ指数

走行全体を評価したエコ指数が点数として表示されます。

### 過去ベスト

過去の走行におけるエコ指数の最高記録が表示されます。

## GPS受信状態を表示する

GPS衛星からの受信状態を確認できます。

- 1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** - **情報**にタッチする
- 2 **GPS情報**にタッチする



GPS 衛星からの受信状態が表示されます。



### 衛星位置表示

現在認識できているGPS衛星の位置がイラスト表示されます。測位に使われている衛星は橙色、受信中の衛星は黄色、電波を受信できていない衛星は灰色で表示されます。3つ以上の橙色の衛星の電波を受信すると現在の測位が可能になります。

### 日付

現在の日付が表示されます。

### 時刻

現在の時刻が表示されます。

### 測位状態

GPSの現在の測位状態(「3次元測位」、「2次元測位」、「未測位」)が表示されます。詳しくは、「GPSによる測位」(→P138)をご覧ください。

### 北緯・東経

現在の北緯と東経が表示されます。測位できないときは「未測位」と表示されます。本機は日本測地系に対応しています。

## Advice

- ・ 以下の場合、GPSの測位に時間がかかる(自車位置が現在地と異なる)場合があります。
  - はじめてお使いになるとき
  - 長期間使っていないとき
  - 『電源』スイッチを操作して、本機をON/OFFしたとき
- ・ GPSが測位されていない場合は、現在地と異なる場所が表示されます。

## デバイスナンバーと使用データのバージョン情報を表示する

デバイスナンバーと使用データのバージョンが確認できます。

### Advice

- ・ デバイスナンバーは、有償バージョンアップなどで使用します。

### 1 『メニュー』ボタンを押し、設定 - 情報にタッチする

デバイスナンバーが表示されます。

### 2 データバージョン表示にタッチする



デバイスナンバー

使用データのバージョンが表示されます。



## 接続状態を表示する

車速パルスなどの接続状態を確認できます。正しく表示されない場合は、販売店にご相談ください。

## 1 『メニュー』ボタンを押し、設定 - 情報 にタッチする

## 2 接続状態 にタッチする



接続状態が表示されます。



### 電源状態

本機の電源の状態(外部電源、内部電池)が表示されます。

### 車載状態

本機が車載状態(クレイドル接続状態)かどうかが表示されます。車載状態のときは「ON」、そうでない場合は「OFF」と表示されます。

### 通信モジュール

通信モジュールの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「ON」、接続されていない場合は「OFF」と表示されます。また、有効期限の情報がある場合は、有効期限が表示されます。

### センサー学習

センサーの学習状態が表示されます。学習が完了している場合は「学習済」、学習が完了していない場合は「未学習」と表示されます。別売の電源ケーブルに同梱されている、車速信号入力ケーブルを接続している場合はパルス学習を行い、パルス学習が完了した場合は「学習済(パルス学習済)」と表示します。センサー学習の仕組みにつ

いて、詳しくは「内蔵センサーの学習について」(→P138)をご覧ください。

### 車速パルス

現在本機が認識している車速パルスの数が表示されます。停車中の場合は「0」が表示されます。車を走行させると、速度に応じて「ピッ」という発音音がして、数字とともにバー表示が変化します。車速パルスの確認は、別売の電源ケーブル「RD-032」に同梱されている、車速信号入力ケーブルを本機に接続し、安全な場所で、低速(時速5 km程度)で行ってください。

### Advice

- ・本機とクレイドルが正しく接続されていない場合は、「車載状態」に「ON(取付角度許容範囲外)」または「ON(振動許容範囲外)」と表示されます。本機とクレイドルを正しく接続してください。→「取り付けた」(P20)

## 気象情報を取得する

専用サーバーから全国の気象情報を取得し、天気と予報時刻を画面に表示できます。また、スカイビューでは空の色が天気予報に応じて変化します。

### Advice

- ・気象情報は通信モジュールが接続され、通信可能な状態になっていないと取得できません。
- ・ウェザーライブの情報は、ナビスタジオを使ってパソコンで取得し、SDカード経由で本機に取り込むこともできます。

## 1 『メニュー』ボタンを押し、設定 - 情報 にタッチする

## 2 ウェザーライブ にタッチする



気象情報を取得し、画面下部に天気と予報時刻が表示されます。

現在地画面の表示中は、現在地の天気が表示されます。スクロール画面の表示中は、十字カーソル位置の天気が表示されます。



### *Advice*

- ・サーバー側から緊急のメッセージがあるときはメッセージが表示され、気象情報の取得処理は中止されます。
- ・サーバー側からメンテナンスなどの事前予告情報があるときはメッセージが表示され、気象情報の取得処理は継続されます。

# ナビスタジオを使う

PCリンクソフト「ナビスタジオ」を使うと、以下の最新データをパソコン経由でSDカードに保存できます。

ナビスタジオのご利用には、ブロードバンド環境へ接続したパソコンとお客様登録(→P107)が必要です。

- 地図データ
- オービス(自動速度取締装置)ポイント情報
- スマートループ渋滞情報
- ウェザーライブデータ

保存された各データは、SDカードを使って本機に反映できます。

## ■ マップチャージとインフォチャージ

地図データとオービスポイント情報を反映させることを「マップチャージ」、スマートループ渋滞情報とウェザーライブデータを反映させることを「インフォチャージ」といいます。

### Advice

- ・ナビスタジオ経由でダウンロードした地図データの転送には、空き容量16GB以上のSDHCカードが必要です。
- ・お使いいただいているパソコンがSDHCカードに対応していない場合には、市販のSDHCカードに対応したカードリーダー/ライターなどをご使用ください。

## ナビスタジオの動作環境について

下記の条件を満たしているパソコンにインストールし、利用できます。

OS	Microsoft® Windows® XP Home Edition(SP3以降) Professional(SP3以降) ※32bit日本語版のみ (64bit版には対応して おりません)	Microsoft® Windows Vista® Home Basic (SP2以降) Home Premium (SP2以降) Business (SP2以降) Ultimate (SP2以降) ※32bit日本語版のみ(64bit 版には対応していません)	Microsoft® Windows® 7 Home Premium (SP1以降) Professional (SP1以降) Ultimate (SP1以降) ※64bit版では、32ビット互 換モード(WOW64)で動 作します。 ※日本語版のみ	Microsoft® Windows® 8 Windows 8 Windows 8 Pro ※Windows RTには非対応 ※64bit版では、32ビット 互換モード(WOW64) で動作します。 ※日本語版のみ
メモリ	512MB以上(推奨 1GB以上)	1GB以上(推奨2GB以上)		
CPU	Intel® Pentium® III 450MHz以上	Intel® Pentium® III 800MHz 以上	Intel® Pentium® III 1GHz以上	
ハードディスク	100MB以上ハードディスク空き容量が必要(全データ更新時には最大16GBのハードディスク空き容量が必要)			
ディスプレイ	解像度1024x768・発色数16ビット(65536色)以上			
その他	・インターネットに接続できる環境が必要です。 ・インストール時、使用時ともにシステム管理者(Administrator)権限が必要です。 ・初回ご利用時はナビゲーションにてSDカードの初期登録を行っていただく必要があります。 ・SDHCカードを認識できる環境が必要です。お使いのパソコンがSDHCカードに対応していない場合は、市販のUSBカードリーダーなどをご使用ください。			
注意事項	・上記の条件を満たすすべてのパソコンで動作を保證するものではありません。 ・Macintoshには非対応です。 ・OSのアップグレード環境での動作は保證していません。 ・マルチブート環境での動作は保證していません。 ・お客様が自作されたパソコンでの動作は保證していません。 ・他のソフトウェアが同時に起動している場合はこの限りではありません。 ・パソコンの環境によっては、SDカードが認識できなかったり一部機能をご利用いただけないなどの不具合が発生する場合があります。その際の損失並びにその他の直接または間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店などはその責任を負いません。 ・パソコン環境に関するお問い合わせは、パソコン購入元の各メーカー、または販売店にお願いします。			

## ナビスタジオ用SDカードの登録

ナビスタジオ用のSDカードを登録します。

### 1 ナビゲーション本体にSDカードを挿入する(→P26)

ナビゲーション本体をご購入後はじめてSDカードを挿入すると、SDカード登録確認メッセージが表示されます。

### 2 はいにタッチする



必要なデータがSDカードへ書き込まれ、ナビスタジオ用SDカードとしてナビゲーション本体に登録されます。

#### Advice

- ・「いいえ」にタッチすると、登録が行われずナビスタジオ用としてお使いになることはできません。

### 3 確認にタッチする



#### Advice

- ・SDカード登録確認メッセージは、一度登録が完了したあとは表示されません。はじめに登録したSDカードを別のものに変更したい場合は、機能設定の「SDカード登録確認メッセージ表示」をONに設定してください。→「設定を変更する」(P82)

## ナビスタジオのダウンロード・セットアップについて

下記のURL にアクセスしてダウンロードし、表示される内容に従ってナビスタジオのセットアップを行ってください。インターネット接続ができないパソコンの場合、セットアップができませんのでご注意ください。

<http://pioneer.jp/car/navistudio/>

#### Advice

- ・ナビスタジオの詳しいセットアップ方法は、『セットアップマニュアル』をご覧ください。『セットアップマニュアル』は、ナビスタジオと同じ上記URL でダウンロードできます。

## ナビスタジオの初期設定を行う

ナビスタジオを利用するには、お客様登録時に取得するニックネームとパスワードが必要です。ニックネームとパスワードを取得していない場合は、まずお客様登録を行ってください。

### 1 デスクトップにある「Navistudio Raku-Navi Portable」アイコンをクリックする



ナビスタジオのランチャー（メニュー選択ツール）が表示されます。

### 2 「お客様登録」をクリックする



### 3 次へまたはお客様登録/確認をクリックする



<b>お客様登録 / 確認</b>	お客様登録が済んでいない方はこちらを選びます。お客様登録ページが表示されたら、画面の指示に従って登録を行ってください。
<b>次へ</b>	お客様登録が済んでいる方はこちらを選びます。画面の指示に従って、ニックネームとパスワードを入力し、認証を行ってください。

ナビスタジオ

#### Advice

・すでに、ニックネームとパスワードを登録済みの方は「次へ」で進みます。

## ランチャーについて

ナビスタジオをインストールしたパソコンでは、ランチャー（メニュー選択ツール）を起動できるようになります。ランチャーからメニューを表示して機能をクリックすると、それぞれの機能が使えます。詳しい説明は、ナビスタジオのオンラインヘルプをご覧ください。

### ■ランチャーのメイン画面



 お客様登録	お客様登録の画面を表示します。お客様情報の登録や変更ができます。
 メニュー	設定や情報取得のためのメニューが表示されます。ナビスタジオの設定やSDカード内のデータ情報、オンラインヘルプ、スマートループのホームページの表示などができます。
	アップデートマネージャーを起動します。地図データやオービスポイント情報をダウンロードできます。
	スマートループ渋滞情報の取得状況がアニメーションで表示されます。
	ウェザーライブデータの取得状況がアニメーションで表示されます。
 情報取得	最新のスマートループ渋滞情報やウェザーライブデータをダウンロードできます。
	SDカードの接続 / 取り外しを行います。

### ■アップデートマネージャー

アップデートマネージャーでは、最新の地図データやオービスポイント情報のダウンロード、オービスライブの購入などができます。アップデートマネージャーによる情報の更新（マップチャージ）には、「全更新」と「差分更新」の2種類があります。

- ・全更新は、地図やその他の情報を全体的に更新するもので、ナビゲーション入力用の更新パスワードが発行されます。
- ・差分更新は、検索情報など月毎の情報を更新するものです。

#### マップチャージ

「マップチャージ」をポイントすると、以下のボタンが表示されます。



## ① ダウンロード設定

ダウンロードするファイルの選択や、SDカード内のデータの消去を行います。

## ② 中止

地図データのダウンロードを中止します。

## ③ 最新情報に更新

地図データやオービスポイント情報をダウンロードし、SDカードに保存します。

### ホームページ

「ホームページ」をポイントすると、以下のボタンが表示されます。



## ① オービスライブ購入サイト

オービスライブを購入するためのホームページが表示されます。

## ② 更新用パスワード確認

地図更新のホームページを表示します。地図更新の方法の種類や費用、更新パスワードなどを確認できます。

### オプション

「オプション」をポイントすると、以下のボタンが表示されます。



## ① オンラインヘルプ

オンラインヘルプが表示されます。

## マップチャージを行う

マップチャージ(全更新および差分更新)を行います。

## 1 PCリンク用として登録したSDカード(→P107)をパソコンにセットする

## 2 ナビスタジオを起動し、アップデートマネージャーを起動する

- ・差分更新のみの場合は、自動的に最新の地図データとオービスポイント情報がSDカードにダウンロードされます。
- ・全更新が必要な場合は、「継続して地図を更新するには、更新パスワードの取得が必要です。更新パスワードを取得しますか?」のメッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリックして、更新パスワードを取得してください。更新パスワード取得後、「最新の情報に更新しますか?」のメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックします。続けて、「地図ダウンロードが可能になりました。ダウンロードを開始しますか?」のメッセージの「はい」ボタンをクリックすると、最新の地図データとオービスポイント情報がSDカードにダウンロードされます。

### Advice

- ・全更新時には、新しい16桁の更新用パスワードが発行されます。手順③でナビゲーション本体にSDカードを入れたときに、入力画面で入力してください。
- ・更新用パスワードは、アップデートマネージャー画面の「更新用パスワード確認」ボタンから確認できます。
- ・ダウンロードが開始されない場合は、アップデートマネージャー画面の「最新情報に更新」をクリックしてください。
- ・全更新時には弊社ホームページにダウンロードマニュアルを掲載する予定です。ダウンロードマニュアルも合わせてご覧ください。

## 3 最新データが保存されたSDカードをナビゲーション本体に挿入する(→P26)

最新データがナビゲーション本体に転送され、自動的に地図更新が開始されます。

### Advice

- ・転送が完了すると、メッセージが表示されます。地図データの差分情報は、次にナビゲーション本体を起動した時点から有効となります。
- ・差分更新時に、AVソースでSDを選択している場合は、自動的にOFFとなります。差分更新完了後、再度AVソースをSDにして再生を再開してください。

## Caution

- ・データ転送中はナビゲーション本体の電源をOFFにしたり、SDカードを抜いたりしないでください。
- ・画面下部に「更新中」のマークが表示されている場合は、データをナビゲーション本体に反映中です。電源を切らずにお待ちください。

## ■通信モジュールを使用する場合

通信モジュールを使用してマップチャージ(差分更新のみ)を行うこともできます。

### 1 通信モジュールがセットされた状態でナビゲーション本体の電源を入れる

### 2 メッセージが表示されたら、にタッチする

自動的に地図更新が開始されます。

## Advice

- ・差分更新情報が無い場合は、手順2の画面は表示されません。
- ・地図データの差分情報は、次にナビゲーション本体を起動した時点から有効となります。
- ・「全データ更新がされていません。SDカードを使用して全データ更新をしてください。更新を行わない場合、通信による地図更新ができません。」と表示された場合は、ナビスタジオを使用して全更新を行ってください。

## Caution

- ・データ転送中はナビゲーション本体の電源をOFFにしたり、通信モジュールを抜いたりしないでください。
- ・画面下部に「DL中」または「更新中」のマークが表示されている場合は、通信による差分更新中です。電源を切らずにお待ちください。「更新中」が消えれば差分更新が完了しています。

## インフォチャージを行う

インフォチャージを行います。

### 1 PCリンク用として登録したSDカード(→P107)をパソコンにセットする

### 2 ナビスタジオを起動する

最新のスマートループ渋滞情報およびウェザーライブデータがSDカードにダウンロードされます。

## Advice

- ・自動的にダウンロードが開始されない場合は、ランチャーメイン画面の「情報取得」をクリックしてください。

### 3 最新データが保存されたSDカードをナビゲーション本体に挿入する(→P26)

ダウンロードしたデータがナビゲーション本体に転送され、自動的にデータ更新が開始されます。

## Caution

- ・データ転送中はナビゲーション本体の電源をOFFにしたり、SDカードを抜いたりしないでください。

# オーディオの基本操作

## AVソース画面を表示する

本機には、SDプレーヤー（オーディオ、ビデオ）、テレビ（DTV、ワンセグ）のAVソースがあります。またDVD-VIDEO対応メインユニットやバックカメラを接続して映像を表示することもできます。

### 1 ナビゲーション画面のときに『AV』ボタンを押す

ナビゲーション画面



AVソース画面



### Advice

- ・地図画面に戻すときは、『現在地』ボタンを押します。
- ・AVソースがONの状態では、『現在地』ボタンを押した場合は、AVソースの音声はそのまま、画面表示だけナビゲーションに切り換わります。
- ・エアージェスチャー設定（→P79）の手振り設定で、「ナビ画面とAV画面を切り換える」に設定すると、手振り操作でナビ画面とAV画面を切り換えることもできます。

## 映像系AVソースについて

SDのビデオファイルやテレビ（DTV、ワンセグ）など映像系のAVソースに切り換えた場合は、はじめに映像のみ表示します。操作タッチキーを表示させたい場合は、エアージェスチャーセンサーに手を近づけてください。



操作タッチキー

オーディオ基本操作

### Advice

- ・エアージェスチャー機能を使用していないときは、画面にタッチすると、操作タッチキーが表示されます。

## AVソースを切り換える

### 1 『メニュー』ボタン押し、←AVにタッチする

AVメニューが表示されます。

### 2 お好みのAVソースにタッチする



▼  
選んだAVソースに切り換わります。

## AVメニューについて

<b>AV OFF</b>	選択中のAVソースをOFFにしたいときに選びます。
	ワンセグ放送を見たいときに選びます。
	SDカードに保存した音楽ファイルや映像ファイルを再生したいときに選びます。
	VIDEOを使いたいときに選びます。映像入力設定(→P125)を行っていない場合は表示されません。
	バックカメラ映像を表示させたいときに選びます。映像入力設定(→P125)を行っていない場合は表示されません。
	テレビを見たいときに選びます。クレイドルに装着していない場合は選択できません。 <AVIC-MRP099 / MRP088>

オーディオ基本操作

## AVソースをOFFにする

AVソースの再生や受信をやめる場合は、AVソースをOFFにします。

### 1 AV OFF にタッチする

▼  
AVソースがOFFになります。

## 音量を調整する

AVソースの音量(再生音量など)を調整します。

### Advice

・案内音量や操作音の調整については、「案内音量を調整する」(→P91)をご覧ください。

### 1 または にタッチする

例：ワンセグ



	音量が上がります。
	音量が下がります。

## オーディオのエアージェスチャーについて

AVソース画面や映像画面でエアージェスチャーセンサーに手を近づけるとお出かけランチャーが表示され、以下の機能が実行できます。

- ・よく行くランキング(→P51)
- ・周辺(→P48)
- ・渋滞(→P96)
- ・自宅(→P55, 70)
- ・カスタム(→P36)

また、設定により、手振り操作でテレビチャンネルを切り換えたり、消音と消音解除を切り換えたりすることもできます。(→P79)

例：ワンセグ

エアージェスチャーセンサーに手を近づけるとお出かけランチャーが表示されます。



# テレビを見る (ワンセグ)

本機では、地上デジタル放送のサービスの1つである「ワンセグ」を視聴できます。

## ワンセグ放送を見る

### Caution

- ワンセグ放送は、停車中のみ視聴できます。
- ワンセグを見るには、ワンセグ用アンテナを伸ばす必要があります。→「テレビを見るための準備」(P30)
- 受信地域が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。→「チャンネルを自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P115)

### Advice

- ワンセグ放送は、受信場所によっては画像がすぐに表示されないことがあります。また、画像が乱れる・遅れる、突然受信できなくなるといった現象が起こることがありますが、故障ではありません。

## 1 AVメニューのワンセグにタッチする(→P112)

AVソース画面が表示され、前回受信していたチャンネルを受信します。

## 2 ワンセグ放送受信中に、エアージェスチャーセンサーに手を近づける

操作タッチキーが表示されます。



リスト項目      操作タッチキー

リスト項目	タッチした放送局を受信します。
閉じる	操作タッチキーを消し、映像画面に戻ります。

音声切換	複数の音声がある場合、音声を切り換えます。(→P115)
🔊 / 🔊	音量を上げ/下げします。
サービス切換	同じチャンネル内のサービスを切り換えます。(→P114)
プリセット切換	プリセット種類(→P114)を切り換えます。
ミュート	一時的に音を消します。
字幕切換	複数の字幕がある場合、字幕を切り換えます。(→P115)
◀ / ▶	プリセットチャンネルを順に送ります。長くタッチすると、受信可能なチャンネルを自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)(→P114)
番組表	番組表を表示します。(→P114)
番組内容	番組内容を表示します。(→P115)
スキャン	2秒以上タッチすると、受信状態の良いチャンネルを自動的に登録します。(→P115)

## アイコン一覧

放送内容により、次のアイコンがAVソース画面に表示されます。

OFF	字幕情報
🔊	ステレオ放送
🔊1	音声情報
📶	受信レベル

### Advice

- しばらく操作をしないと、操作タッチキーは消えます(エアージェスチャーセンサーに手を近づけている間は消えません)。もう一度操作タッチキーを表示したいときは、エアージェスチャーセンサーに手を近づけてください。
- ワンセグの音声はチャンネル側の出力レベルにより低い場合があります。そのため他のAVソースからワンセグに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。

## プリセットの種類を切り換える

ユーザーが登録したチャンネル(ユーザープリセット)を呼び出すか、あらかじめ本機に登録されている自車周辺のチャンネル(エリアプリセット)を呼び出すかを選びます。

### 1 プリセット切換 にタッチする (→P113)

タッチするごとに、USER(ユーザープリセット) ↔ AREA(エリアプリセット)が切り換わります。

#### Advice

- ・エリアプリセットに設定しておく、自車周辺のチャンネルがリストに表示され、かんたんにチャンネルを選べます。
- ・エリアプリセットでは、チャンネルの周波数変更が行われた場合には、受信できない場合や受信したチャンネルが表示と異なる場合があります。

## チャンネルを手動で登録する

ユーザープリセットに12局まで手動で登録できます(マニュアルプリセット)。

- 1 「ユーザープリセット」にする  
(→P114)
- 2 ◀/▶ にタッチして登録したいチャンネルを選ぶ(→P113)
- 3 登録したいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中のチャンネルが、選んだプリセットに登録されます。

## 受信可能な中継局を探す

受信状態が悪くなった場合などは次の操作で受信可能な中継局を探して切り換ええます。

### 1 「エリアプリセット」にする (→P114)

### 2 受信中の放送局名にタッチする



#### Advice

- ・エリア外に移動した場合は、チャンネルスキャン(→P115)をしてください。

## サービスを切り換える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスが提供されている場合、サービス切り換えができます。

### 1 サービス切換 にタッチする (→P113)

別のサービスが表示されます。

## 番組表を表示する

現在視聴しているチャンネルの番組表を最大10番組まで表示できます。

- 1 番組表を見たいチャンネルを選んで番組表 にタッチする(→P113)

選んだチャンネルの番組表が表示されます。



### Advice

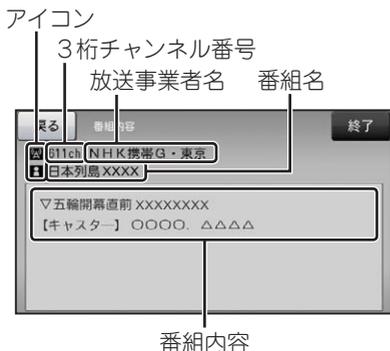
- ・リスト項目にタッチすると、番組内容を表示します。(→P115)
- ・終了にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。

## 番組内容を表示する

視聴している番組の番組内容を表示します。

### 1 番組内容にタッチする (→P113)

番組内容が表示されます。



### Advice

- ・終了にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。

## チャンネルを自動で登録する(チャンネルスキャン)

受信状態の良いチャンネルをユーザープリセットに自動的に登録できます。

### 1 スキャンに2秒以上タッチする (→P113)



中止にタッチすると、スキャンを中止します。

## 字幕を切り換える

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示のON/OFFを切り換えます。

### 1 字幕切換にタッチする (→P113)

タッチするごとに次のように切り換わります。

字幕1 → 字幕2 → 字幕OFF → 字幕1に戻る

## 音声を切り換える

番組に複数の音声があるときに、音声を切り換えます。

### 1 音声切換にタッチする (→P113)

タッチするごとに次のように切り換わります。

複数の音声がある場合：

第1音声 → 第2音声 → 第1音声 に戻る

二ヶ国語放送(2重音声)の場合：

主音声 → 副音声 → 主音声+副音声 →  
主音声 に戻る

---

## 視聴設定を消去する

---

本機の破棄や譲渡などの場合には、「視聴設定」を消去してください。詳しくは、「オーディオのシステムを設定する」－「ワンセグ視聴設定クリア」(→P126)をご覧ください。

# テレビを見る(12セグ)〈AVIC-MRP099/MRP088〉

本機をクレイドルに装着しているときは、地上デジタルテレビ(12セグ)放送を視聴できます。

## テレビを見る

### Caution

- ・テレビは、停車中のみ視聴できます。
- ・テレビをはじめて利用する場合は、miniB-CASカードの装着や初期スキャンなどの準備作業が必要になります。→「テレビを見るための準備」(P30)
- ・AVIC-MRP077/MRP066で地上デジタルテレビ(12セグ)放送を視聴する場合は、別売の載換キット「AD-CR001」または「AD-CR003」をご使用ください。

### Advice

- ・テレビは、受信場所によっては画像がすぐに表示されないことがあります。また、画像が乱れる・遅れる、突然受信できなくなるといった現象が起こることがありますが、故障ではありません。

## 1 AVメニューのDTVにタッチする(→P112)

前回視聴していたチャンネルを受信します。画面上部には、現在の音量が表示されます。



## 2 テレビの受信中に、エアージェスチャーセンサーに手を近づける

操作タッチキーが表示されます。

**次ページ**または**前ページ**にタッチすると、操作タッチキーの表示が切り換わります。



操作タッチキー



閉じる	操作タッチキーを消し、映像画面に戻ります。
音量アップ/音量ダウン	音量を上げ/下げします。
Chリスト	選択している動作モードのチャンネルリストと、受信チャンネルで現在放送中の番組を表示します。
ミュート	一時的に音を消します。
左/右	選択している動作モードのチャンネルを順番に切り換えます。(→P118)
スキャン	旅行先などで受信可能なチャンネルを自動的に登録します。(→P120)
プリセット切換	動作モード(ホームモードとドライブモード)を切り換えます。(→P118)
音声切換	複数の音声がある場合、音声を切り換えます。(→P120)
12セグワンセグ切換	受信中のチャンネルでワンセグ放送が提供されている場合、通常のテレビ放送とワンセグ放送を切り換えます。(→P120)

<b>字幕切換</b>	複数の字幕がある場合、字幕を切り換えます。(→P120)
<b>番組表</b>	番組表や番組内容を表示します。(→P119)
<b>設定</b>	設定項目を表示します。 チャンネル設定や視聴設定のほか、お知らせメッセージの表示、バージョン情報の表示などができます。(→P120)
<b>戻る</b>	チャンネルリストや番組表、設定メニューを閉じて、元の画面に戻ります。
<b>決定</b>	チャンネルや番組、設定メニューを決定します。
<b>▲ / ▼ / ▶ / ◀</b>	チャンネルリストや番組表、設定メニューの項目間を移動します。
<b>放送局サーチ</b>	受信状態が悪いとき、受信可能な放送局を探して切り換えます。(→P118)

## Advice

テレビ

- しばらく操作をしないと、操作タッチキーは消えます(エアージェスチャーセンサーに手を近づけている間は消えません)。もう一度操作タッチキーを表示したいときは、エアージェスチャーセンサーに手を近づけてください(ただし、再表示される操作タッチキーは、消える直前の状態ではなく、初期状態に戻ります)。
- テレビの音声はチャンネル側の出力レベルにより低い場合があります。そのため他のAVソースからテレビに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。

## モードを切り換える

動作モードを、ホームモードまたはドライブモードに切り換えます。

### ■ ホームモードとドライブモードについて

動作モードには、ホームモードとドライブモードの2種類があります。移動する場所によって、どちらかを選びます。

- ホームモード：普段使用する自宅エリアのチャンネルを見るときモード
- ドライブモード：普段と別のエリアのチャンネルを見るときモード

## Advice

- ホームモードに設定しておく、自車周辺のチャンネルがリストに表示され、かんたんにチャンネルを選べます。
- 旅先などで普段と別のエリアのチャンネルを見るときは、チャンネルスキャンが必要になります。詳しくは、「チャンネルを自動で登録する」(→P120)をご覧ください。

## ■ モードを切り換える

### 1 **プリセット切換** にタッチする (→P117)



タッチするごとに、ドライブモードとホームモードが切り換わります。

## 受信可能な中継局を探す

受信状態が悪くなった場合などは、受信中のチャンネルを放送している中継局や系列局を探して切り換えができます。

### 1 **放送局サーチ** にタッチする (→P118)



受信可能な中継局(系列局)が見つかった場合は、自動的にチャンネルが切り換わります。

## Advice

- チャンネルが受信できない場所に移動した場合は、ドライブモードにしてチャンネルスキャン(→P120)をしてください。
- 放送局サーチ動作設定(→P121)で、「中継局のみ」に設定した場合、系列局への切り換えはできません。

## チャンネルを切り換える

別のチャンネルに切り換えます。

### 1 **◀ または ▶** にタッチする (→P117)



タッチするごとに、チャンネルが順番に切り換わります。

### Advice

・緊急警報放送がはじまると、自動的に緊急警報放送のチャンネルに切り換わります。この場合、緊急警報放送が終わっても元のチャンネルには戻りません。

## 番組表を表示する

番組表を表示します。

指定した日時の番組表を見たり、番組の内容を確認したりできます。

### 1 番組表にタッチする(→P118)

現在視聴しているチャンネルの番組表が表示されます。

◀または▶にタッチすると、チャンネルを切り換えます。



### Advice

・戻るにタッチすると、通常の放送画面に戻ります。

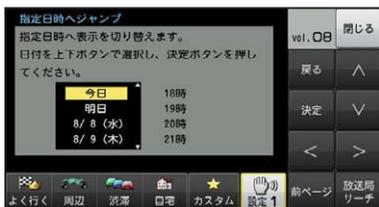
## 指定した日時の番組表を表示する

### 1 番組表が表示された状態で、決定にタッチする

### 2 VまたはAで指定日時ジャンプを選んで決定にタッチする



### 3 VまたはAで日付を選択し、決定にタッチする



時間を指定する画面が表示されます。

### 4 VまたはAで時間を選択し、決定にタッチする

指定した日時の番組表が表示されます。

## 番組の内容を確認する

### 1 番組表を表示し、VまたはAで内容を 確認したい番組を選択する

### 2 決定にタッチする

### 3 VまたはAで番組表詳細を選んで決定にタッチする



番組の詳細内容が表示されます。

VまたはAで画面をスクロールできます。



テレビ

## チャンネルを自動で登録する(チャンネルスキャン)

旅行先などで受信可能なチャンネルを自動的に登録します。

1 動作モードを「ドライブ」にする(→P118)

2 スキャンにタッチする(→P117)



### Advice

・もう一度スキャンにタッチすると、スキャンが中止されます。

## 字幕を切り換える

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示のON/OFFを切り換えます。

1 字幕切替にタッチする(→P118)

タッチするごとに次のように切り換わります。

字幕1 → 字幕2 → 字幕OFF → 字幕1 に戻る

## 音声を切り換える

番組に複数の音声があるときに、音声を切り換えます。

1 音声切替にタッチする(→P117)

タッチするごとに次のように切り換わります。

複数の音声がある場合：

第1音声 → 第2音声 → 第1音声 に戻る

二ヶ国語放送(2重音声)の場合：

主音声 → 副音声 → 主音声+副音声 → 主音声 に戻る

## ワンセグ放送に切り換える

受信中のチャンネルでワンセグ放送が提供されている場合、ワンセグ放送に切り換えることができます。

1 12セグワンセグ切替にタッチする(→P117)

タッチするごとに、次のように切り換わります。

自動切替→ワンセグ固定→12セグ固定→自動切替に戻る

## 各種設定や情報表示を行う

チャンネル設定や視聴設定を行います。また、お知らせメッセージやバージョン情報などを表示します。

1 設定にタッチする(→P118)

2 決定または戻るで項目を選んで、決定にタッチする



## チャンネル設定

チャンネル設定では、以下の設定ができます。

ホーム(ドライブ)初期スキャン	選択中の動作モードのチャンネルリストに、受信可能なチャンネルを自動的に割り当てます。 ※既存のチャンネルリストの内容は破棄されます。
-----------------	---

ホーム（ドライブ）追加スキャン	選択中の動作モードのチャンネルリストに、受信可能なチャンネルを自動的に追加します。
ホーム（ドライブ）チャンネル受信設定	選択中の動作モードの受信設定を行います。
アンテナレベル	アンテナレベルを表示します。
放送局サーチ動作設定	<b>放送局サーチ</b> をタッチしたときのサーチ範囲を、「中継局と系列局」「中継局のみ」から選択します。
自動放送局サーチ設定	放送局サーチを自動的に開始するまでの時間を設定します。
スキャンボタン設定	<b>スキャン</b> をタッチしたときの動作を、「ドライブ初期スキャン」「ドライブ追加スキャン」から選択します。

## 視聴設定

視聴設定では、以下の設定ができます。

12セグワンセグ切替設定	12セグ⇄ワンセグの切り換え方法を設定します。
ワンセグ自動切替設定	12セグワンセグ切替設定が「自動切替」の場合、12セグとワンセグのどちらを優先するのを設定します。
字幕設定	字幕の表示言語を設定します。
文字スーパー設定	文字スーパーの表示言語を設定します。
二ヶ国語放送設定	二ヶ国語放送の設定を、「主音声」「副音声」「主/副」から選択します。

## お知らせ

お知らせでは、本機が受信したメッセージを表示します。

## その他

その他では、以下の設定や情報表示ができます。

B-CAS カードID番号	miniB-CAS カードID番号を表示します。
バージョン	ソフトウェアのバージョンを表示します。
設定初期化	設定の初期化（出荷時の設定に戻す）が実行できます。

# 地上デジタルTVチューナーの更新を行う

マップチャージデータに地上デジタルTVチューナーの更新データが含まれている場合、下記のメッセージが表示されますので、地上デジタルTVチューナーの更新を行ってください。

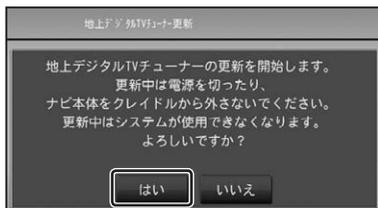
## 1 確認にタッチする



## 2 『メニュー』ボタンを押し、NAVI設定-設定-その他設定-地上デジタルTVチューナー更新にタッチする



## 3 はいにタッチする



地上デジタルTVチューナーの更新が開始されます。

# SD カードを使う

本機に接続した SD カード内の音楽ファイル (WMA/MP3/AAC/WAV) や映像ファイル (MPEG4/H.264/WMV) を再生できます。

## Caution

- データの読み込み中にSDカードを取り出さないでください。
- 読み込み中にSDカードを取り出したり、製品本体の電源を切った場合、静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合は、データが破損することがあります。

## Advice

- 本機は、以下のメディアに対応しています。
  - SDカード：最大容量 32 GB、ファイルシステム FAT 32/16、SDHC 対応
- SDカードに保存されたデータの判別を行うため、再生画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。保存されたデータが消去されても、当方では一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

## 音楽ファイルを再生する

SD カード内の音楽ファイル (WMA/MP3/AAC/WAV) を再生できます。

## Advice

- 再生できる音楽ファイルについては、「再生できる音楽ファイルについて」(→P136)をご覧ください。

### 1 AV メニューの **SD** にタッチする (→P112)

前回再生していたファイルから再生されます。

再生中ファイルの経過時間



	音量を上げ / 下げします。
	ファイルリストを表示します。 (→P123)
	一時的に音を消します。
	同じフォルダー内のファイルのダウン / アップを行います。
	キーを押している間、再生中ファイルの早戻し / 早送りをを行います。
	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
	リピート再生を行います。(→P124)
	ランダム再生を行います。(→P124)
	映像ファイルの再生に切り換わります。(→P123)

## アイコン一覧

再生中の楽曲に関するアイコンがAVソースプレートに表示されます。

	再生中の楽曲のアルバムタイトル
	フォルダー番号
	ファイル番号およびファイル形式

## Advice

- MP3/WMA/AAC/WAVファイルからタイトル情報を取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- タイトル情報を取得できなかった場合は以下のように表示されます。
  - アルバムタイトル：フォルダー名
  - 曲タイトル：ファイル名
  - アーティスト名：No Name
- WMAのときにタグのAuthor情報があつた場合、アーティスト名として表示します。

◀▶ / ▶▶	キーを押している間、再生中ファイルの早戻し／早送りを行います。
▶ /	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生を行います。(→P124)
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→P124)
ミュージック	音楽ファイルの再生に切り換わりします。(→P123)

## 映像ファイルを再生する

SDカード内の映像ファイル(MPEG4/H.264/WMV)を再生できます。

## Advice

- 再生できる映像ファイルについては、「再生できる映像ファイルについて」(→P137)をご覧ください。

### 1 AVメニューの **SD** にタッチする (→P112)

前回再生していたファイルから再生されます。

操作タッチキーが表示されます。



閉じる	操作タッチキーを消し、映像画面に戻ります。
🔊	音量を上げます。
🔇	音量を下げます。
リスト	ファイルリストを表示します。(→P123)
■	再生を停止します。
ミュート	一時的に音を消します。
◀▶ / ▶▶	ファイルのダウン／アップを行います。

## Advice

- 表示されるアイコンの意味については、「アイコン一覧」(→P122)をご覧ください。
- 映像は停車中のみご覧いただけます。
- 映像の表示方法を変更できます。→「SD映像出力設定」(P126)

## 音楽ファイルと映像ファイルを切り換える

SDカード内に音楽ファイルと映像ファイルが混在する場合は、切り換えて使用します。

### 1 **ビデオ**または**ミュージック**にタッチする(→P122, 123)

音楽ファイル再生中は映像ファイルに切り換わりします。

映像ファイル再生中は音楽ファイルに切り換わりします。

## 聴きたい曲や見たい映像を探す

聴きたい曲や見たい映像をリストから探します。

リスト画面では、別のフォルダーにあるファイルも探せます。

### 1 **リスト** にタッチする (→P122, 123)

## 2 聴きたい曲または見たい映像にタッチする



### Advice

- ・音楽ファイルのリスト画面では、**詳細** にタッチすると元の画面に戻ります。
- ・映像ファイルのリスト画面では、**リスト** にタッチすると元の画面に戻ります。
- ・フォルダー名にタッチした場合は、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- ・**☰** にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。

## リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生できます。

### 1 リピート にタッチする (→P122, 123)

タッチするごとに、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

MEDIA REPEAT → FILE REPEAT → FOLDER REPEAT → MEDIA REPEAT に戻る

MEDIA REPEAT (表示なし)	SD カード内のファイルを繰り返し再生します。
FILE REPEAT (☑)	再生中のファイルを繰り返し再生します。
FOLDER REPEAT (☑)	再生中のフォルダー内のファイルを繰り返し再生します。

### Advice

- ・リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作 (FILE REPEAT 中の選曲操作など) を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。

## ダイレクトサーチ

映像ファイル再生中は、見たい場面を数字で指定して再生できます。

### 1 10キーサーチ にタッチする (→P123)

### 2 見たい場面の時間 (分・秒) を入力し、**決定** にタッチする



指定した場面から再生を始めます。

## ランダム再生

音楽ファイル再生中は、再生順を変えて再生できます。

### 1 ランダム にタッチする (→P122)

タッチするごとに、ランダム再生の ON/OFF が切り換わります。

OFF (表示なし)	ランダム再生しません。
ON (☑)	リピート再生範囲内でランダム再生します。

### Advice

- ・リピート再生の範囲が FILE REPEAT の場合、ランダム再生を ON にすると、リピート再生の範囲は FOLDER REPEAT に自動的に切り換わります。

# オーディオのシステムを設定する

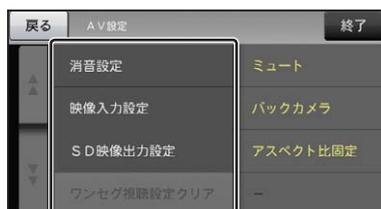
本機のオーディオシステムの基本的な設定を行います。

- 1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** - **設定** - **その他設定** にタッチする

- 2 **AV設定** にタッチする



- 3 項目を選んで設定する



- 4 設定を終了する場合は、**終了** にタッチする

<b>消音設定</b>	案内音声再生時に、AVソースの音を一時的に消して音声を聞き取りやすくします。(→P125)
<b>映像入力設定</b>	バックカメラやVIDEOを接続した場合に設定します。(→P125)
<b>SD映像出力設定</b>	SDカード内の映像データ再生時の表示形式を設定します。(→P126)
<b>ワンセグ視聴設定クリア</b>	廃棄や譲渡などの場合に、本機に記録されている視聴設定を消去します。(→P126)

## ■ 消音設定

工場出荷時は「OFF」に設定されています。

- 1 **消音設定** にタッチする

- 2 **ミュート** または **OFF** にタッチする



<b>ミュート</b>	案内音声再生時に、AVソースの音を一時的に消します。
<b>OFF</b>	案内音声再生時に、AVソースの音を消しません。

## ■ 映像入力設定

工場出荷時は「OFF」に設定されています。

- 1 **映像入力設定** にタッチする

- 2 接続した機器に応じて設定する



<b>バックカメラ</b>	バックカメラ映像を表示するとき
<b>VIDEO</b>	VIDEOの映像を表示するとき
<b>OFF</b>	何も接続していないとき

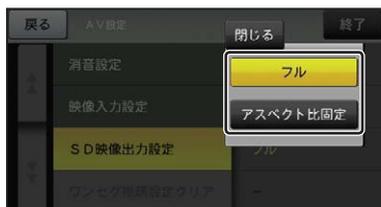
## Advice

- ・「バックカメラ」に設定すると、AVメニューにバックカメラが追加されます。
- ・「VIDEO」に設定すると、AVメニューにVIDEOが追加されます。

## ■ SD映像出力設定

工場出荷時は「フル」に設定されています。

- 1 **SD映像出力設定** にタッチする
- 2 **フル** または **アスペクト比固定** にタッチする



<b>フル</b>	アスペクト比を変え、上下左右を引き伸ばして、画面いっぱいに表示します。
<b>アスペクト比固定</b>	アスペクト比は変えずに、長辺または短辺を画面に合わせて表示します。

その他の操作

## ■ ワンセグ視聴設定クリア

- 1 **ワンセグ視聴設定クリア** にタッチする
- 2 **はい** にタッチする



▼  
視聴設定が消去されます。

# VIDEO などの映像を見る

本機にDVD-VIDEO対応メインユニット（弊社製DVHシリーズ）の映像出力を接続すると、DVD-VIDEOなどの映像を本機のAVソース（VIDEO）として表示できます。あらかじめ映像入力設定を行ってください。→「オーディオのシステムを設定する」-「映像入力設定」(P125)

## Caution

- ・ VIDEOの映像は、停車中のみ表示できます。
- ・ 本機にバックカメラを接続する場合は、この機能は使えません。

## 1 AVメニューの**VIDEO**にタッチする(→P112)



VIDEOの映像が表示されます。



## Advice

- ・ 弊社製DVHシリーズの映像信号を本機に入力するには、別売の各種変換ケーブルが必要になります。
- ・ 接続した機器によっては、映像が正常に表示されない場合があります。

# バックカメラの映像を見る

別売のバックカメラを接続すると、バックカメラの映像を表示できます。あらかじめ映像入力設定を行ってください。→「映像入力設定」(P125)

## Caution

- ・バックカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- ・本機にDVD-VIDEO対応メインユニットなどを接続する場合は、この機能は使えません。

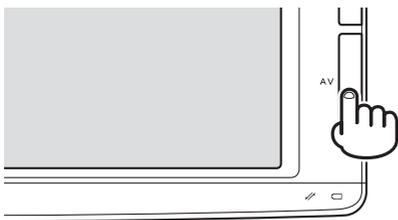
## バックカメラの表示方法

バックカメラ映像の表示方法は、以下の2通りです。

- ・AVメニューの**バックカメラ**にタッチ  
(→P112)

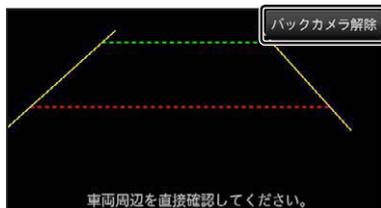


- ・『AV』ボタンの長押し



## バックカメラを非表示にするには

バックカメラの映像表示中に**バックカメラ解除**にタッチすると、元の画面に戻ります。



## Advice

- ・バックカメラの映像表示中に「AV」ボタン(長押し)または「現在地」ボタンを押すか車を走行させると、バックカメラを解除し、元の画面に戻ります。

## 駐車アシスト線を設定する

駐車アシスト線で、車幅と距離の目安を確認できます。

## ■ 駐車アシスト線の表示/非表示

バックカメラ画面にタッチすると、**駐車アシスト線表示/非表示**が表示されます。

**駐車アシスト線表示/非表示**にタッチすると、駐車アシスト線の表示/非表示が切り換わります。

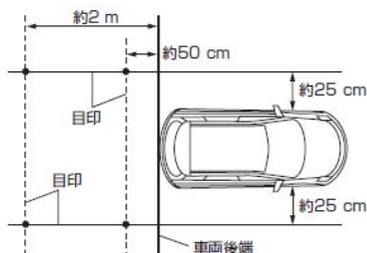
## ■ 駐車アシスト線を調整する

駐車アシスト線は、手動で調整できます。

## Caution

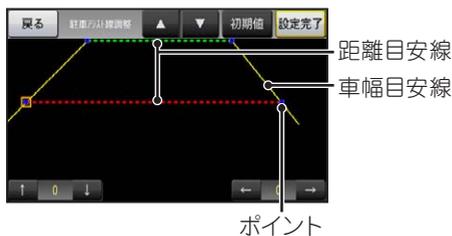
- ・駐車アシスト線調整をする際には、車を安全な場所に停車して行ってください。
- ・車を降りて目印を付ける際には、必ず車のキーイッチをOFFにしてエンジンを停止してください。

- 1 車両の幅+両側約25 cm、車両後端から後ろ側へ+約50 cmと+約2 mの位置にガムテープなどで目印をつける



- 2 バックカメラ画面にタッチし、**駐車アシスト線調整**にタッチする

- 3 ▲/▼にタッチして、カーソル(オレンジの四角形)を移動し、調整したいポイント(交点)を選ぶ



初期値	ポイントの位置が工場出荷時に戻ります。
設定完了	設定を保存します。
戻る	設定を破棄します。
▲/▼	現在カーソルのあるポイントの調整結果を保存し、次のポイントにカーソルを移動します。
↑/↓/→/←	ポイント位置を上下左右に動かします。

### Caution

- バックカメラが映し出す範囲には限界があります。また、表示される駐車アシスト線は、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。

# 文字の入力操作

場所の名前や電話番号などを登録するときは、文字や数字を入力します。ここでは、メニュー操作中に表示される、文字や数字の入力操作のしかたについて説明します。

## Advice

- ・英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号が入力できます。
- ・項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば名称で探す場合、ひらがな入力以外は選べません。

## 文字入力の方法を切り換える

本機の文字入力は、2種類の方法(キーボード方式と携帯電話方式)から選べます。

### 1 パレット切り換えマーク( / )にタッチする



タッチすることによって以下のように切り換わります。

#### 携帯電話方式



#### キーボード方式



## 文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

文字の種類を切り換える



全角・半角を切り換える



文字を入力する



変換または確定を行う



文字入力を終了する

## 文字の種類を切り換える

### 1 **入力切換** にタッチする



タッチすることによって文字の種類が以下のように切り換わります。

ひらがな → カタカナ → 英字 → 数字 → 記号 → ひらがな に戻る

## Advice

・漢字変換をするには、ひらがなで入力します。

## 全角・半角を切り換える

全角・半角を切り換えます。

### 1 半角/全角にタッチする



## Advice

・文字の種類(→P130)を「ひらがな」にしている場合、全角/半角の切換はできません。

## 大文字・小文字を切り換える

大文字・小文字を切り換えます。

例：小文字に変換する場合

### 1 文字を入力する

## 2 小文字にタッチする



## Advice

・キーボード方式の場合は、**小文字**にタッチすると大文字・小文字を切り換えられます。

## 濁点・半濁点、句読点や記号類を追加する

ひらがなやカタカナの場合は、選んだ文字により濁点・半濁点を追加できます。また句読点や記号類も入力できます。

### 1 記号にタッチする



タッチするごとに、カーソル左側の文字が以下のように切り換わります。

濁点 → 半濁点 → 句読点や記号類 → 濁点に戻る

## Advice

・キーボード方式の場合は、**小文字**にタッチすると濁点・半濁点を追加できます。

# 文字を入力する

## ■基本操作

携帯電話方式で入力する場合

### 1 各タッチキーに割り当てられた文字を入力する

同じキーをタッチすることによって以下の文字が切り換わります。

#### Advice

・同じキー（枠内）の文字を続けて入力するときは、▶または◀にタッチします。（数字入力を除く）

キー	ひらがな	カタカナ	英字	数字
あ ア 1	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ		1
か カ 2 ABC	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
さ サ 3 DEF	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
た タ 4 GHI	たちつてと っ	タチツテト ッ	G H I g h i	4
な ナ 5 JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
は ハ 6 MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
ま マ 7 PQRS	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
や ヤ 8 TUV	や ゆ よ ゃ ゅ ょ	ヤ ユ ヨ ャ ュ ヲ	T U V t u v	8
ら ラ 9 WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
わ ワ 0	わ を ん ー	ワ ヲ ン ー		0
*/記号 */記号 # 記号	ゝ 〃 、 〃 . . . ( ) - _ : ; ' " & ¥ #	ゝ 〃 ! ? ( ) - _ : ; ' " & ¥ #	. . @ / ! ? ( ) - _ : ; ' " & ¥ #	#

## 1 入力したい文字にタッチする



## ■文字を削除する

1 **</>** にタッチして、削除したい文字の右側にカーソルを移動させる

2 **削除** にタッチする



タッチするごとに、カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。カーソルが左端にある場合は、右側の文字が削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。

## Advice

- ・ 削除に長くタッチすると、全削除できます。

## ■スペースを空ける

1 空けたい分だけ **スペース** にタッチする



## Advice

- ・ 文字入力中は、入力を確定してから **>** にタッチします。
- ・ 入力済みの文章の途中でスペースを空けたい場合は、**</>** にタッチしてカーソルを移動し、**スペース** にタッチします。

## ■文字を挿入する

1 **</>** にタッチして、文字を挿入したい場所の右側にカーソルを移動させる



カーソルの位置に文字を挿入できます。



## Advice

- ・ カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かせます。



ずけい	☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ ▲ ▼ ▽ ▾
まる	○ ● ◎
にじゅうまる	◎
ひしがた	◇ ◆
ほし	☆ ★
おす	♂
めす	♀
ゆうびん	〒

## 単位

読み	記号
えん	¥
おんぐすとろーむ	Å
せっし	℃
せんと	¢
たんい	° ' " °C ¥ \$ ¢ £ %
ど	° °C
どる	\$
ぱーせんと	%
ぱーみる	‰
びょう	”
ふん	′
ぼんど	£

## 点

読み	記号
だくてん	°
てん	、 , … …
はんだくてん	°
まる	° .

## 矢印

読み	記号
やじるし	→ ← ↑ ↓

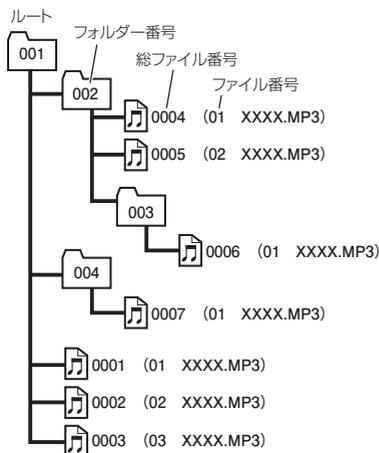
## その他

読み	記号
あすたりすく / あすてりすく	*
あっとまーく	@
あんぱさんど	&
おんぷ	♪
から / ないし	～
こめ / ほし	※
しゃーぷ	#
しゃせん	/ \
せくしょん	§
だがー	†
だぶるだがー	‡
ふらっと	b

# 再生できる音楽ファイルおよび映像ファイルについて

## フォルダー・ファイルの表示と再生順について

- SD カード内のフォルダーおよびファイルは、階層ごとに作成日順に並べ替えられ、ファイル番号順に再生されます。  
なお、音楽ファイルと映像ファイルは別々に管理されます。



- 対応している SD カードは、最大容量:32 GB、ファイルシステム: FAT 32/16、SDHC 対応です。
- SD カード内の認識できる最大フォルダー数は、300(ルート含む)、最大ファイル数は、5 000 です。
- 認識できるフォルダー名およびファイル名(拡張子含む)の最大文字数は、半角で 260 文字までです。
- ファイル名が8文字以下で拡張子が3文字以下の英数字の場合は、ファイル名を表示すると拡張子を含め全て大文字で表示されます。
- 本機では、Windows® オペレーティングシステム以外で保存されたファイルの動作検証は行っていません。

## 再生できる音楽ファイルについて

本機では、下記の音楽ファイルを再生できます。

フォーマット	拡張子
WMA	wma
MP3	mp3
AAC	m4a
WAV	wav

### Advice

- 雑音や故障の原因となりますので、異なるフォーマットのファイルに上記拡張子を付けないでください。
- DRM(デジタル著作権管理)付きの音楽ファイルの再生には対応していません。
- 総時間が、5時間(300分)を超える音楽ファイルは再生できません。

## WMA ファイル

WMAとは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮方式です。

WMA データは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードできます。

### Advice

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機では、Windows Media Player Ver.7/8/9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生できます。

- 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 8 kHz ~ 48 kHz です。
- 対応ビットレートは 5 kbps ~ 320 kbps です。VBR に対応しています。
- 下記形式には対応していません。
  - Windows Media Audio 9 Professional (5.1 ch)
  - Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
  - Windows Media Audio 9 Voice

## MP3 ファイル

MP3とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

- 再生可能な MP3 ファイルの対応サンプリング周波数は、8 kHz ~ 48 kHz です。エンファシスに対応しています。
- 対応ビットレートは 8 kbps ~ 320 kbps です。VBR に対応しています。
- ひとつの MP3 ファイルの中に、異なるバージョン(v1, v2)の ID3 タグ情報が存在する場合は、v2のタグ情報を優先に表示します。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。

## ■ AACファイル

AACとは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

### Advice

- ・本機では、Windows版のiTunesを使用してエンコードされたAACファイルの再生に対応しています。
- ・画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

- ・ AAC ファイルをエンコードした iTunes のバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- ・ 再生可能な AAC ファイルのサンプリング周波数は 8 kHz ~ 48 kHz です。
- ・ 対応ステレオビットレートは 8 kbps ~ 320 kbps です。VBR に対応しています。
- ・ この製品は、下記のオーディオフォーマットには対応していません。  
\* Apple Lossless

## ■ WAVファイル

WAVとは、「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

- ・本機は、LPCM形式およびエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。
- ・本機は、LPCM形式では16 kHz~48 kHzのサンプリング周波数で記録されたWAVファイルの再生に対応しています。
- ・表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。
- ・本機は、LPCMでは8/16 bitの量子化ビット数で記録されたWAVファイルの再生に対応しています。

## 再生できる映像ファイルについて

本機では、下記の映像ファイルを再生できます。

フォーマット	拡張子
MPEG4	avi, mp4, m4v
H.264	mp4
WMV	wmv

### Advice

- ・雑音や故障の原因となりますので、異なるフォーマットのファイルに上記拡張子を付けないでください。
- ・DRM(デジタル著作権管理)付きの映像ファイルの再生には対応していません。
- ・総時間が、2時間30分(150分)を超える映像ファイルは再生できません。
- ・マルチビットレートファイルの再生は、動作保証外です。

## ■映像コーデック

対応している解像度、フレームレート、ビットレートは以下のとおりです。

### 対応映像コーデック一覧表

	MPEG-4 Video	H.264/AVC	WMV (VC-1)
プロファイル	Simple Profile	Baseline Profile	Simple Profile
最大解像度(ピクセル)	400×240	400×240	400×240
最大フレームレート	30 fps	30 fps	30 fps
最大ビットレート(平均値/ピーク値)*1	2.5 Mbps / 8 Mbps	1.5 Mbps / 8 Mbps	768 kbps / -

\*1 再生可/不可は、平均ビットレートで判断します。

## ■音声コーデック

対応している音声コーデックと映像コーデックの組み合わせは、以下のとおりです。

### 対応映像・音声コーデック組み合わせ一覧表

		映像ファイルフォーマット		
		AVI (*.avi)	MP4 (*.mp4, *.m4v)	ASF (*.wmv)
Video Codec	MPEG-4 Video	○	○	—
	H.264/AVC	—	○	—
	WMV (VC-1)	—	—	○
Audio Codec	None	○	○	○
	LPCM / ADPCM	○	—	—
	MP3	○	—	—
	WMA	—	—	○
	AAC	—	○	—

○：対応 —：非対応

# ナビゲーションのしくみ

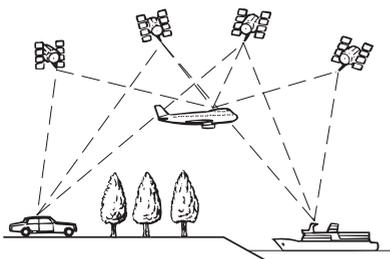
## 現在地がわかるしくみ

本機では、現在地（自車位置）を測位する方法としてGPSに加え、自立航法による測位が可能です。

## ■ GPSによる測位

GPS衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。

GPS衛星は、地球の周り高度21,000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。



種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できます。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位します。高度は測位できないため、3次元測位の時よりも測位の誤差がやや大きくなります。

## ■ 自立航法による測位

内蔵のハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向をジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計（加速度センサー）で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。車速パルスが接続されていない場合は、加速度センサーで走った距離を検出します。

## GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

## ■ 内蔵センサーの学習について

- 本製品では測位の精度を高めるために、ジャイロセンサーと加速度センサーを内蔵しております。この機能を有効にするためには、これらのセンサーの学習が必要です。学習はGPSを受信し、走行開始してから5分～15分程度かかります。（走行条件によって異なります。）
- 学習が完了していないとトンネルなどでGPSが受信できない場合に、地図画面上の自車位置マークが停止します。（GPSが受信可能になると自車位置が更新されます。）この機能は、取付角度が大きく変わった場合や学習クリアした場合は、再度学習が必要となります。また、学習が完了していても、地図画面上の自車位置マークにずれが生じることがあります。

## 測位の精度を高めるためのしくみ

### ハイブリッドシステム

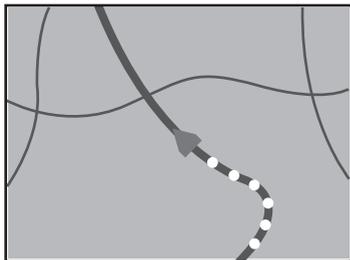
車速パルスが入力されているときは、車速パルスから移動距離をジャイロセンサーから曲がった方向を検出して自車位置の精度を高めています。この場合、GPSが受信できない状況でも位置を表示することが可能です。

車速パルスが入力されないときは、入力されている場合に比べて精度が低くなります。道路の傾斜の影響を受けやすいため、長いトンネルや地下駐車場などでのGPSが長い間受信できない状況では、誤差が大きくなる可能性があります。

## マップマッチング

GPSや自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合



本機では、GPSと自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

## 誤差について

次のような状況のときは、誤差が大きくなることがあります。

### GPS測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や  
ビルの駐車場



2層構造の高速道路  
の下



高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

- 長い時間GPSによる測位ができない場合、自車位置がずれたり止まったりする場合があります。このような場合でも、GPSの電波を受信してしばらく走行すると正しい位置に修正されます。
- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
  - GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合。

- GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、アンテナに雪が積もると感度が低下しますので、除雪してください。

### GPS衛星自体による誤差

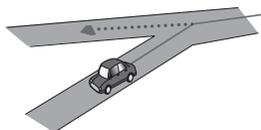
- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉(受信)できている衛星の数が少ないときは、2次元測位となり誤差が大きくなります。

### 低速時の自車位置精度について

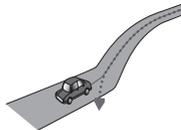
車種によっては数km/h程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場(地下駐車場など)で数km/h程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されないことがあります。

### その他の誤差について

- 角度の小さなY字路を走った場合。



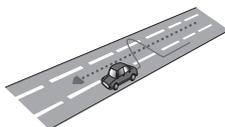
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐあと。



- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。



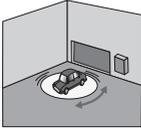
- 蛇行運転をした場合。



- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。



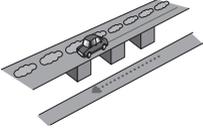
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



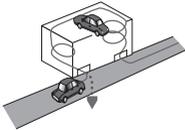
- ヘアピンカーブが続いた場合。



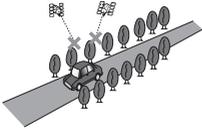
- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。



- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



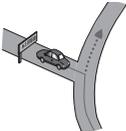
- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。



- ループ橋などを通った場合。



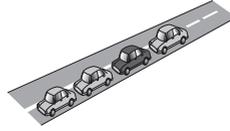
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



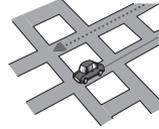
- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。



- 基盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。
- 扁平率や径の異なるタイヤに交換してまもない場合。
- センサー学習（→P104）中に、誤った取付や振動の影響によって誤学習をしてしまった場合。

# 取り扱い上のご注意

## 液晶画面の正しい使いかた

### ■取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出る場合があります。
- 液晶画面は指定温度範囲内でお使いください。→f仕様J (P165)
- 直射日光の当たった状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 液晶画面を強く押さないでください。故障する恐れがあります。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。
- 携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナを液晶画面に近づけないでください。液晶画面に斑点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

### ■液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出ることがあります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

### ■LEDバックライトについて

- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。
- LEDバックライトの寿命は1万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LEDバックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

### ■お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。液晶画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

## 内蔵バッテリーの正しい使いかた

### ■充電について

- お買い上げ時は、十分に充電されていません。充電をしてからお使いください。
- 十分に充電しても、使用できる時間が著しく短くなってきた場合は、内蔵バッテリーの寿命と考えられます。その場合は、修理受付窓口にご相談ください。
- 内蔵バッテリーは充電しても少しずつ自然に放電しています。充電後長期間お使いになっていない場合は、お使いになる前日などにもう一度充電してください。
- 内蔵バッテリーを安全に使用していただくために、高温や低温時には内蔵バッテリーからの電源供給や内蔵バッテリーへの充電を停止する保護機能が働く場合があります。
- 内蔵バッテリーの充電が少ない場合は、製品の電源が入らない場合があります。このような場合はACアダプター又はシガーライター電源ケーブルを接続し、内蔵バッテリーを充電してからご使用ください。

### ■廃棄について

- 本機を廃棄する際は、自治体の指示に従ってください。また、本機には、リチウムイオン蓄電池を内蔵しております。リチウムイオン蓄電池はリサイクルできるため、不要になったリチウムイオン蓄電池はリサイクル協力店へお持ちください。



## SDカードの正しい使いかた

### ■取り扱い上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。
- 曲げたり、衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。故障の原因になります。
- 濡れた手で触らないでください。故障の原因になります。
- 端子部を金属類や手で触らないでください。故障の原因になります。
- SDカードの持ち運びや保管の際には、専用の収納ケースに入れてください。

- 分解したり改造したりしないでください。
- 水、海水、ジュースなどの液体に濡らさないでください。
- SD カードを幼児の手の届く場所に置かないでください。誤って飲み込んだり、ケガの原因となります。
- SD カードを挿入または取り出す際にはご注意ください。手や指を傷つける可能性があります。また、製品本体への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。
- 製品本体から取り出した際に、温かくなっていることがあります。異常ではありません。

## ■データの保護について

- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをお勧めします。万一登録された情報内容が消去してしまうことがあっても、一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 使用しなくなったSDカードを破棄する場合は、保存内容が流出する危険性がありますので、保存内容を消去するだけでなく、物理的に破壊した上で処分することをお勧めします。

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

## 電源

症状	原因	処置
電源が入らない。	内蔵バッテリーの電池残量がない。	ACアダプターやシガーライター電源ケーブルで充電を行ってください。
	本機が高温な場所に放置されている。	温度が下がるまでしばらくお待ちください。
	付属のシガーライター電源ケーブルの接触が悪い。	シガーライター電源ケーブルを差し直してください。
	付属のシガーライター電源ケーブルのヒューズが切れている。	ヒューズ切れを確認し、切れていた場合は新品に交換してください。→『取付説明書』-「シガーライター電源ケーブルの使いかた」
エンジンをかけても自動的に電源が入らない	内蔵バッテリーの電池残量がない。	エンジンをかけたまま数分間初期充電を行い、エンジンをかけなおしてください。
電源スイッチを下方向へスライドし、2秒以上保持しても電源が入らない。	スタンバイモードになっている。	スタンバイモードから電源をONにするときは、電源スイッチを下方向へスライドし、すぐに離してください。(→P18)
スタンバイモードから電源をONにする際、電源スイッチを下方向へスライドし、すぐに放しても電源が入らない。	内蔵バッテリーの残量が少なくなった為、自動的に電源がOFFになった。	電源スイッチを下方向へスライドし、2秒以上保持して電源をONにしてください。(→P18)

付録

## ナビゲーション

症状	原因	処置
現在位置と異なる場所が地図に表示されたまま。	GPSを正常に受信できる場所がない。	GPSを正常に受信できる場所に移動してください。正確な現在位置を表示するまで(GPS測位が完了するまで)約5分程度時間がかかることがあります。GPS受信状況確認方法は、「GPS受信状態を表示する」(→P102)をご覧ください。
トンネルを走行中に自転車位置マークが動かなくなる。	本体内蔵のセンサーの学習が完了していない。	トンネルを走行する前には、あらかじめナビゲーションの電源を入れ、GPSが受信できている状態で5分から15分程度走行してください。
電源投入後に自転車位置が大きくずれる。	電源投入直後はGPS衛星の受信が不安定なため。(→P37)	しばらく時間が経つと安定するようになります。故障ではありません。
停車中に地図表示が回転するような動きをする。	センサー学習中に誤った学習をしてしまった。	本機の取付状態を再確認し(→『取付説明書』-「取り付けのポイント」)、センサー学習をクリア(→P90)してください。

トンネルを走行中に 自転車位置マークと実 際の車の位置が大き くずれてくる。	GPS が受信できなくなった場合 は、本体内蔵のセンサー機能に より測位します。別売の電源ケー ブル「RD-032」が接続されて いない場合は、道路の傾斜の影 響を受けやすいため、長いトン ネルや地下駐車場などでの GPS が長い間受信できない状況では、 誤差が大きくなることがありま すが、故障ではありません。	—
---	---	---

## オーディオ

### ■ 共通項目

症状	原因	処置
音が出ない。 音が小さい。	オーディオの音量 (→ P112) が 0 も しくは非常に小さく設定されている。	オーディオの音量 (→ P112) を上 げてください。
液晶画面にナビゲーション の画像が映らない。	液晶画面が、ナビゲーション画面に 切り換わっていない。	『現在地』ボタンで画面を切り換え てください。
液晶画面の中に、小さな 黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありま せん。	—

### ■ テレビ

症状	原因	処置
映像が見えない。	走行中である。 ナビゲーションの画面になっている。	走行中は、映像を見ることはできま せん。音声のみでお楽しみください。 AV 画面を表示させてください。(→ P111)
映像が出ない。 「受信できません」とい う画面が表示される。	チャンネルが増えたり、旅行などに 出かけたりして受信状態が変わって いる。 受信状態が悪くなり、放送が受信で きない。	はじめで使用するときや受信状態が 変わったときは、チャンネルスキャ ンをしてください。(→ P115, 120) 受信状態の安定した場所に移動して 視聴してください。
画面が止まっている。画 面がカクカクして映る。 コマ落ちしている。画面 に正方形のノイズが映る。 画面がぼやける。スムーズ に表示が切り換わらない。	受信状態が悪くなった場合などは、 左記のようになります。これらは地 上デジタル放送特有の現象で、故障 ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して 視聴してください。
音声や字幕が切り換えら れない。	音声や字幕が放送されていない。	切り換えできる音声や字幕が放送され ているチャンネルを視聴してください。
映像がギザギザに表示さ れる。	デジタル放送特有の現象で、故障で はありません。	—

## SDカード

症状	原因	処置
WMA/MP3/AAC/WAVファイルを再生できない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。 対応していないビットレートで記録されている。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」、WAV ファイルに拡張子「.wav」を付けてください。 対応しているビットレートで記録された WMA/MP3/AAC/WAV ファイルにしてください。(→P136, 137)
聞きたい WMA/MP3/AAC/WAV ファイルが見つからない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」、WAV ファイルに拡張子「.wav」を付けてください。

## その他

症状	原因	処置
画面がちらつく。	内蔵バッテリーの電池残量が少なくなっている。	別売の AC アダプターやシガーライター電源ケーブルで充電を行ってください。
画面が正しく表示されない。 本機が正しく動作しない。	本機が長い間放置されたままの状態になっている。	電源スイッチを下方向へスライドし、10 秒以上保持して一度電源を OFF にしてください。 解決しない場合は、設定初期化(→P90)をお試しください。ただし、設定初期化を行うとデータが消えてしまいますので、ご了承ください。
通信できない。	通信モジュールの接続先が正しく設定されていない。  通信圏外となっている。	通信モジュール設定画面(→P87)で接続先を正しく設定してください。 本体 LED が点灯または点滅していることを確認してください。  電波状況の良い所で再度通信してください。
画面に手を近づけると、音が鳴ってメニューが表示される。	故障ではありません。エアージェスチャー(→P28)が可能になります。	エアージェスチャーを OFF に設定することもできます。(→P79)
エアージェスチャーができない。	本機がクレイドルに接続されていない。	本機をクレイドルに接続してください。(→P20)
エアージェスチャーの手振り操作が適切に反応しないときがある。	エアージェスチャーセンサーが反応しない方法で操作している。故障ではありません。	手振り操作のしかたとエアージェスチャーのポイント(→P29)をご確認ください。また、エアージェスチャー操作を練習することもできます。(→P76)
エアージェスチャーがまったく反応しない。	エアージェスチャーで操作できない画面で操作している。故障ではありません。	エアージェスチャーマークが表示されている画面で、エアージェスチャーの操作を行ってください。(→P28)

<p>エアージェスチャーが正しく動作しない。</p>	<p>エアージェスチャーセンサーに太陽光が直接当たっている。</p>	<p>エアージェスチャーセンサーに当たる光を遮ってください。</p>
<p>モニター取付スタンドの吸盤の吸着力が落ちてきた。</p>	<p>吸盤の吸着面にほこりなどが付着して汚れている。</p>	<p>使用前に必ず吸盤の汚れやほこりなどを水を含ませたスポンジで拭き取ってください。(洗剤を使用しないでください。) 吸盤は、しっかり乾燥させてから取り付けてください。乾燥していない状態で使用すると落下する場合があります。</p>

# エラーメッセージと対処方法

## 共通項目

メッセージ	原因	処置
電池残量がありません。 データ保護のため電源 OFF します。	内蔵バッテリーの残量が無くなった。	本機に AC アダプターを接続するか、シガーライター電源ケーブルに接続して、内蔵バッテリーを充電してから電源を ON にしてください。(→P18)
電池残量が少ないため、ナビゲーションシステムを起動できません。充電状態のまましばらくお待ちください。	電池残量が本機を起動できるほど充電できていない。	そのまま充電を続け、本機が起動できるほどの一定の充電がされると起動します。
高温を検出したためシステムを一時停止します。	本機の内部温度が高くなった。	内部温度が下がるまでお待ちください。ヒーター吹き出し口の近くなど、高熱になるところに設置していないことを確認してください。
通信機器が接続されていません。	通信モジュールが接続されていない。	通信モジュールを本機に接続してください。(→P24)
エアージェスチャーセンサーの動作異常を検出しました。 本体をクレイドルに装着し直してください。 正常に復帰しない場合は、お買い上げの販売店 またはパイオニア修理受付窓口にご相談ください。	本機をクレイドルに正しく接続していない。	本機をクレイドルに正しく接続してください。(→P20) それでもエアージェスチャーができない場合は、お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。
エアージェスチャーセンサーに強い光が当たっているため、現在エアージェスチャー機能は使用できません。	エアージェスチャーセンサーに太陽光などの強い光が当たっている。	エアージェスチャーセンサーに太陽光などの強い光が当たらない場所で操作してください。
取り付け異常を検知しました。 取り付け状態を確認してください。	本機が正しく取り付けられていない。	本機を正しく取り付けてください。(→P19, 21)

付録

## ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
探索できませんでした。	—	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。	—	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先が近すぎるため、探索できませんでした。 通行規制により、通行できない区間があるため、探索できませんでした。 時間規制により、通行できない区間があるため、探索できませんでした。 行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。 行き先または出発地付近に案内対象道路がないため探索できませんでした。	—	行き先・場所または出発地の位置を変えてください。

## 渋滞情報

メッセージ	原因	処置
スマートループ渋滞情報が取得できませんでした。	スマートループ渋滞情報を取得できていない。	時間や場所をずらしてから、再度受信してください。

## 通信

メッセージ	原因	処置
回線接続できませんでした。	何らかの原因で回線接続に失敗している。	しばらくしてから再度通信を実行するか、本機を再起動してください。
サーバーへの接続に失敗しました。 データ通信タイムアウトが発生しました。 データ通信エラーが発生しました。 通信機器が接続されていません。	何らかの原因により通信接続を切断（タイムアウト）した。 通信モジュールが接続されていない。	しばらくしてから再度通信を実行するか、本機を再起動してください。 通信モジュールを本機に接続してください。
通信機器が使用できません。	通信モジュールが故障している可能性がある。	他の通信機能が利用できるかお試してください。他の通信機能も利用できない場合は、通信モジュールを修理してください。

## オーディオ

### ■ テレビ

メッセージ	原因	処置
受信できません。 スキャンを実行してください。	受信地域が変わったか、購入後またはワンセグ視聴設定クリア(→P126)後、スキャンを行っていない。	DTV、ワンセグのそれぞれでチャンネルスキャンを行ってください。(→P115, 120)
通信エラーが発生しました。 電源を入れ直すか、本体をクレイドルに装着し直してください。	クレイドルと本体が正しく設置されていない。	クレイドルから本体を取り外し、再度装着してください。改善されない場合はお買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。
地上デジタルTVチューナーの高温を検出しました。 保護のため停止中です。 正常に動作する温度になるまでお待ちください。	クレイドル部の内部温度が高くなった。	内部温度が下がるまでお待ちください。 ヒーター吹き出し口の近くなど、高温になるところに設置していないことを確認してください。

### ■ SDカード

メッセージ	原因	処置
再生できませんでした。 再生できるファイルがありません。	本機で再生できるファイルではない。 本機で再生できるファイルがSDカードに含まれていない。	「再生できる音楽ファイルおよび映像ファイルについて」(→P136)をご確認のうえ、本機で再生できるファイルを再生してください。
再生できませんでした。	本機で再生できる最大解像度を超えるコンテンツを再生しようとした。	「再生できる音楽ファイルおよび映像ファイルについて」(→P136)をご確認のうえ、本機で再生できるファイルを再生してください。

# その他の情報

## 検索におけるデータベースについて

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れている場合があります。

### タウンページデータについて

- NTTタウンページをもとに位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

### 自然物に関するデータについて

- 施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

### 電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、タウンページのデータが収録されています。
- 訪問宅（個人宅）の電話番号データに収録されていない場合は、市区町村の代表地点が表示されます。

### ロゴマーク表示について

- ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

### 営業時間考慮周辺検索について

- 営業時間を考慮するのは、ATM・駐車場・コンビニ・ファミリーレストラン・ファストフード・ガソリンスタンドのみで、隔週休日、不定期休日には対応していません。また、一部の店舗は対応していない場合があります。

## ルートに関する注意事項

### Caution

- ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。

- 運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート探索は100 mスケールの地図に表示される道路を対象としています。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます（本州～北海道などのフェリーが運航されている場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、全てのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 設定されているルートで使用されている入口/出口によっては、乗降IC（インターチェンジ）指定の操作ができない場合があります。

### ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- 渋滞考慮ルート、有料道路回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されることがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に立寄地を設定してみてください。
- ※「大きな交差点」とは、細街路（100 mスケールでグレー表示の細い道）以外の道どうしの交差点です。

### ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄地付近でルートが途切れたように見えることがあります。

## 音声案内について

- オートリートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。ただし、その地点が右折などで案内が必要な場合は、通常の案内を行います。
- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。

## 交差点拡大図について

- 交差点拡大図は、交差点とその約 150 m 手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路形状によっては、ヘディングアップにならない場合があります。
- 第 1 案内地点の案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。

## ルート候補選択画面での有料料金について

- ETC 利用による各種料金割引サービスには対応しておりません。
- 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されます。
- 料金計算ができないルートの場合は、「不明」と表示されます。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道路上およびランプ上からルートを探したときや、有料道路上に目的地や出発地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

## トンネルにおける自車位置表示について

- トンネルを走行したときに、地図画面の上の自車位置マークが動かなくなることがあります（トンネル走行から抜けると自車位置が更新されます）。これは本体内蔵のジャイロセンサーと加速度センサーの学習が完了していないためです。トンネルを走行する前には、あらかじめナビゲーションの電源を入れ、GPS が受信できている状態で 5 分から 15 分程度走行してください。

## VICS 情報に関する注意事項

### FM 多重放送について

- VICS センターからの FM 多重放送を使用した VICS 情報は、NHK-FM の FM 多重放送の電波によって提供されます。
- 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。

- 放送時間は、放送局によって異なります。VICS センター情報などで確認してください。

## VICS センターのお問い合わせ先

VICS の概念、計画、または提供される VICS 情報に関することは、VICS センターへお問い合わせください。

電話受付時間：9:30～17:45

（土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く）

電話番号：0570-00-8831

（ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます）

PHS からは （東京）03-3592-2033

（大阪）06-6209-2033

FAX 受付時間：24 時間

FAX 番号：03-3562-1719（全国）

また、VICS の最新情報などは下記のホームページでご覧いただけます。

URL：<http://www.vics.or.jp/>

## シティマップ（詳細市街地図）収録エリア

本機には、以下の都市の詳細市街地図が収録されています。

### 整備面積 95% 以上（459 都市）

田舎館村、塩竈市、多賀城市、亶理町、七ヶ浜町、湯川村、水戸市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、常総市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、那珂市、筑西市、坂東市、神栖市、銚田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町、利根町、栃木市、小山市、真岡市、下野市、上三川町、壬生町、野木町、岩舟町、伊勢崎市、太田市、館林市、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、岡岡市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、美里町、上里町、宮代町、杉戸町、松伏町、千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、

富里市、南房総市、香取市、山武市、大網白里市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、錦南町、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵野市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、新潟市、聖籠町、射水市、舟橋村、野々市市、川北町、内灘町、昭和町、小布施町、岐阜市、多治見市、羽島市、各務原市、瑞穂市、岐南町、笠松町、神戸町、輪之内町、安八町、大野町、北町、坂祝町、熱海市、三島市、焼津市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、函南町、清水町、吉田町、名古屋市中区、豊橋市、一宮市、半田市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稻沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、長久手市、東郷町、名古屋市中区、大岡町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町、四日市市、木曽岬町、東員町、朝日町、川越町、明和町、草津市、守山市、竜王町、豊郷町、甲良町、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町、大阪市、堺市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、志岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、稲美町、播磨町、太子町、大和高田市、大和郡山市、橿原市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西市、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、和歌山市、太地町、境港市、日吉津村、倉敷市、玉野市、浅口市、早島町、里庄町、府中町、海田町、熊野町、坂町、和木町、石井町、杵茂町、北島町、藍住町、宇多津町、松前町、北九州市、福岡市、直方市、筑後市、大川市、行橋市、中間市、小郡市、春日市、福津市、志免町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、大刀洗町、大木町、糸田町、大任町、苅田町、吉富町、時津町、熊本市、合志市、長洲町、菊陽町、嘉島町、那覇市、宜野湾市、浦添市、糸満市、沖縄市、豊見城市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町

### 整備面積80%以上(68都市)

室蘭市、名取市、東松島市、利府町、鏡石町、泉崎村、矢吹町、稻積町、かすみがうら市、桜川市、行方市、宇都宮市、芳賀町、高根沢町、吉岡町、本庄市、小川町、長瀬町、寄居町、相模原市、燕市、中央市、可見市、養老町、富加町、伊東市、磐田市、豊川市、桑名市、鈴鹿市、玉城町、野洲市、愛荘町、岸和田市、泉佐野市、島本町、加西市、福崎町、御所市、葛城市、高取町、大淀町、有田市、岩出市、米子市、笠岡市、広島市、田布施町、小松島市、善通寺市、琴平町、

多度津町、久留米市、柳川市、大野城市、宗像市、太宰府市、須恵町、新宮町、福智町、上峰町、みやき町、大町町、江北町、波佐見町、玉東町、東串良町、うるま市

### 整備面積50%以上(161都市)

北広島市、八戸市、藤崎町、板柳町、鶴田町、矢巾町、仙台市、岩沼市、大河原町、山元町、富谷町、美里町、潟上市、八郎潟町、天童市、中山町、河北町、三川町、桑折町、中島村、笠岡市、美浦村、足利市、益子町、市貝町、前橋市、高崎市、渋川市、富岡市、榛東村、越生町、神川町、匝瑛市、いすみ市、秦野市、松田町、弥彦村、田上町、高岡市、滑川市、砺波市、入善町、羽咋市、かほく市、能美市、鯖江市、あわら市、笛吹市、市川三郷町、西桂町、忍野村、山中湖村、岡谷市、小諸市、千曲市、山形村、美濃加茂市、土岐市、海津市、垂井町、関ヶ原町、池田町、沼津市、富士市、掛川市、御殿場市、裾野市、長泉町、小山町、岡崎市、瀬戸市、伊勢市、志摩市、孤野町、大津市、彦根市、近江八幡市、栗東市、湖南市、京都市、宇治市、木津川市、笠置町、高槻市、貝塚市、茨木市、和泉市、箕面市、泉南市、豊能町、能勢町、河内町、姫路市、西脇市、三田市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、猪名川町、桜井市、明日香村、海南市、御坊市、湯浅町、美浜町、湯梨浜町、北栄町、岡山市、呉市、福山市、防府市、下松市、光市、山陽小野田市、徳島市、鳴門市、板野町、上板町、高松市、丸亀市、坂出市、観音寺市、さぬき市、高知市、南国市、大牟田市、飯塚市、田川市、筑紫野市、古賀市、みやま市、糸島市、那珂川町、宇美町、桂川町、筑前町、広川町、鳥栖市、小城市、埴野市、基山町、有田町、白石町、長崎市、島原市、諫早市、長与町、川棚町、佐々町、荒尾市、玉名市、宇土市、氷川町、大分市、日出町、高鍋町、新富町、鹿児島市、南城市、今帰仁村

### 整備面積50%未満(646都市)

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、石狩市、北上町、当別町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、江差町、上ノ国町、倶知安町、岩内町、仁木町、余市町、南幌町、奈井江町、上砂川町、長沼町、栗山町、新十津川町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、羽幌町、美幌町、斜里町、遠軽町、白老町、洞爺湖町、浦河町、新ひだか町、音更町、清水町、芽室町、広尾町、幕別町、池田町、足寄町、釧路町、弟子屈町、中標津町、青森市、弘前市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、大鰐町、野辺地町、六戸町、東北町、おいらせ町、五戸町、南部町、階上町、盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、岩手町、滝沢村、紫波町、金ケ崎町、平泉町、大槌町、山田町、一戸町、石巻市、気仙沼市、白石市、角田市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、丸森町、松島町、大和町、大郷町、大衡村、加美町、涌谷町、女川町、秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、大仙市、北秋田市、こがほ市、仙北市、小坂町、五城目町、井川町、美郷町、羽後町、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、大江町、大石町、高島町、川西町、白鷹町、庄内町、福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、国見町、川俣町、大玉村、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、会津美里町、西郷村、棚倉町、石川町、

玉川村、浅川町、三春町、広野町、榎葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、城里町、大子町、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、茂木町、那須町、桐生市、沼田市、藤岡市、安中市、みどり市、下仁田町、甘楽町、中之条町、草津町、東吾妻町、昭和村、みなかみ町、秩父市、飯能市、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、檜原村、奥多摩町、山北町、清川村、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、湯沢町、津南町、富山市、魚津市、氷見市、黒部市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、朝日町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、白山市、津幡町、志賀町、宝達志水町、中能登町、能登町、福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、越前市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、高浜町、おおい町、甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、上野原市、甲州市、身延町、富士川町、鳴沢村、富士河口湖町、長野市、松本市、上田市、飯田市、諏訪市、須坂市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、立科町、下諏訪町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、喬木村、豊丘村、池田町、松川村、坂城町、高山村、山ノ内町、木島平村、飯綱町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、山県市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、揖斐川町、川辺町、八百津町、御嵩町、白川村、静岡市、浜松市、富士宮市、島田市、藤枝市、下田市、伊豆市、東伊豆町、松崎町、西伊豆町、森町、豊田市、新城市、津市、松阪市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、伊賀市、多気町、度会町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町、長浜市、甲賀市、高島市、東近江市、米原市、日野町、多賀町、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、丹丹市、井手町、宇治田原町、和束町、洲本城村、伊根町、与謝野町、河内長野市、千早赤阪村、洲本市、相生市、豊岡市、赤穂市、篠山市、養父市、丹波市、宍粟市、多可町、市川町、神戸町、上郡町、奈良市、天理市、五條市、宇陀市、吉野町、下市町、黒滝村、橋本市、田辺市、新宮市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、広川町、有田川町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、上富田町、那智勝浦町、串本町、鳥取市、倉吉市、岩美町、八頭町、三朝町、琴浦町、南部町、伯耆町、松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、津山市、井原市、総社市、高梁市、山口市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、和気町、矢掛町、鏡野町、勝央町、竹原市、三原市、尾道市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、下関市、宇布市、山口市、萩市、岩国市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、周防大島町、平生町、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、綾川町、まんのう町、松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、内子町、室戸市、安芸市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、いの町、佐川町、越知町、八女市、豊前市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、篠栗町、久山町、香春町、添田町、川崎町、赤村、みやこ町、築上町、佐賀市、唐津市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、神埼市、吉野ヶ里町、佐世保市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、

杵崎市、五島市、雲仙市、南島原市、東彼杵町、八代市、人吉市、水俣市、山鹿市、菊池市、上天草市、宇城市、阿蘇市、木草市、大津町、御船町、益城町、伊佐町、芦北町、津奈木町、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、九重町、玖珠町、宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、綾町、木城町、川南町、都農町、門川町、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曾於市、霧島市、いちき串木野市、南さつ市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、始良市、さつまい、大崎町、肝付町、石垣市、名護市、宮古島市、恩納村、金武町

## 阪神高速道路株式会社からのご連絡

阪神高速道路にはネットワークの未整備区間を補完するため、乗継券を受け取り、一般道を経由したあとにその乗継券で再度、通行料金を支払わずに阪神高速道路を利用できる「乗り継ぎ区間」があります(乗り継ぎ区間ではETCが利用可能)。また、「乗り継ぎ区間」の詳細につきましては、以下をご覧ください。

- 3号神戸線(京橋・摩耶出入口)⇔5号湾岸線(住吉浜出入口)
- 4号湾岸線(大浜出入口)⇔15号堺線(堺出入口)
- 3号神戸線(中之島西出口)→1号環状線(堂島入口)
- 16号大阪港線(波除出口)→1号環状線(堂島入口)

## 収録データベースについて

### 地図データについて

- 日本測地系に対応しています。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成にあたっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認 09-193 M1)「© 2013 一般財団法人日本デジタル道路地図協会」2013年3月発行を使用。
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものである。(承認番号)小田原市指令第52号平成10年4月2日承認
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用したものである。平成12年養建第1902号

- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平10.近公.第34号
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。(測量法第44条に基づく成果使用承認平成12年度知都発第170号)
- この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。(承認番号15大木建第734号)
- この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。(承認番号16堀第5417号)
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500を使用し、調製したものである。(承認番号東開第111号平成18年2月28日承認)
- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。(承認番号伊建農発229号平成17年7月14日承認)
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。(承認番号:18東デ共041号)
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。(承認番号)18都市基交第478号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用して調製したものです。(承認番号平成17年津山市使用承認第5号)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号指令宇都第13号平成18年5月15日承認)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号指令宇都第14号平成18年5月31日承認)
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。(承認番号周防建設第56号平成18年5月12日承認)
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものである。(承認番号平成18年5月2日18建第107号)
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。(承認番号H18東温都第174号)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号林振第350号平成18年9月19日承認)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号林振第611号平成19年2月28日承認)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号平成19年3月7日指令水緑-1258
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。承認番号森第18-10号
- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものである。(長都政第477号平成18年3月28日承認)
- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認平成19年3月1日森整第1561号
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。(承認番号18森政第5-5号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号平成18年11月24日付け森第1286号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号平成19年2月27日付け森第1736号)
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(広島県使用承認林振第115号平成19年2月15日承認)
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号林振第484号平成19年1月30日承認)
- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号森整第010634号平成18年10月4日承認)
- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図(1/5,000)を使用し調製したものである。(承認番号18林第492号(平成18年10月6日))
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。(承認番号森整第993号平成19年2月14日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。(承認番号森整第1079号平成19年3月7日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号林18-1平成18年12月5日)。
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号林18-2平成19年3月7日)。
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号使18-1号平成18年12月8日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号使18-3号平成19年3月8日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号平18林振第360号)
- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平成18年5月26日知耕第590号
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。(測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認平成19年8月8日付、承認番号林政19-482号、茨城県林政課長)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号平成18年11月30日指令水緑-947

- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものである。(承認番号 笛まち第12-25号 平成19年12月13日承認)
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18国地部公発第334号)を使用したものである。(承認番号 情企第590号 平成20年3月24日承認)
- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。(承認番号 平成19年2月14日付け18高森推第568号)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平19林振第404号)
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。(承認番号)平21樽港事第33号
- この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の5000分の1の森林基本図を複製したものである。(承認番号)平成21年森計第477号
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平18林振第497号)
- この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものである。(承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認)
- この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の2千5百分の1幕別町現況図を使用し、調整したものである。(承認番号)H22 幕都計第185号
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H1・No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用して作成したものである。(承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平19 林振第246号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用した。(承認番号 平23情使、第43号-10号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用した。(承認番号 平23情使、第283号-10号)
- この地図は、田原市長の承認を得て、同市発行の都市計画図を使用して作成したものである。(承認番号)23田街第55号
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。(承認番号 平24情使、第199号-10号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平24情使、第780号-10号)

### 道路データについて

- 本製品の道路データは調査時点の情報を収録しています。調査後に開通期日などが変更になることにより、実際の道路と異なる場合がありますのでご注意ください。

### 交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2013年3月までの独自調査結果に基づき作成したものを使用しています。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示などに従ってください。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車などの規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

### 有料道路料金データについて

- 本製品に使用している有料道路の料金データは、2013年10月1日現在(2013年6月調査時点)のものであります。
- 首都高速道路・阪神高速道路において2012年1月1日より導入された距離別料金制につきましては、ETC料金には非対応となり、現金車両専用料金のみ対応しております。

### VICS サービスエリアについて

- 本製品に収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象となります。  
北海道(北見)(旭川)(札幌)(釧路)(函館)、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、石川県、福井県、富山県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- VICS サービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3(地図表示型)表示はできません。

### 放送局リストのデータについて

- 放送局名リストは2013年5月調査時点のものであります。

### 渋滞予測データについて

- 渋滞予測機能の情報は、インクリメントP株式会社からの提供です。

### 訪問宅(個人宅)電話番号データについて

- 訪問宅(個人宅)電話番号データは、日本ソフト販売(株)「Bellemax<sup>®</sup>」(2013年3月現在の)のデータを使用しております。訪問宅(個人宅)電話番号検索では、一部検索または正確な位置に表示できない場合があります。

### その他情報提供元

- NTTタウンページ株式会社(2013年3月現在のタウンページデータ)
- 公益財団法人交通事故総合分析センター(1999年度統計による危険地帯データ)
- (株)アイ・エム・ジェイ(2012年10月現在の駐車場データ)

## Advice

- 収録データベースに誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあったとしても弊社は補償するものではありません。

# VICS情報有料放送サービス契約約款

## 第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランプラー

FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

## 第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

## 第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランプラー 1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランプラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとする。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者がVICSデスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2) 加入者の所有するVICSデスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

## 第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

## 第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 1 当センターは、放送設備の保守上又は工世上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。  
2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

## 第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

### 別表 視聴料金

視聴料金：315円（うち消費税15円）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

# 商標・著作権など

- Intel、Pentium は、米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。
- MP3 とは「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送\*で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送\*で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

※ 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

-  は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- SDHC、SD ロゴは、SD-3C,LLC の商標です。
- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です
- RTPatch は、POCKET SOFT 社の登録商標です
- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- Entier（エンティア）は、株式会社日立製作所の日本国及びその他の国における商標です。
  1. 最終需要家は、特定の1台の装置にのみ添付ソフト複製物を複製できるものとします。
  2. 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を第三者に対し、有償であると無償であると問わず、譲渡、使用許諾その他の方法で使用させてはならないものとします。
  3. 最終需要家は、添付ソフト複製物の全部又は一部を逆アセンブル若しくは逆コンパイル又は改変することはできないものとします。
  4. 最終需要家は、第1項に定める場合を除き、添付ソフト複製物の全部若しくは一部を複製し、又は他のプログラムと結合してはならないものとします。
  5. 最終需要家が添付ソフト複製物の全部若しくは一部を単独で又は他の製品と組み合わせ、直接又は

間接に次の各号のいずれかに該当する取扱いをする場合、最終需要家は、「外国為替及び外国貿易法」の規制及び米国輸出管理規則等外国の輸出関連法規を確認の上、必要な手続をとるものとします。

- (1) 輸出するとき。
- (2) 海外へ持ち出すとき。
- (3) 非居住者へ提供し、又は使用させるとき。
- (4) 前3号に定めるほか、「外国為替及び外国貿易法」又は外国の輸出関連法規に定めがあるとき。

注1：上記の「最終需要家許諾条項に記載すべき事項」の内容については、第5条第3項及び第4項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「本件装置用組込用ランタイム」に、第6条第2項の場合には本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「結合添付ソフトウェア」にそれぞれ読み替えるものとしします。

注2：第6条第1項第3号又は同条第2項第2号の規定に基づき添付ソフト改良版に係る最終需要家許諾条項を本別紙に従い甲が作成する場合、本別紙中「添付ソフト複製物」とあるのを「添付ソフト改良版」と読み替えるものとしします。

- 本製品は、GNU Lesser General Public License の条件にもとづいて利用が許諾されたソフトウェアを含んでいます。正確な内容を保持するため、原文（英語）を記載しています。該当するソースコードの複製物は以下の URL からダウンロードできます。  
<http://www.oss-pioneer.com/car/navi>  
なお、ソースコードの内容についてのご質問にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

## GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

This product includes the following software licensed for use under the terms of GNU

Lesser General Public License v2.1.

- 7-Zip 4.57 Copyright (C) 1999-2012 Igor Pavlov.

- GStreamer 0.10.31 Copyright (C) 1999,2000 Erik Walthinsen <omega@cse.ogi.edu>

2000 Wim Taymans <wtay@chello.be>

You can get corresponding open source code here.

<http://www.oss-pioneer.com/car/navi>

## NO WARRANTY

BECAUSE THE ABOVE PROGRAMS ARE LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAMS. TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW, EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING, THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAMS "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAMS IS WITH YOU.

SHOULD THE PROGRAMS PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAMS AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAMS (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAMS TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Please refer to each license for further information (<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>).

## GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.  
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA  
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

### Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages—typically libraries—of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain

responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the “Lesser” General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used

non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

## GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

### TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that

uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

**3.** You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

**4.** You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

**5.** A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License.

Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the

source code is not.

Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6.

Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

**6.** As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

**7.** You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

**8.** You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

**9.** You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

**10.** Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify

the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein.

You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

**11.** If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

**12.** If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

**13.** The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you

may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

**NO WARRANTY**

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

**END OF TERMS AND CONDITIONS**

**How to Apply These Terms to Your New Libraries**

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library "Frob" (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990  
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

■ bsdiff

Copyright 2003-2005 Colin Percival  
All rights reserved  
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted providing that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR

BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## ■ bzip2

This program, "bzip2", the associated library "libbzip2", and all documentation, are copyright (C) 1996-2007 Julian R Seward. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
3. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
4. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## ■ libpng

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

## COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.5.11, June 14, 2012, are Copyright (c) 2004, 2006-2012 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta  
libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux  
Eric S. Raymond  
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane  
Glenn Randers-Pehrson  
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler  
Kevin Bracey  
Sam Bushell  
Magnus Holmgren  
Greg Roelofs  
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger  
Dave Martindale

Guy Eric Schalnath  
Paul Schmidt  
Tim Wegner

## ■ Camellia

Copyright (c) 2006,2007 NTT (Nippon Telegraph and Telephone Corporation) . All rights reserved.

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png\_get\_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

```
printf("%s",png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson  
glennrp at users.sourceforge.net  
June 14, 2012

## ■ FreeType

Portions of the software in this product are copyright 1996-2007 The FreeType Project ([www.freetype.org](http://www.freetype.org)). All rights reserved.

Licensed under the FreeType Project LICENSE, 2006-Jan-27. (<http://www.freetype.org/FTL.TXT>)

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer as the first lines of this file unmodified.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NTT "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NTT BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- 本製品に収録されたデータおよびプログラムの著作権は、弊社および弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータおよびプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。
- その他、製品名などの固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
- 弊社は、本製品に収録された地図データなどが完全・正確であること、および本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。
- 本製品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。

# 仕様

## ◆ 共通部

使用電源：DC5 V  
(付属のシガーライター電源ケーブル、別売の AC アダプター接続時)

使用温度範囲：-10℃～45℃  
(バッテリー動作を除く)

最大消費電流：4 A

## ◆ モニター部

画面サイズ：7V 型ワイド VGA  
(AVIC-MRP099/MRP077)  
6.1V 型ワイド VGA  
(AVIC-MRP088/MRP066)

画素数：1 152 000 画素  
[水平 800 × 垂直 480 × 3(RGB)]  
方式：TFT アクティブマトリクス方式  
バックライト：LED 光源

## ◆ DTV (地上デジタルTV チューナー)部

放送方式：地上デジタル放送方式 (日本)  
受信チャンネル：470 MHz～770 MHz  
(UHF13 ch～62 ch)

アンテナ：置き型アンテナ  
TV アンテナ接続端子：  
4 (AVIC-MRP099/MRP088)

## ◆ ワンセグチューナー部

放送方式：地上デジタル放送方式 (日本)  
受信チャンネル：470 MHz～770 MHz  
(UHF13 ch～62 ch)

アンテナ：本体収納式ロッドアンテナ  
ワンセグ用外部アンテナ端子：  
1 (AVIC-MRP077/MRP066)

## ◆ VICS チューナー部

受信周波数帯域：76.0 MHz～90.0 MHz

## ◆ SD カード部

音声デコーディングフォーマット

MP3：MPEG-1 & 2 & 2.5 AUDIO  
LAYER-3

WMA：Ver7、8、9

AAC：MPEG-4 AAC (Windows 版  
の iTunes でエンコードされた  
もののみ)

WAV：LPCM

動画デコーディングフォーマット

AVI：MPEG-4 Video + LPCM/  
ADPCM、MPEG-4 Video +  
MP3

MP4：MPEG-4 Video + AAC、  
H.264/AVC + AAC

WMV：WMV (VC-1) + WMA

## ◆ GPS 部

30 チャンネルマルチチャンネル受信方式  
アンテナ：本体内蔵  
外部アンテナ用接続端子：1

## ◆ オーディオプリ出力

プリアウト出力レベル：0.8 V/820 Ω

## ◆ ビデオ入力

ビデオ入力レベル：1.0 Vp-p/75 Ω

## ◆ シガーライター電源ケーブル

入力電圧：DC12～24 V

出力電圧：DC5 V

最大負荷電流：4 A

ケーブル長：1.5 m

## ◆ 外形寸法

本体：7V 型 (AVIC-MRP099/MRP077)  
本体寸法：186.9 mm(W) ×  
105.6 mm(H) × 21.5 mm(D) (突起部  
除く)  
6.1V 型 (AVIC-MRP088/MRP066)  
本体寸法：168.7 mm(W) ×  
95.7 mm(H) × 21.5 mm(D) (突起部  
除く)

## ◆ 質量

本体：7V 型 (AVIC-MRP099/MRP077)  
本体質量：約 460 g  
6.1V 型 (AVIC-MRP088/MRP066)  
本体質量：約 390 g

# 保証書とアフターサービス

## ■保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

## ■保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

## ■保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。所在地、連絡先については、裏表紙の「修理窓口のご案内」をご覧ください。

## ■保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## ■車からの脱着（お取り外し・お取り付け）について

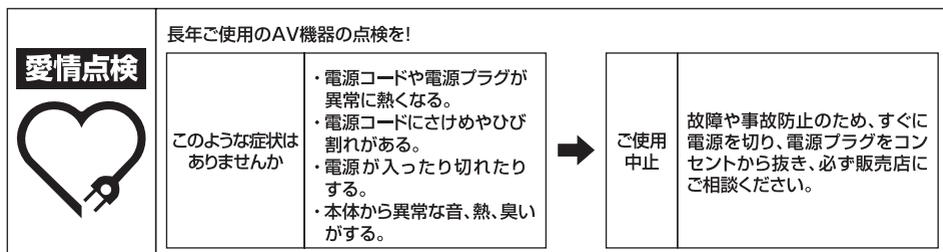
弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理の際の本製品のお車からの脱着サービスは弊社で承っておりません。お車からの脱着については、お買い上げの販売店や取り付け店へご相談ください。お車からの脱着費用につきましてはお客様のご負担となります。

## ■補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

## ■ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



# 充電式電池リサイクルご協力をお願い

本製品には、リサイクル可能なリチウムイオン蓄電池が内蔵されています。本製品を廃棄する際は、下記の手順でリチウムイオン蓄電池を取り出してください。

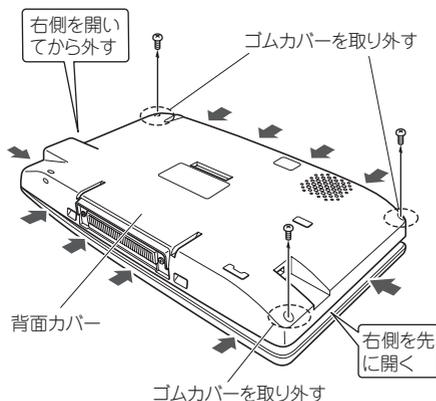
## Caution

- ・本説明は、製品廃棄時に内蔵電池を取り出すことを目的としています。お客様が製品を開けた時点で、本機の保証は無効となります。
- ・ショート防止のため、電池を取り出す前に内蔵電池は十分使い切ってください。電源が入らなくなった時点でも残量が少し残っております。そのまま数日間放置してから電池を取り出すことをお奨めします。
- ・不要になったリチウムイオン蓄電池は、下記の注意事項を守ってリサイクル協力店の充電式電池リサイクルBOXに入れてください。
  - 電池のビニールカバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
  - 電池のコードやコネクタは切断しないでください。
  - 電池を分解しないでください。
  - 電池の金属端子が露出した場合は、ビニールテープなどを貼って絶縁してください。
- ・リサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページ(<http://www.jbrc.com>)をご覧ください。
- ・SDカード(→P26)、通信モジュール、通信モジュールアダプターなどは、あらかじめ取り外しておいてください。

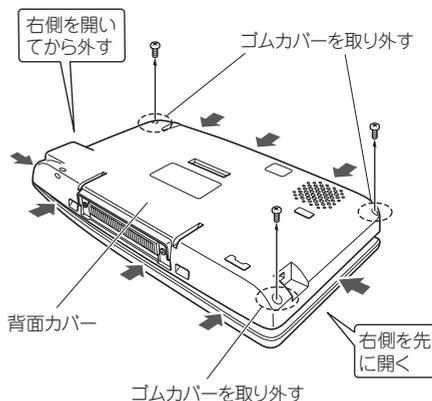


Li-ion

## 1 背面のネジ3本を外し、背面カバーを取り外す



AVIC-MRP099/MP077

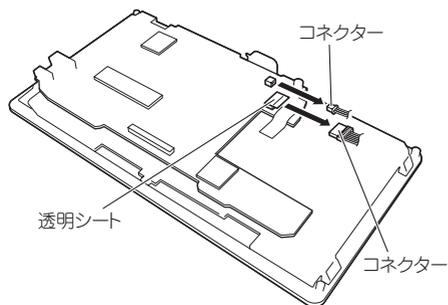


AVIC-MRP088/MP066

## Advice

- ・SDカードが挿入されている場合は、作業前に必ず抜いてください。破損する恐れがあります。
- ・背面のネジは、市販の0番の⊕ドライバーで外します。
- ・背面カバーは、矢印のロックを⊖ドライバーなどで外して取り外します（AVIC-MRP099/MP077は10ヶ所、AVIC-MRP088/MP066は8ヶ所）。
- ・背面カバーは、右側を先に開いてから、最後に左側の爪を外して取り外します。
- ・本体と背面カバーは、フラットケーブルや同軸コネクタでつながっていますのでご注意ください。

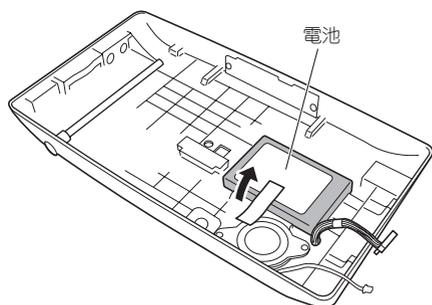
## 2 コネクター2本を引き抜く



### Advice

・ 抜きにくい場合は、透明シートを先にはがします。

## 3 電池を取り外す



### Advice

・ 電池は両面テープで貼り付いています。外しにくい場合は、 $\ominus$ ドライバーなどを間に挿入して、取り外します。その際、電池にキズを付けないようご注意ください。

# 索引

## メニュー索引

「メニュー」ボタン



### セントラルメニュー

—ナビメニュー—

名称	P47
住所	P48
周辺施設	P48
電話番号	P50
登録地	P50
検索履歴	P50
ジャンル	P51
自宅	P55, 70
よく行くランキング	P51

—AVメニュー—

ワンセグ	P113
SD	P122
バックカメラ	P128
DTV	P117

—共通メニュー—

AV OFF	P112
ビュー	P42
設定	
ルート消去	P62

### 設定メニュー

情報	
設定	
編集	
調整	
マイセットアップ	P76
取り外し	P26

### 情報トップメニュー

エコステータス	P102
GPS情報	P102
データバージョン表示	P103
接続状態	P103
渋滞情報	P96, 100
ウェザーライブ	P104

### 設定トップメニュー

エアージェスチャー設定	P79
カスタム設定	P36
ロゴマーク表示設定	P81
機能設定	P82
スマートループ設定	P87
その他設定	
AV設定	P125
車両情報設定	P89
通信モジュール設定	P87
地上デジタルTVチューナー更新 (AVIC-MRP077/MRP066)	P121

### 編集トップメニュー

ルート編集	P61
登録地編集	P72, 73
よく行くランキング消去	P75
検索履歴消去	P74
走行軌跡消去	P74
オービスデータ消去	P75

### 調整トップメニュー

案内音量調整	P91
明るさ調整	P91
タッチパネル調整	P92
自車位置修正	P92
別道路切換	P93

### ショートカットメニュー

スクロール画面のとき

ここへ行く	P54
周辺施設を探す	P48
ここを登録する	P70

検索画面のとき

ここへ行く	P54
周辺施設を探す	P48
ここを登録する	P70
詳細情報を見る	P53

# 用語索引

## 五十音順

### あ

明るさを調整	91
アップデートマネージャー	108
アフターサービス	12
アンテナ	30
案内開始画面	56
案内地	64
イラスト表示	64
インジケーター付きリスト	35
インターチェンジ	58
インフォチャージ	106,110
ウェザーライブ	104
エアージェスチャー	28
エアージェスチャー設定	79
エアージェスチャーマーク	28
営業時間考慮	49
営業時間考慮表示	45
映像ファイルを再生	123
エコステータス	102
エラーメッセージ	147
エリアプリセット	114
オービスデータ消去	75
お客様登録	23
オーディオの基本操作	111
お出かけランチャー	28
オート(VICS放送局選択)	101
オートハイウェイモード	38,44,83
オートリルート	67
音送り	34
音楽ファイルを再生	122
音声圧縮方式	136
音声案内	39,65
音声切換	115,120
オンデマンドVICS	94
音量	91

### か

過去に検索した場所から探す	50
過去に検索した場所を消去する	74
カスタムキー	36
カスタム機能	36
カーソル	133
気象情報	104
規制表示	85
機能設定	82
基本操作	32,111
行送り	34
キーワード検索	47
緊急情報の自動表示	100
傾斜計	138
県境案内	85
現在地画面	37,41

現在地情報の表示	85
検索できるジャンル	51
検索履歴	50
検索履歴消去	74
効果音	73
交差点案内表示	64,84
交通規制情報	98
交通障害情報	98
交通情報	98
ここへ行く	54
ここを登録する	70
誤差	139

### さ

再探索	61
サイドマップ	35,39
サイドメニュー	34
先送り	62
サービスエリア	45
サービス切換	114
サンプリング周波数	136
シーク(VICS放送局選択)	101
市区町村名	48
自車位置修正	92
施設情報(有料道路)	44
自宅を登録する	70
シティマップ	83
シティマップ境界表示	83
自動登録(放送局)	115,120
字幕切換	115,120
ジャイロセンサー	138
車載状態	104
車速パルス	104
車両情報	89
ジャンクション	45
ジャンルで探す	51
十字カーソル	38
住所で探す	48
渋滞オートガイド	68,85
渋滞考慮オートリルート	67,84
渋滞考慮オートリルート自動決定ルート	84
渋滞考慮ルート探索	55,84
渋滞情報	94,98
渋滞情報取得開始設定	88
渋滞情報取得間隔設定	88
渋滞情報表示	85
渋滞情報表示対象道路	85
渋滞情報連続取得設定	88
渋滞チェック	68
充電	141
周辺施設	48
主音声	116,120
受信状態	101
順調表示	85
消去	
過去に検索した場所	74

視聴設定	116
走行軌跡	74
登録地	73
よく行くランキング	75
乗降IC	58
詳細ルート設定	57
初期チャンネルスキャン	30
ショートカットメニュー	33
自立航法	138
人工衛星	138
進行方向案内	65
スカイビュー	43
スキャン → 自動登録	115,120
スクロール	38,41
図形情報 (VICS 情報)	100
スケール	41
ステレオ放送	113
スマートループ設定	87
スマートIC考慮ルート探索	84
スマートループ渋滞情報	94
接続状態	103
設定初期化	90
設定メニュー	32
セーフティインフォメーション	39
センサー学習	104
センター情報 (VICS センター)	100
セントラルメニュー	32
走行軌跡自動消去	83
走行軌跡表示	37,83
走行軌跡を消去する	74
操作タッチキー	111

## た

ダイレクトサーチ	124
タウンページ	149
立寄地	57,62
タッチ位置を調整	92
探索条件	56
短縮ダイヤル	50
チェックリスト	35
地上デジタルTVチューナーの更新	121
地図色切換	83
地図で探す	47
チャンネルスキャン	115,120
中継局	114,118
駐車アシスト線	128
駐車場情報	98
駐車場情報マーク表示	85
調整	91
通行止め	68
通行止め考慮オートリルート	68
通信モジュール接続	104
通信モジュール設定	87
データバージョン	103
デバイスナンバー	103
手振り操作	29
デモ走行	62
テレビ	30,117
電源状態	104

電話番号で探す	50
動作モード	118
到着予想時刻	63
到着予想時刻速度 (一般道)	84
到着予想時刻速度 (有料道)	84
登録スケール	42
登録地	
効果音	73
消去する	73
編集	72
登録地から探す	50
道路交通情報通信システム → VICS	95,98
ドライブモード	118

## な

内蔵バッテリー	141
ナビゲーションの基本操作	32
ナビスタジオ	106
ノースアップ	42
ノーマルビュー	43

## は

ハイウェイモード	43,44
ハイブリッドシステム	138
パーキングエリア	45
場所を登録する	70
バージョンアップ	12
番組内容	115
番組表	114,119
ビットレート	136
ファイル	136
フェリー航路使用条件	84
フォルダー	124,136
副音声	116,120
踏切案内	39,85
プライベートマッピング	72
プリセット	114
エリアプリセット	114
ユーザープリセット	114
プローブ情報	87,94
分岐先	45
分岐 (有料道路)	64
ページ送り	34
別道路切換	93
ヘディングアップ	42
編集	72
放送局 (VICS 情報)	101
方面看板表示	63
訪問回数の多い場所から探す	51
ホームモード	118
他のルート	57
ポップアップメニュー	34

## ま

マーク (登録地)	72
マークリスト	72
マイセットアップ	76
マップチャージ	106,109
マップマッチング	139

マニュアルプリセット	114
名称で探す	47
メニュー	32
モード	118
文字拡大モード	43
文字情報 (VICS 情報)	100
文字の種類を切り換える	130
文字の入力操作	130
記号	134
種類	130
スペース	133
全角	131
半角	131
変換	134
無変換	134
文字を削除する	133
文字を入力する	132

## や

有料道注意地点	39,85
有料道路使用条件	84
有料道路の施設情報	44
ユーザープリセット	114
よく行くランキング	51
よく行くランキング消去	75

## ら

ライト点灯案内	39,86
ランダム再生	124
リアルタイムプローブ	87
リアルタイムプローブサーバー	94
リスト (VICS 放送局選択)	101
リスト (操作)	34
立体ランドマーク表示	83
リピート再生	124
リフレッシュ案内	39,85
料金所	38,44
旅行時間情報	98
ルート	149
ルート案内	63
ルートインフォメーション	63
ルート消去	69
ルート探索基準	83
ルート地図	57
ルートプロフィール	56,61
ルートを探索させる	54
レーン情報	63
レベル 1 : 文字	98
レベル 2 : 簡易図形	98
レベル 3 : 地図	98
ロゴマーク	81

## わ

ワンセグ	31,113
------	--------

## 数字・アルファベット順

### 数字

2D (ノーマルビュー) 固定スクロール	83
2D (ノーマルビュー) 地図方位	83
2D マーク	72
2カ国語放送	116,120
2次元測位	138
3次元測位	138
10キーサーチ	124
12セグ	30
50音タブ	34
100mスケール一方通行表示	43

### A

AAC (Advanced Audio Coding)	137
Apple Lossless	137
AVソース画面	111

### D

DTV	30,117
-----	--------

### E

ETC車載器	39
ETC取付状態	78
ETCレーン案内表示	84
eスタート案内	39,86

### F

FILE REPEAT	124
FM-VICS	98
FM多重放送	101
FOLDER REPEAT	124

### G

GPS	138
-----	-----

### I

iC	44
iTunes	137

### J

JCT	44
-----	----

### M

m3u	136
MEDIA REPEAT	124
miniB-CASカード	30
MP3	136
MP3i (MP3 interactive)	136
MP3 PRO	136
MPEG2	137
MPEG4	137
MPEG Audio Layer 3	136

**P**

PA	44
----	----

**S**

SA	44
SDカード	26,122
SDカード登録確認メッセージ表示	86

**V**

VBR	136
VICS (Vehicle Information & Communication System)	95,98
VICS 情報提供時刻	99
VICS 情報の表示	98,99,100
VICSセンター	150
VIDEO	127

**W**

WAV	137
Windows Media™ Audio	136
Windows Media Audio 9 Lossless	136
Windows Media Audio 9 Professional	136
Windows Media Audio 9 Voice	136
Windows Media Player	136
WMA	136



# 記号・マーク一覧

## 地図関連

■ 高速・有料道

■ 国道

■ 主要地方道

■ 都道府県道

■ 一般道

■ 細街路

■ 鉄道

— 県境

① 国道番号

① 県道番号

C1 有料道道路番号

➡ 一方通行

■ 海・川・湖沼

■ 緑地

■ 施設敷地

■ 施設

■ 駅舎

□ インターチェンジ/ランプ名

□ 交差点名

● 信号機

■ 指示点

▲ 山岳

■ 公園

■ 工場

▲ トンネル出入口

SA サービスエリア

PA パーキングエリア

¥ 料金所

P 駐車場、道の駅

✈ 空港、民間飛行場

✈ ヘリポート

⚓ 港、フェリー乗り場

🗼 タワー

🏰 灯台

⚓ 墓地

🏢 公共施設

🚓 警察署、交番

🚒 消防署

🏥 病院

📮 郵便局

📶 NTT

🎓 各種学校

🎒 小学校

🎒 中学校

🎓 大学

🚗 自動車学校

♨️ 温泉

🎡 遊園地・その他

🏕️ キャンプ場

🏌️ ゴルフ場

⚾️ 野球場

🏊 体育館

🏂 スキー場

🏊 海水浴場、プール

🚤 ヨットハーバー

🏎️ モータースポーツ

🎾 テニスコート

🎨 美術館、博物館

🐘 動物園

🌿 植物園

🐠 水族館

🎪 ホール・劇場

🏯 神社

🏯 寺院

🏛️ 教会

🏰 城、城跡

🐮 牧場

🛒 デパート

🏠 DIYショップ

🏨 ホテル

## 検索・ルート関連

🚩 目的地

📍 立寄地

📍 出発地

📍 案内地

📍 案内中ルート(有料道)

📍 案内中ルート(一般道)

📍 案内中ルート(細街路)

## 渋滞情報関連

🚧 渋滞

🚧 混雑

🚧 順調

🚧 規制区間

🚧 入口閉鎖・通行止

🚧 速度規制

🚧 進入禁止

🚧 通行止め・閉鎖

🚧 大型通行止め

🚧 対面通行

🚧 片側交互通行

🚧 徐行

🚧 車線規制

🚧 チェーン規制

🚧 凍結

🚧 故障車

🚧 工事

🚧 作業

🚧 事故

🚧 障害物・路上障害

🚧 入口制限

🚧 入口閉鎖

P 駐車場(空車)

P 駐車場(混雑)

P 駐車場(満車)

P 駐車場(閉鎖)

P 駐車場(不明)

🌤️ 気象

🚧 行事

🚧 災害

🚧 火災

V 原因/事象なし

## 駐車場入口案内ポイント

🚧 地図収録案内ポイント

🚧 プローブ案内ポイント

※記号やマークは、ビューやスケールによって表示されない場合があります。

※実際の色と異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる **フリーコール** および **フリーコール** は、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用に  
なれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。  
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますよう  
お願いいたします。

**ご相談窓口のご案内** ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

**商品についてのご相談窓口** ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

### カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

●カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話：【**フリー**】 **0120-944-111** 【一般電話】 **044-572-8101** FAX: **044-572-8103**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

**カーナビゲーション「訪問宅電話番号検索機能」に関するご相談窓口**

### 「訪問宅電話番号検索機能」に関する個人情報の削除等の受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話：【**フリー**】 **0120-817-088**

**修理窓口のご案内** ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常  
に動作しない場合は、①型名、②ご購入日、③故障症状を具体的にご連絡ください。

**修理についてのご相談窓口** ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

### 修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話：【**フリー**】 **0120-5-81028** カーナビゲーション 【一般電話】 **044-572-8100** FAX: 【**フリー**】 **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>

※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

**部品のご購入についてのご相談窓口** ● 部品 (付属品・リモコン取扱説明書など)のご購入について

### 部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話：【**フリー**】 **0120-5-81095** 【一般電話】 **044-572-8107** FAX: 【**フリー**】 **0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.047

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社 2013

< KAMZ13I > < CYR1135-B >